

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート
調査結果報告書



平成28年8月

中標津町 総務部 企画課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 配布数及び回収結果	1
(4) 本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
(1) 一般町民（20歳以上の町内に居住する男女）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
(1) まちへの愛着度について	5
(2) 今後の定住意向について	7
(3) 住み続けたい主な理由	9
(4) 住みたくない主な理由	10
2 中標津町の取り組みに対する町民の声	11
(1) 中標津町全体について	11
(2) 生活環境について	15
(3) 環境問題への取り組みについて	33
(4) 産業振興について	35
(5) 保健・医療・福祉について	42
(6) 教育・文化・スポーツについて	52
(7) 人権・男女共同参画について	61
(8) 地域間交流について	63
(9) 北方領土問題について	65
3 費用負担について	35
(1) 取り組みに対する費用負担の可否について	66
4 町民活動・協働について	68
(1) 地域活動・ボランティア活動について	68
(2) 参加したい地域活動について	70
5 中標津町役場について	71
(1) 情報共有について	71
(2) 役場の窓口について	73
6 将来人口目標について	75
(1) 目標の達成に必要なこと	75
7 行政との関わりについて	78
(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの	78

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見	79
(1) 自由意見の記入状況	79

Ⅳ 設問別記述

1 設問別記述意見（主な意見）	82
-----------------	----

Ⅴ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第6期中標津町総合発展計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調査対象 : 20歳以上の町内に居住する男女
- ◆ 抽出法 : 無作為抽出(住民基本台帳より抽出)
- ◆ 調査方法 : 郵送法(郵送による配布・回収)
- ◆ 調査時期 : 平成28年5月
- ◆ 調査区域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配布数 : 500票
- ◆ 有効回収数 : 148票
- ◆ 有効回収率 : 29.6%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

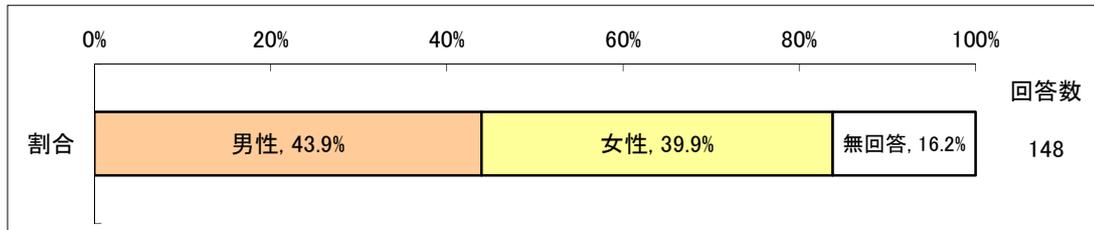
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に〇をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般市民（20歳以上の町内に居住する男女）

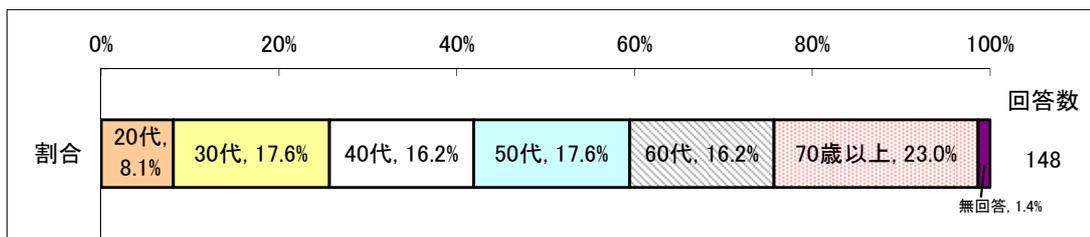
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が65名・43.9%、「女性」が59名・39.9%、「無回答」が24名・16.2%となっています。



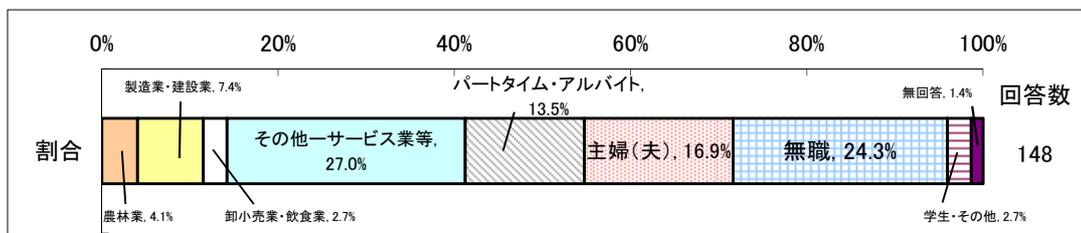
② 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」が34名・23.0%で最も多く、次いで「30代」と「50代」が各26名・17.6%、「40代」と「60代」が各24名・16.2%、「20代」が12名・8.1%の順となっています。



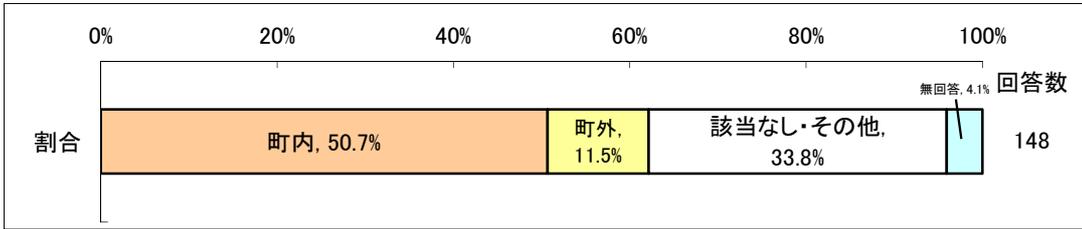
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が40名・27.0%で最も多く、次いで「無職」が36名・24.3%、「主婦（夫）」が25名・16.9%、「パートタイム・アルバイト」が20名・13.5%、「製造業・建設業」が11名・7.4%、「農林業」が6名・4.1%、「卸小売業・飲食業」と「学生・その他」が各4名・2.7%の順となっています。



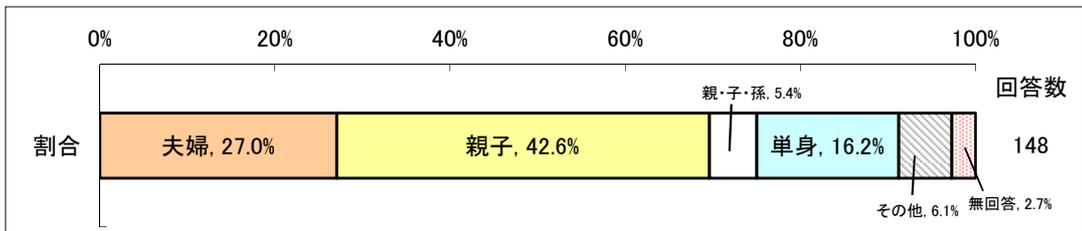
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が75名・50.7%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が50名・33.8%、「町外」が17名・11.5%の順となっています。



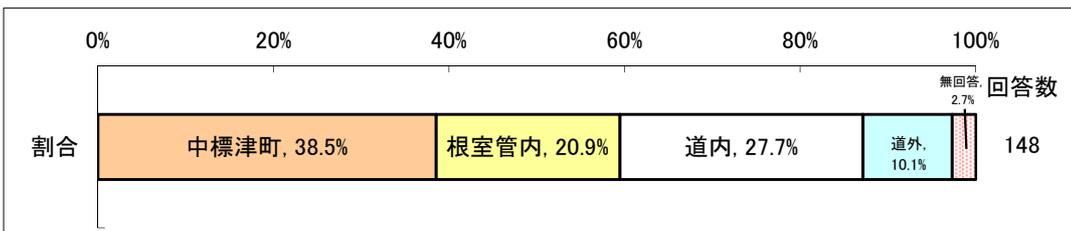
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が63名・42.6%で最も多く、次いで「夫婦」が40名・27.0%、「単身」が24名・16.2%、「その他」9名・6.1%、「親・子・孫」が8名・5.4%の順となっています。



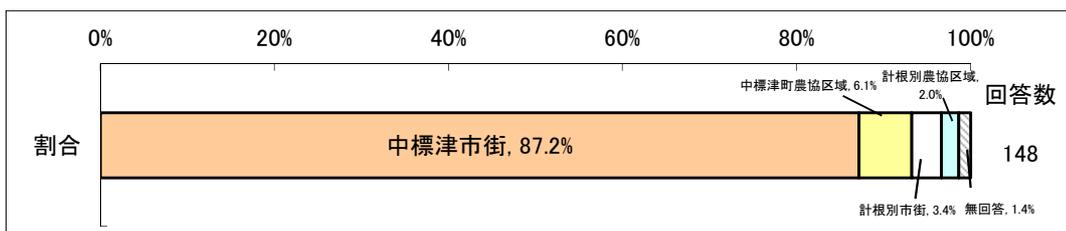
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が57名・38.5%で最も多く、次いで「道内」が41名・27.7%、「根室管内」が31名・20.9%、「道外」が15名・10.1%の順となっています。



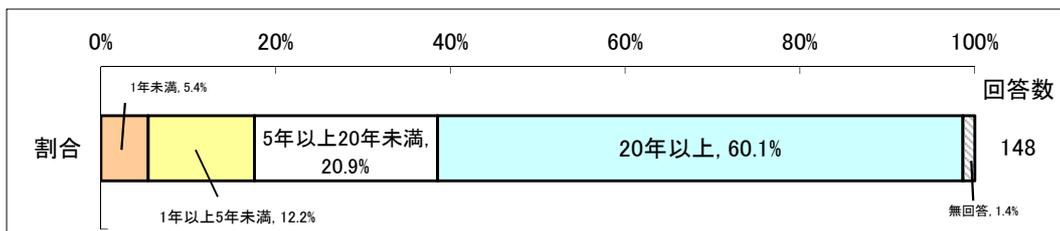
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が129名・87.2%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が9名・6.1%、「計根別市街」が5名・3.4%、「計根別農協区域」が3名・2.0%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が89名・60.1%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が31名・20.9%、「1年以上5年未満」が18名・12.2%、「1年未満」が8名・5.4%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

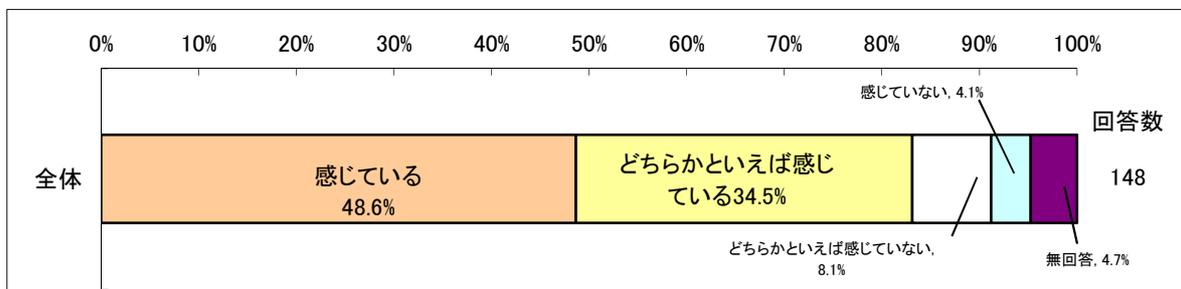
● “愛着を感じている” が83.1%。一方、“愛着を感じていない” は12.2%。

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、愛着を「感じている」と回答した人が72名・48.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が51名・34.5%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が83.1%となりました。

これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」12名・8.1%及び「感じていない」6名・4.1%の合計）は18名・12.2%と1割程度にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえます。【図表1参照】

図表1 まちへの愛着度について（全体）

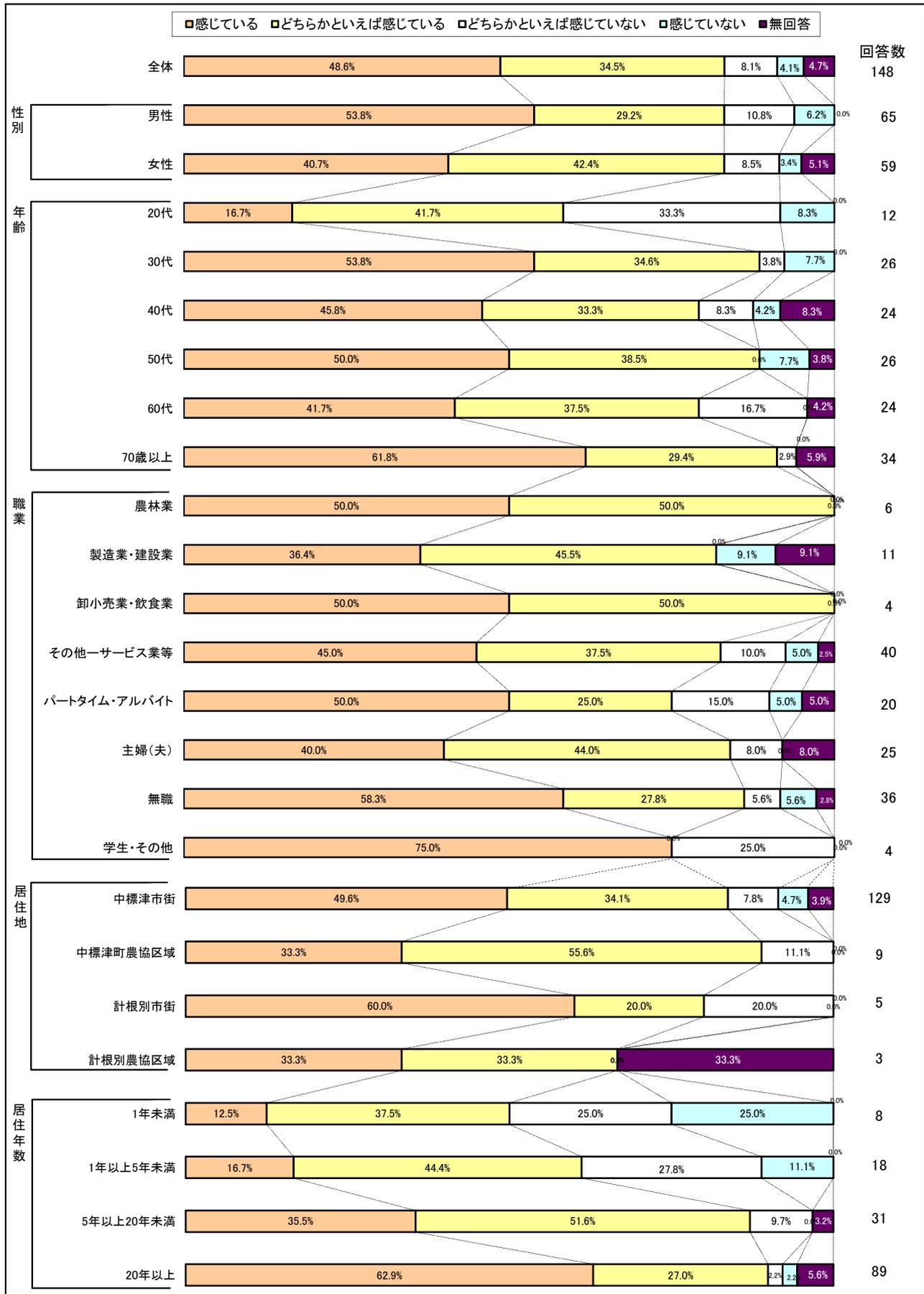


性別で“愛着を感じている”率をみると、女性は83.1%、男性は83.0%と、ほぼ同様の愛着度となっています。

年齢別では、70歳以上が91.2%と9割以上の方が“愛着を感じている”となっていますが、一方で20代では58.4%と6割以下と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“愛着を感じている”率の高い層をみると、職業別では農林業と卸小売業・飲食業（ともに100.0%）、居住地では中標津町農協区域(88.9%)、居住年数では20年以上（89.9%）などとなっています。【図表2参照】

図表2 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

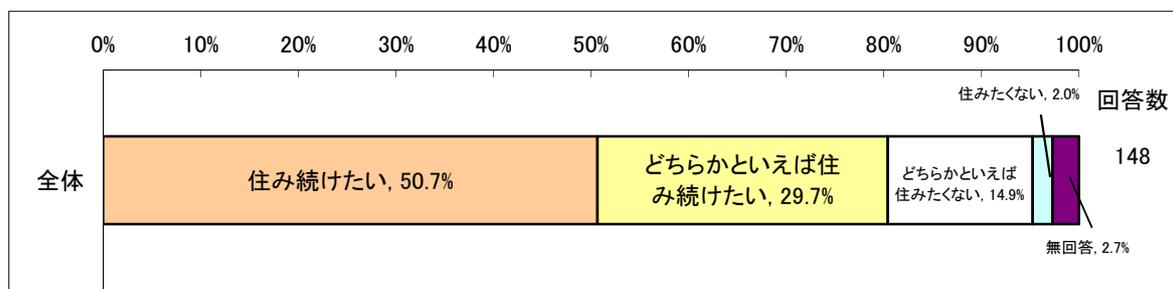
問3① あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

● “住み続けたい” が80.4%、一方、“住みたくない” は16.9%。

今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が75名・50.7%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（44名・29.7%）をあわせた119名・80.4%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」（22名・14.9%）及び「住みたくない」（3名・2.0%）と答えた“住みたくない”という人の合計は25名・16.9%と2割以下にとどまり、定住意向が強い結果となっています。【図表3参照】

図表3 今後の定住意向について（全体）



性別で“住み続けたい”率をみると、男性が83.1%、女性が76.3%と6.8ポイント上回っており、男性の方が定住意向が比較的高いことがうかがえます。

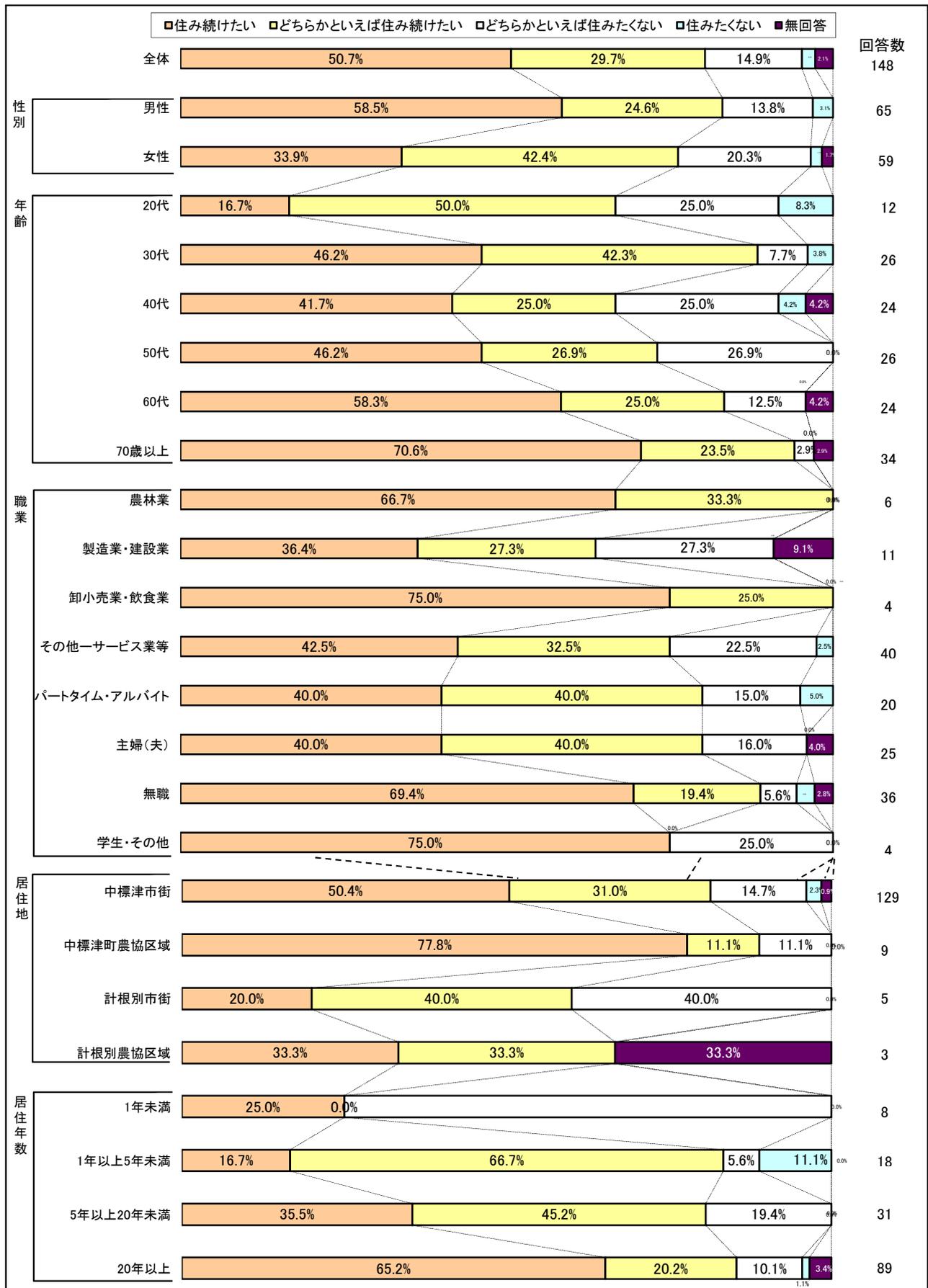
年齢別では、概ね加齢とともに定住意向が強くなる傾向がみられ、70歳以上では、“住み続けたい”率が94.1%となっています。

一方で20代、40代では“住み続けたい”率が66.7%と最も低い結果となっています。

このため、本町にとって若年層の定住化が重要な課題であることが改めて認識できる結果となっています。

職業別・居住年数・居住地別で“住み続けたい”率の高い層をみると、職業別では農林業及び卸小売業・飲食業（100.0%）、居住地では中標津町農協区域（88.9%）、居住年数では20年以上（85.4%）などとなっています。【図表4参照】

図表4 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



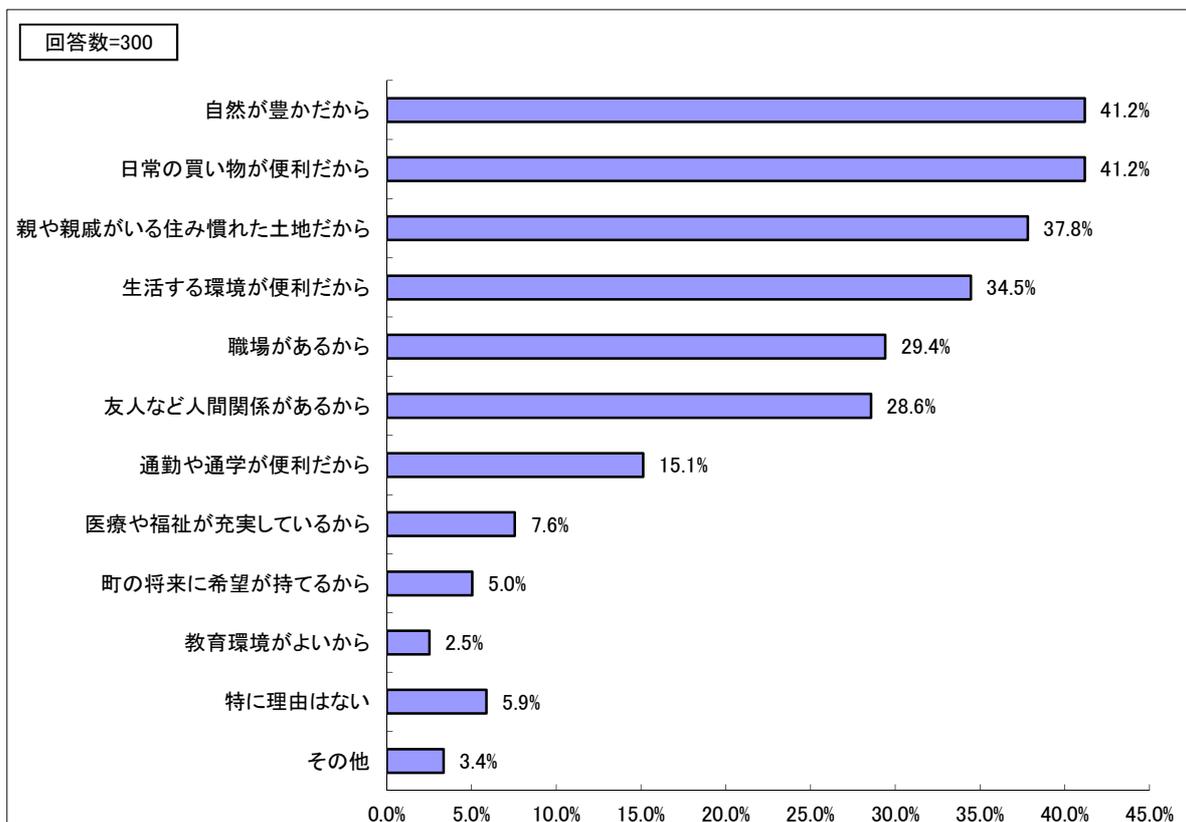
(3) 住み続けたい主な理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(①で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

- 「自然が豊かだから」、「日常の買い物が便利だから」が同率で第1位。次いで「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の80.4%・119名)にその理由をたずねたところ、「自然が豊かだから」及び「日常の買い物が便利だから」が41.2%の同率で第1位に挙げられ、次いで「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(37.8%)が続き、以下「生活する環境が便利だから」(34.5%)、「職場があるから」(29.4%)などの順となっています。【図表5参照】

図表5 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりとなっています。

根室管内に1つの空港があるから

人があたたかい

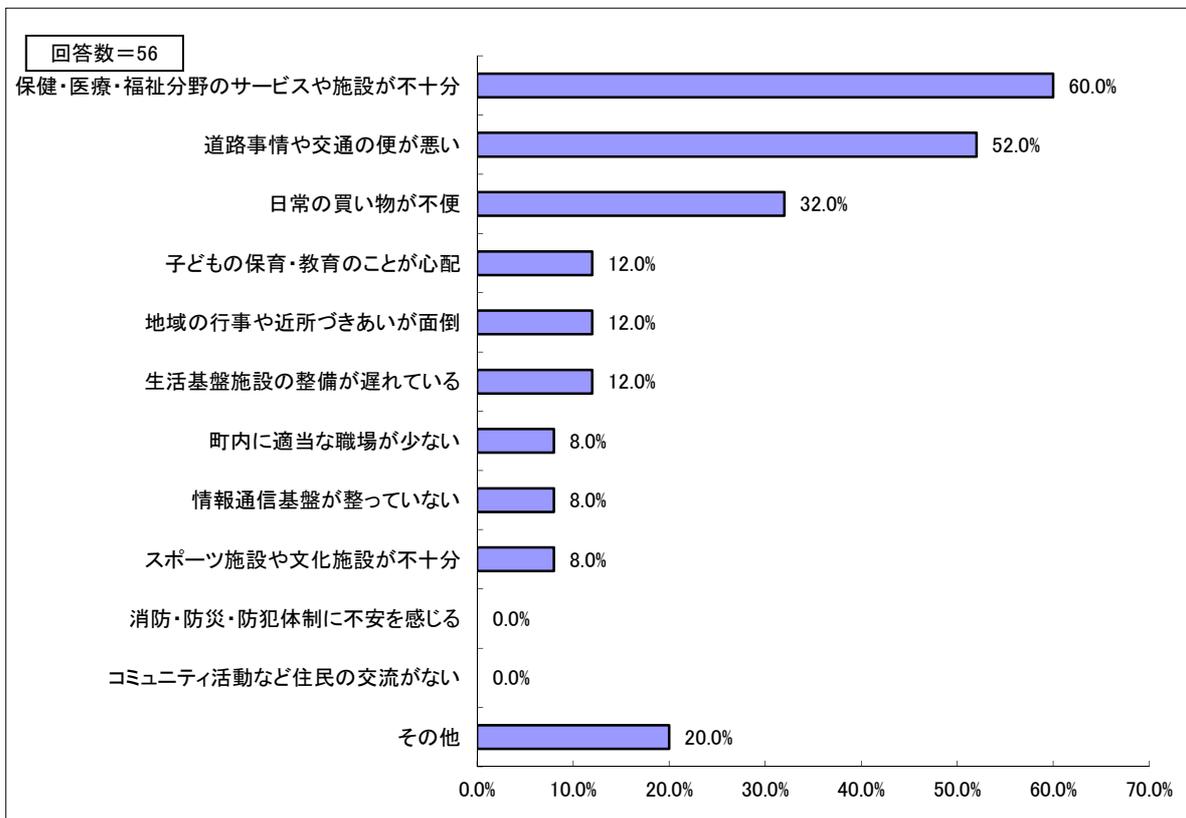
(4) 住みたくない主な理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(①で「3.」または「4.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情や交通の便が悪い」、「日常の買い物不便」の順。

問3で“住みたくない”と回答した人(全体の16.9%・25名)にその理由をたずねたところ、「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」(60.0%)が第1位に挙げられ、次いで「道路事情や交通の便が悪い」(52.0%)が続き、以下「日常の買い物不便」(32.0%)、「子どもの保育・教育のことが心配」・「地域の行事や近所づきあいが面倒」・「生活基盤施設の整備が遅れている」(同率12.0%)などの順となっています。【図表6参照】

図表6 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりとなっています。

町に賑わいが少ない 散歩をしてもあまり見るべき施設や町並みが少ない

今はとても好きですし住みやすい町だと思いますが、高齢になったときのことを考えると買い物・医療等の面で不安があります。

2 中標津町の取り組みに対する町民の声

(1) 中標津町全体について

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

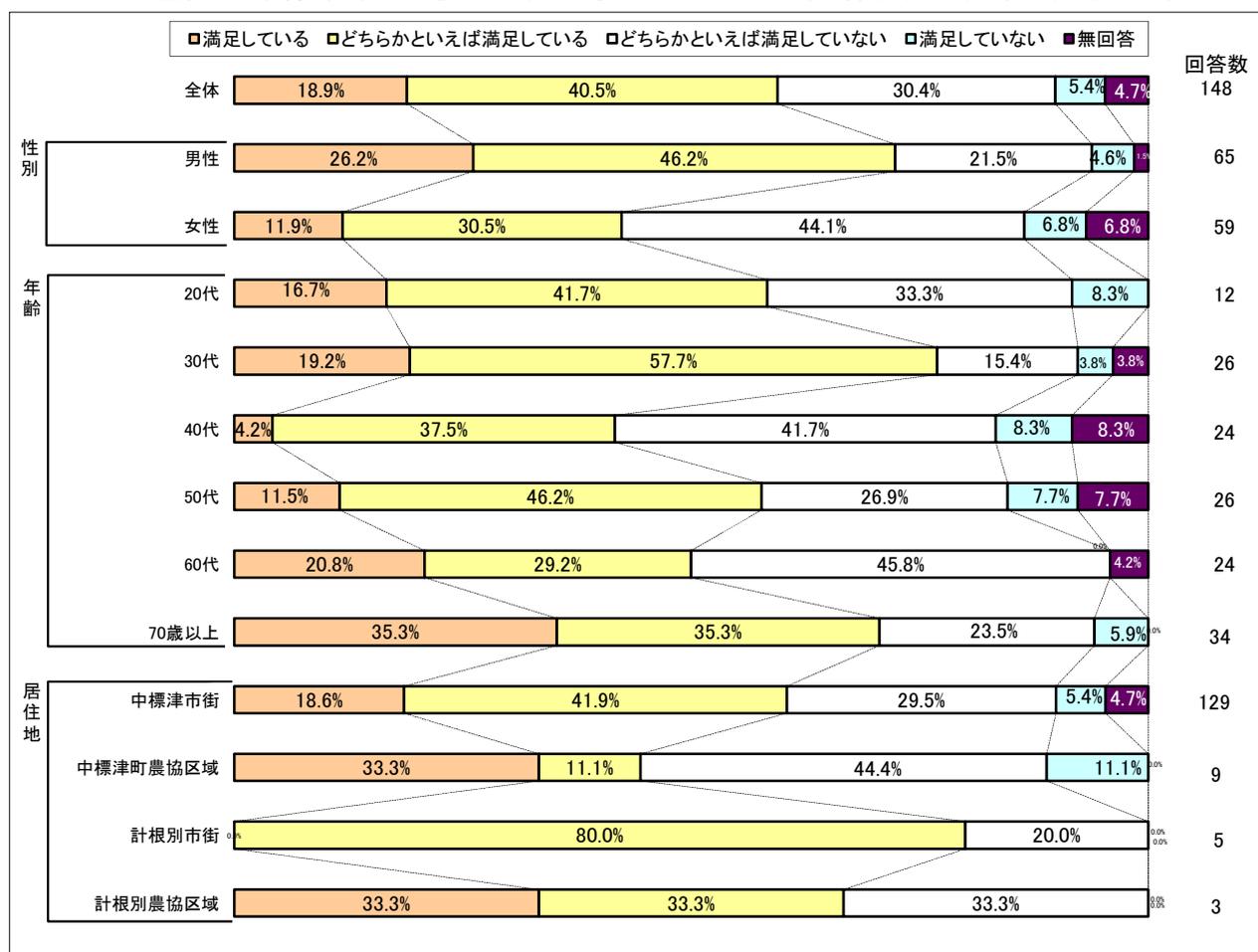
● “満足している” が59.4%、“満足していない” が35.8%。

全体的なまちづくりに対する満足度についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が40.5%、これに「満足している」（18.9%）をあわせた“満足している”という人が59.4%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（30.4%）及び「満足していない」（5.4%）の合計）は35.8%となっており、全体的に満足している町民が過半数を占めています。

年齢別の“満足している”率は、30代が（76.9%）と7割を超えています。40代は（41.7%）と4割にとどまっています。[図表7参照]

図表7 中標津町のまちづくりに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は82ページに掲載しています。

問5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている” が56.7%、 “関心を持っていない” が34.5%。

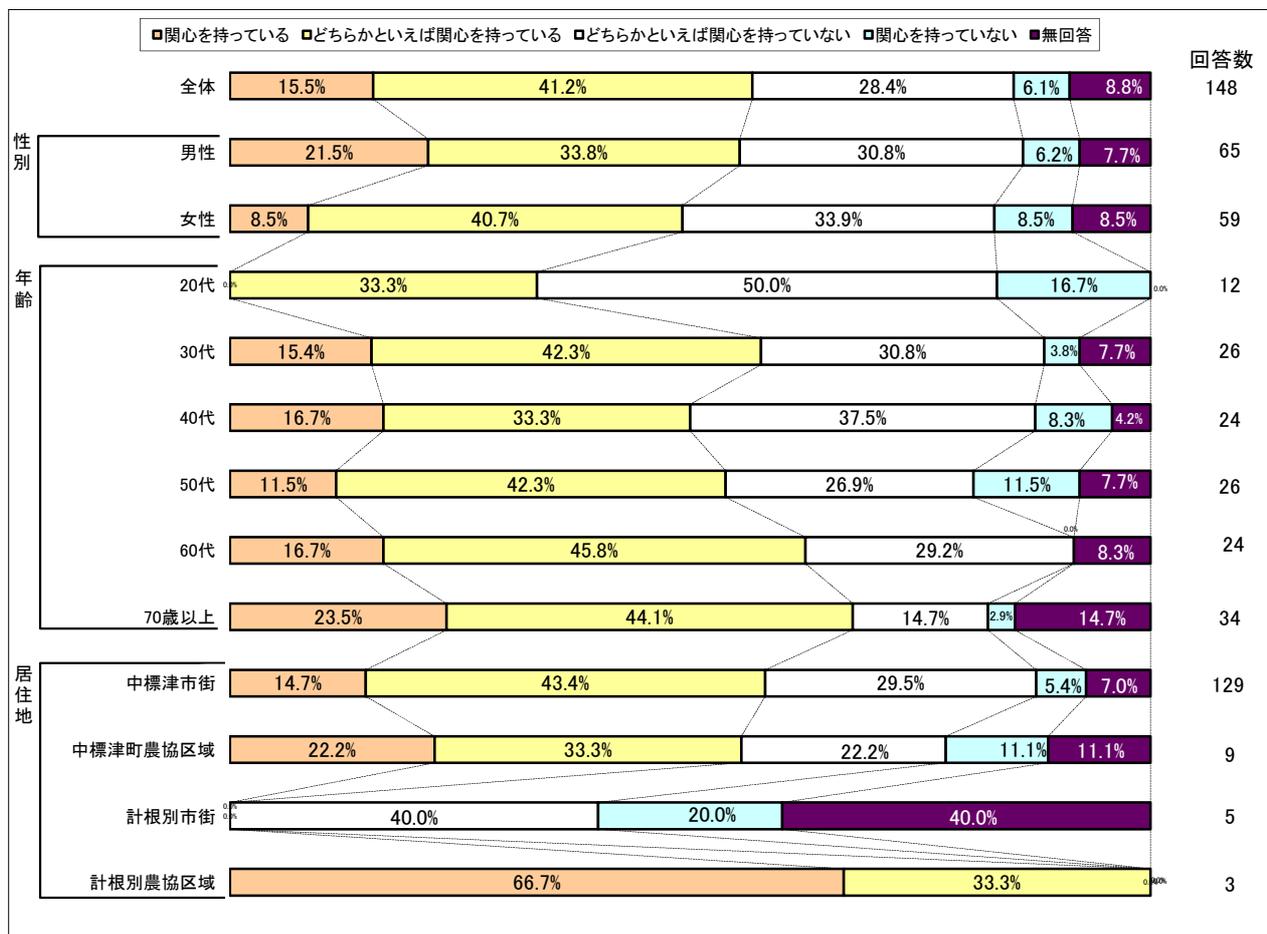
「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が41.2%で、これに「関心を持っている」（15.5%）をあわせた“関心を持っている”という人が56.7%となりました。

一方、“関心を持っていない”（「どちらかといえば関心を持っていない」（28.4%）及び「関心を持っていない」（6.1%）の合計）は34.5%となり、関心を持っている人が持っていない人を約2割上回る結果となりました。

性別でみると、男性（55.3%）が女性（49.2%）より若干関心が高いことがうかがえます。

年齢別でみると、概ね加齢とともに関心が高く70歳以上が67.6%、60代が62.5%となっています。[図表8参照]

図表8 まちの計画や取り組みへの関心について（全体、性別、年齢、居住地）



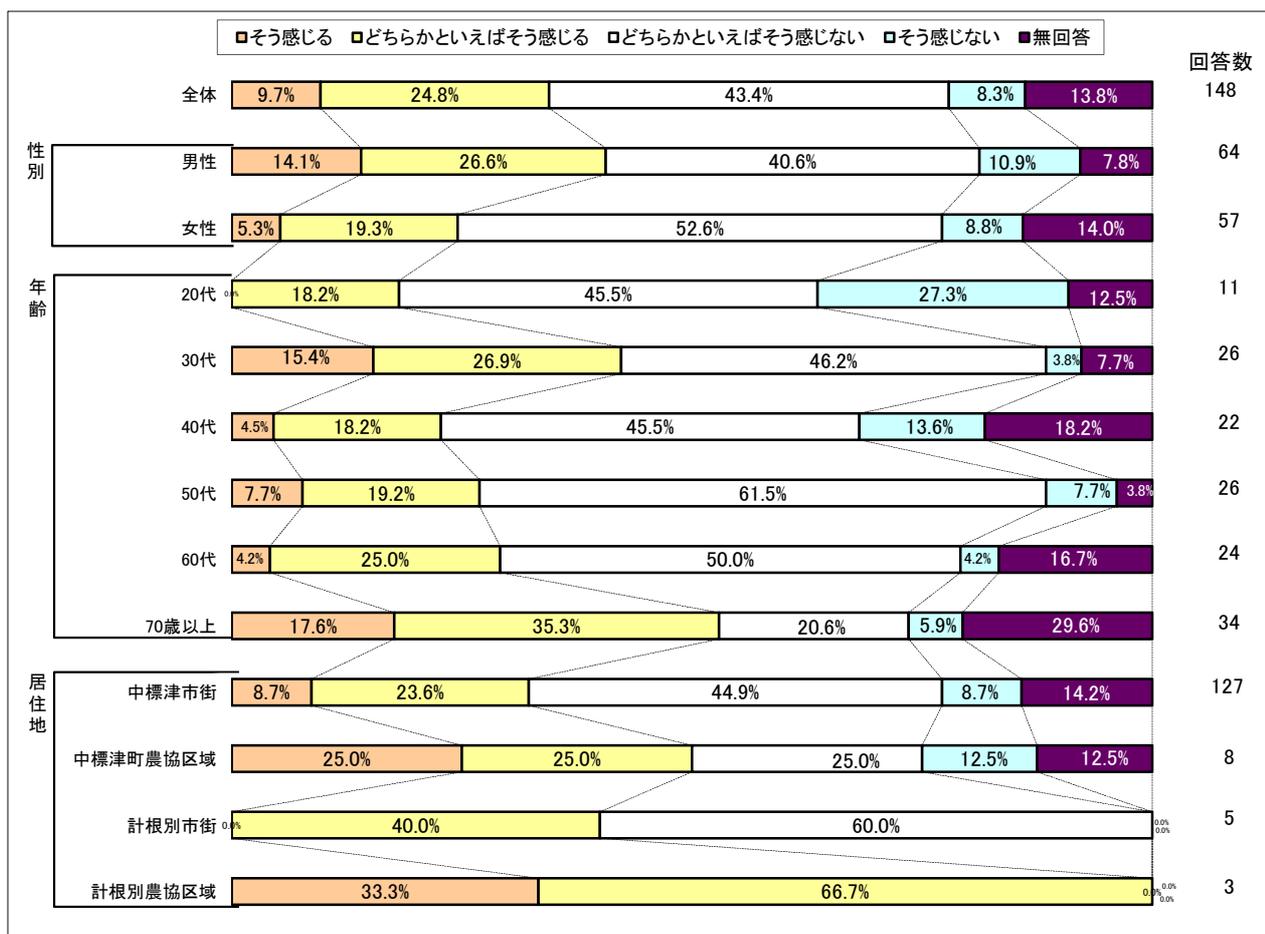
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

● “そう感じる” が34.5%、“そう感じない” が51.7%。

「そう感じる」(9.7%)と「どちらかといえばそう感じる」(24.8%)をあわせた“そう感じる”が34.5%、一方“そう感じない”(「どちらかといえばそう感じない」(43.4%)と「そう感じない」(8.3%)の合計)が51.7%となり、町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる人が、そう感じない人を下回っています。

年齢別でみると、概ね加齢とともに“そう感じる”率が高くなり、70歳以上では52.9%の人が“そう感じる”と回答しています。[図表9参照]

図表9 町民と行政が協力してまちづくりを行っているか(全体、性別、年齢、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は83ページに掲載しています。

問7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

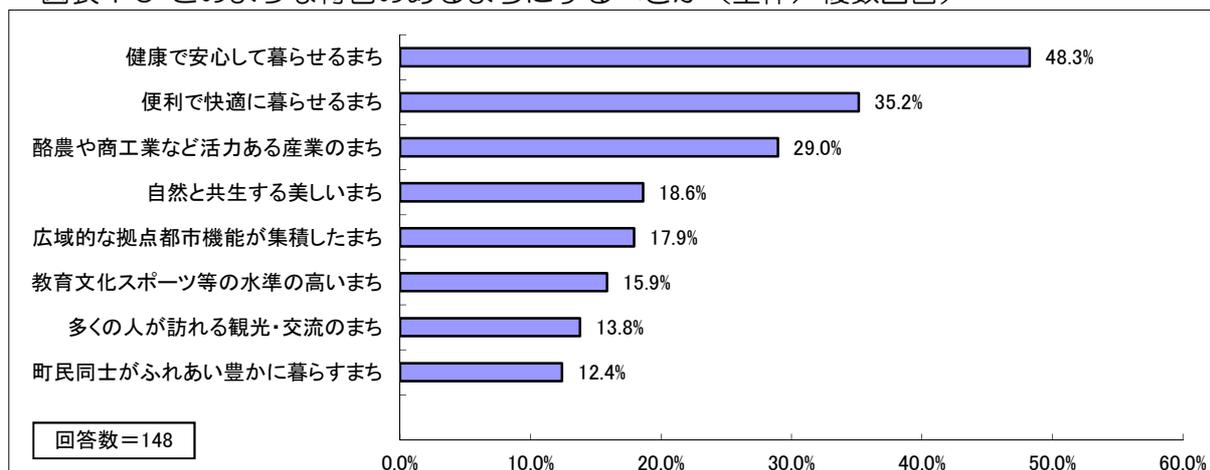
●「健康で安心して暮らせるまち」が第1位。次いで「便利で快適に暮らせるまち」、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」、の順。

今後のまちづくりにおいて、どのような特色のあるまちにするべきかたずねたところ、「健康で安心して暮らせるまち」（48.3%）が第1位にあげられ、次いで「便利で快適に暮らせるまち」（35.2%）、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」（29.0%）、「自然と共生する美しいまち」（18.6%）、「広域的な拠点都市機能が集積したまち」（17.9%）の順となりました。

年齢別では、20代を除く全ての年代で「健康で安心して暮らせるまち」が第1位となっています。

また、居住地別でも全地域において「健康で安心して暮らせるまち」が第1位となっています。【図表10～11参照】

図表10 どのような特色のあるまちにするべきか（全体／複数回答）



図表11 どのような特色のあるまちにするべきか（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		特色	割合	回答数	特色	割合	回答数	特色	割合	回答数
年	20代	便利で快適に暮らせるまち	63.6	636	健康で安心して暮らせるまち	36.4	364	町民同士がふれあい豊かに暮らすまち	27.3	273
		健康で安心して暮らせるまち	42.3	423	便利で快適に暮らせるまち	38.5	385	同率複数のため省略	-	-
	40代	健康で安心して暮らせるまち	36.4	364	酪農や商工業など活力のある産業のまち (同率1位)	36.4	364	便利で快適に暮らせるまち (同率1位)	36.4	364
		健康で安心して暮らせるまち	53.8	538	広域的な拠点都市機能が集積したまち	34.6	346	同率複数のため省略	-	-
	60代	健康で安心して暮らせるまち	54.2	542	便利で快適に暮らせるまち	37.5	375	酪農や商工業など活力のある産業のまち	29.2	292
		健康で安心して暮らせるまち	55.9	559	酪農や商工業など活力のある産業のまち	35.3	353	便利で快適に暮らせるまち	29.4	294
居住地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち	46.5	465	便利で快適に暮らせるまち	33.9	339	酪農や商工業など活力のある産業のまち	28.3	283
	中標津町農協区域	健康で安心して暮らせるまち	62.5	625	便利で快適に暮らせるまち	50.0	500	酪農や商工業など活力のある産業のまち	37.5	375
	計根別市街	健康で安心して暮らせるまち	60.0	600	便利で快適に暮らせるまち (同率1位)	60.0	600	酪農や商工業など活力のある産業のまち	40	40
	計根別農協区域	健康で安心して暮らせるまち	66.7	667	同率複数のため省略	-	-	同率複数のため省略	-	-

(2) 生活環境について

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

● “そう感じる” が61.5%、“そう感じない” が35.9%。

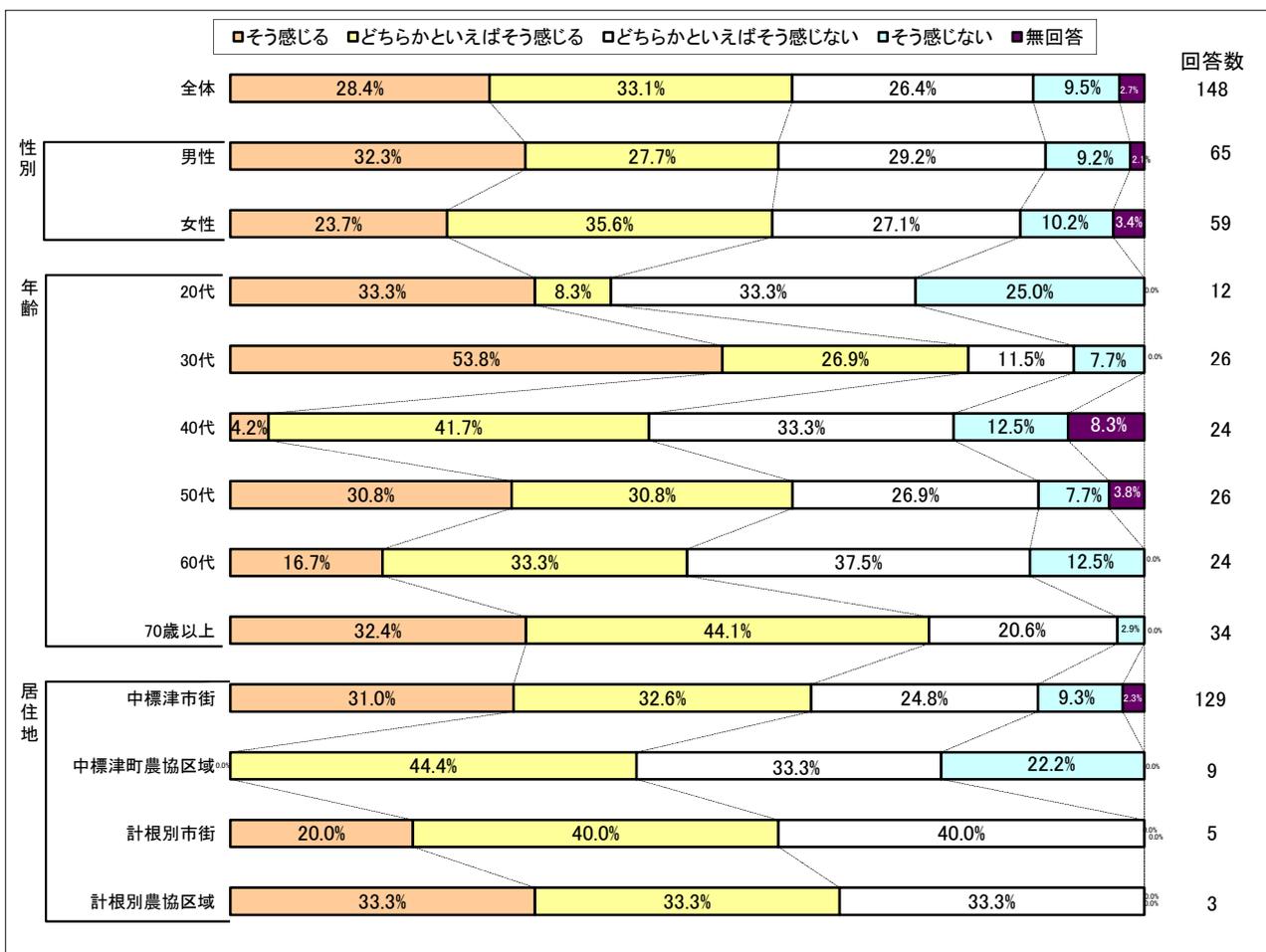
中心市街地の利便性について、たずねたところ、「そう感じる」(28.4%)これに「どちらかといえばそう感じる」(33.1%)を合わせた“そう感じる”人は61.5%となっています。

一方、“そう感じない”(「どちらかといえばそう感じない」26.4%、「そう感じない」9.5%の合計)は35.9%となっており、全体的には中心市街地は便利で利用しやすいと感じている町民が半数以上を占めています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が(60.0%)、女性が(59.3%)とほぼ同率となっています。

年齢別の割合は30代が80.7%と1番高く、他の年代では40%以上の方が中心市街地は便利で利用しやすいと感じています。[図表12参照]

図表12 中心市街地は便利で利用しやすいか(全体、性別、年齢、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は84ページに掲載しています。

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

● “そう感じる” が56.1%、“そう感じない” が39.8%。

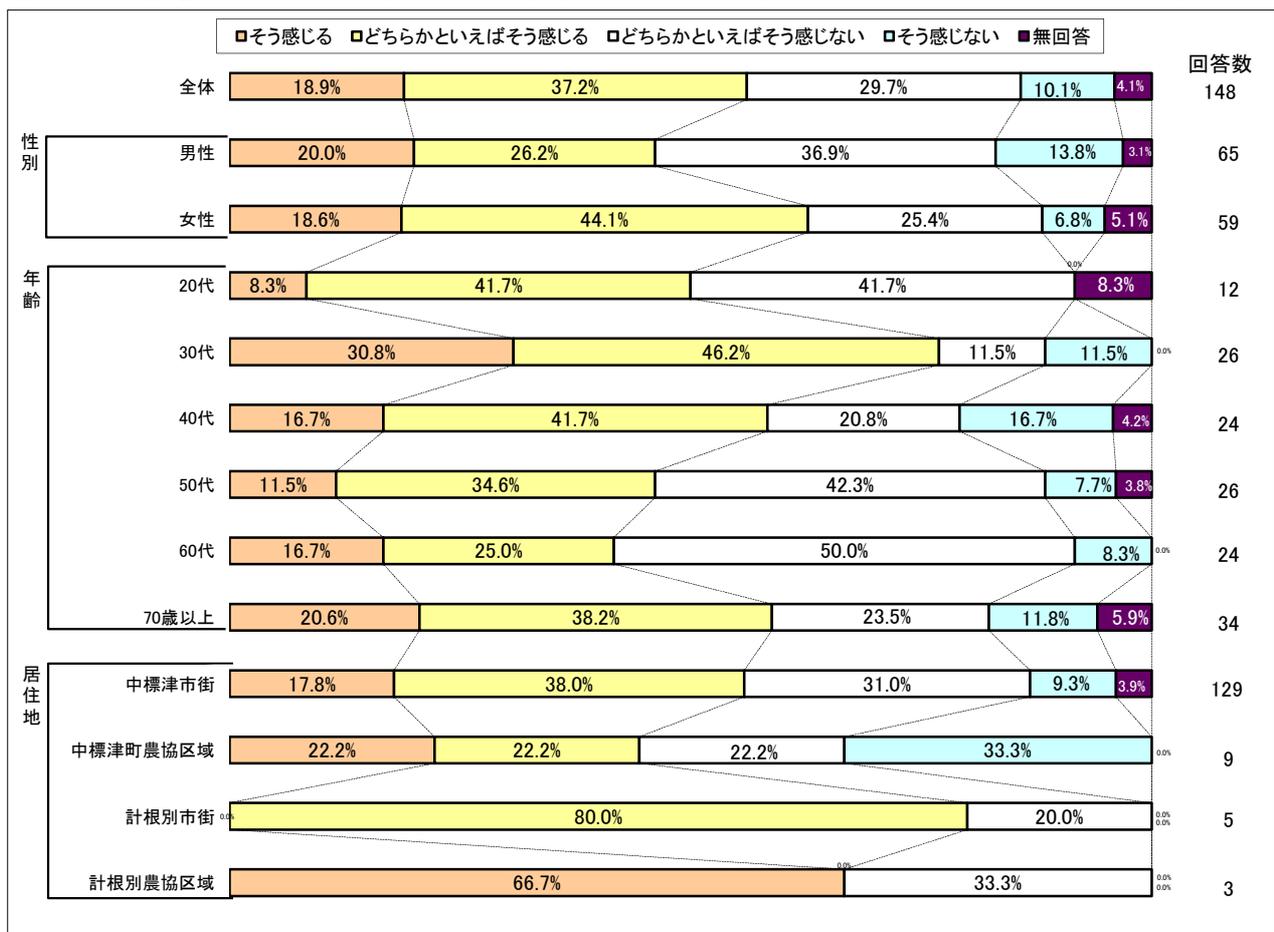
道路や河川などが適切に維持管理されているかについてたずねたところ、「どちらといえばそう感じる」（37.2%）、これに「そう感じる」（18.9%）を合わせた“そう感じる”人は56.1%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらといえばそう感じない」(29.7%)、「そう感じない」(10.1%)の合計）は39.8%と約4割となっています。

性別で“そう感じる人”の割合は男性が46.2%、女性が62.7%と女性が16.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が77.0%と高い一方60代では41.7%と低くなっています。[図表13参照]

図表13 道路や河川などが適切に維持管理されていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は85ページに掲載しています。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

● “満足している” が71.0%、 “満足していない” が26.4%。

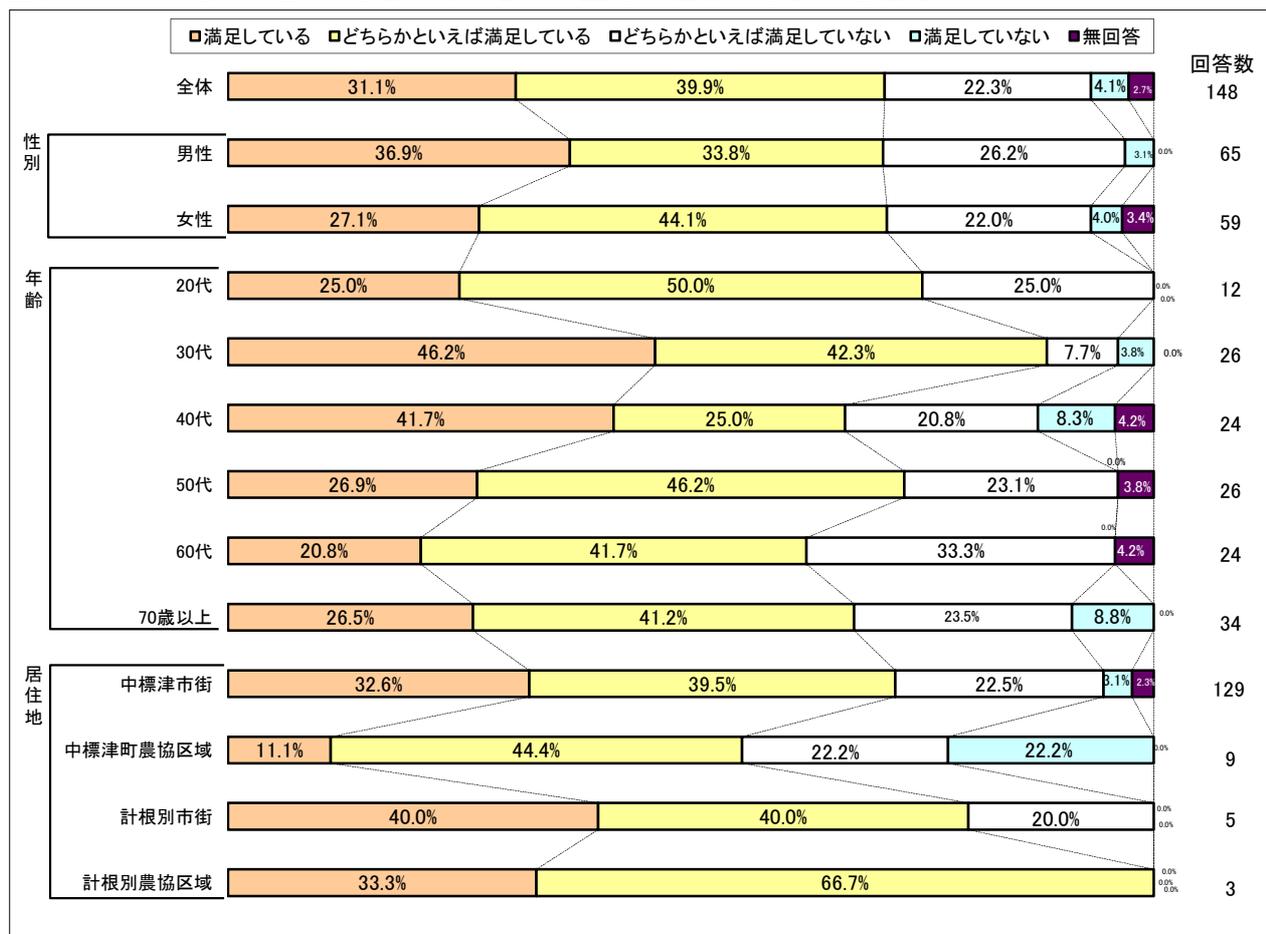
「まちの緑」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(39.9%)と、これに「満足している」(31.1%)をあわせた“満足している”という人が71.0%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(22.3%)「満足していない」(4.1%)の合計）は26.4%となっています。

性別で“満足している”人は男性(70.7%)、女性(71.2%)と女性が0.5ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は、30代(88.5%)が高く、一方60代(62.5%)と低くなっています。[図表14参照]

図表14 「まちの緑」に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は86ページに掲載しています。

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができますと感じますか。

● “そう感じる” が27.0%、 “そう感じない” が64.2%。

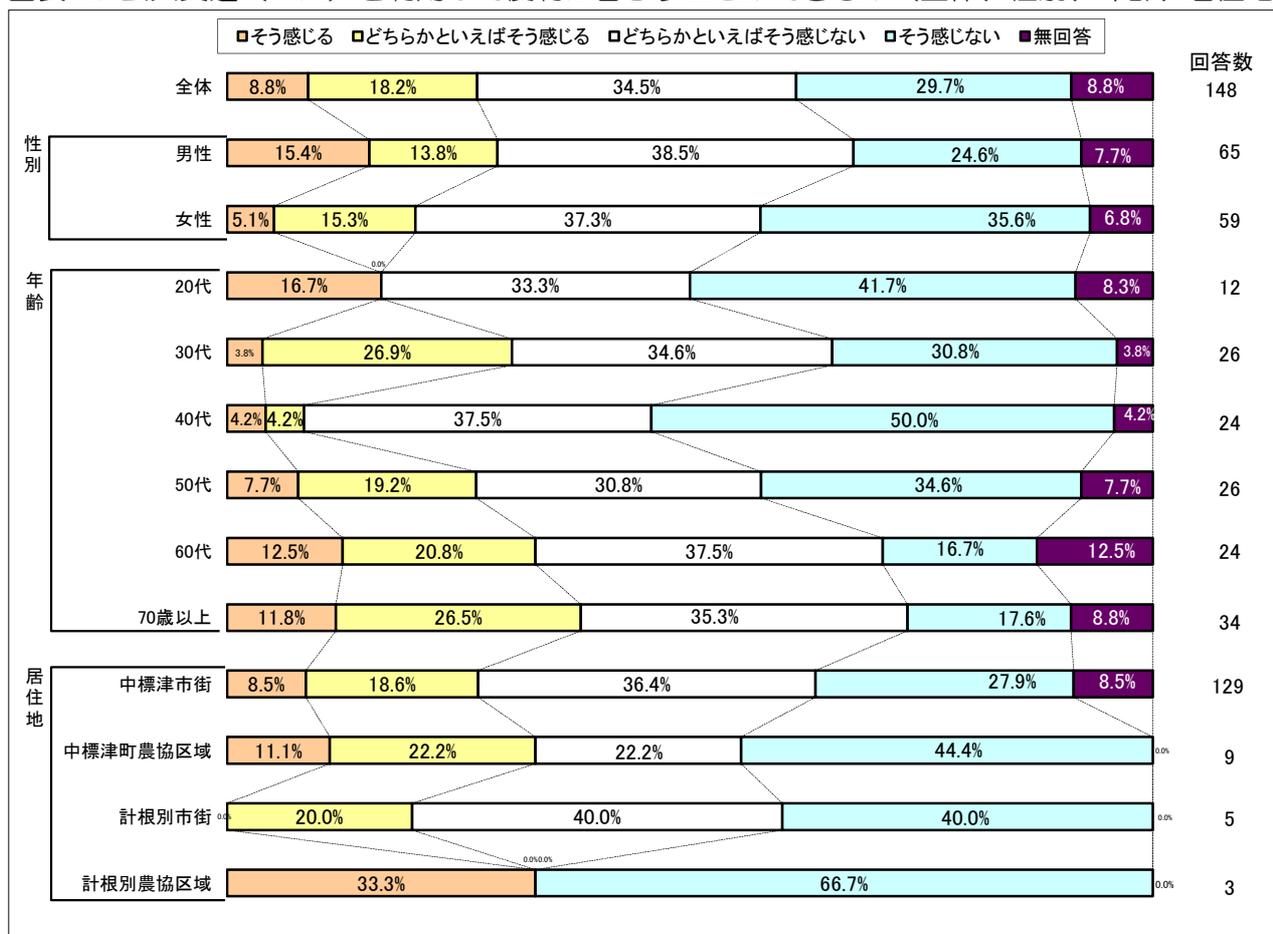
公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」が18.2%、これに「そう感じる」の8.8%を合わせた“そう感じる”人は27.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（34.5%）「そう感じない」（29.7%）の合計）は64.2%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合では男性が29.2%、女性が20.4%と男性が8.8ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は70歳以上が38.3%となっていますが40代では8.4%と低くなっています。[図表15参照]

図表15 公共交通（バス）を利用して便利に暮らすことができるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は87ページに掲載しています。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している” が60.1%、“満足していない” が33.8%。

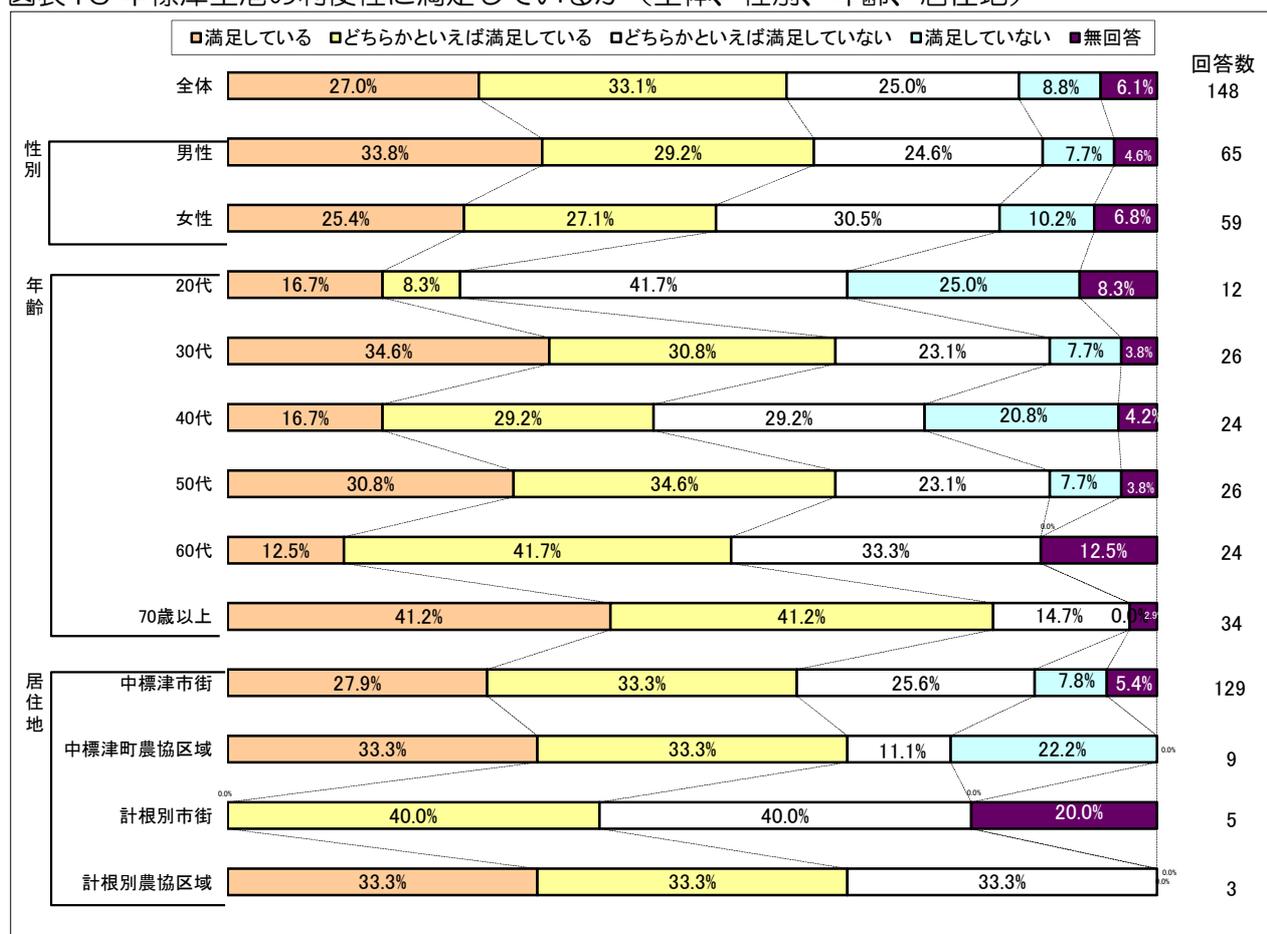
中標津空港の利便性に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(33.1%)これに「満足している」(27.0%)をあわせた“満足している”という人が60.1%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(25.0%)「満足していない」(8.8%)の合計）は33.8%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性(63.0%)、女性(52.5%)となり、男性の方が10.5ポイント高くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は、70歳以上が82.4%と高くなっていますが、20代は25.0%と低くなっています。[図表16参照]

図表16 中標津空港の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は88ページに掲載しています。

問13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
【複数回答】



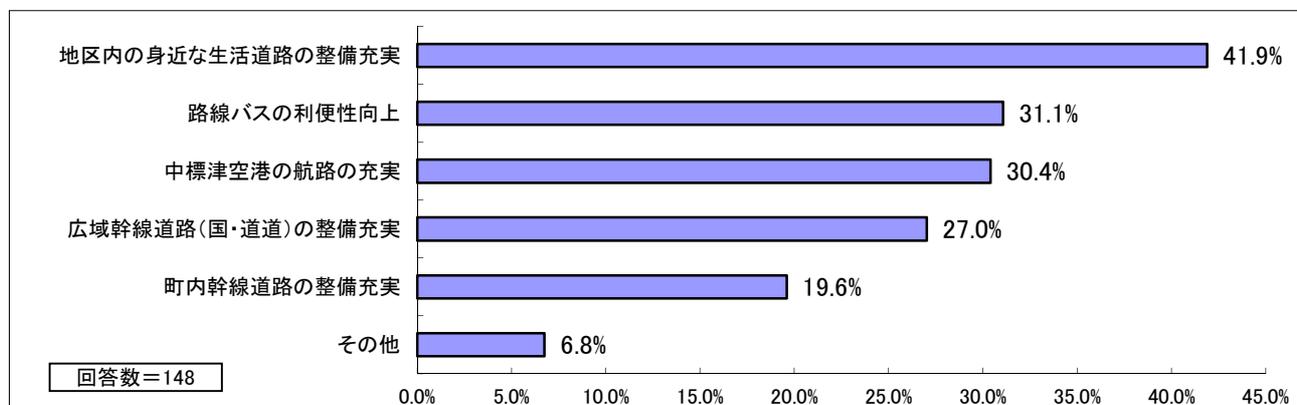
●「地区内の身近な生活道路の整備充実」が第1位。次いで「路線バスの利便性向上」、「中標津空港の航路の充実」の順。

町内及びその周辺で必要な道路、交通手段についてたずねたところ、「地区内の身近な生活道路の整備充実」（41.9%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「路線バスの利便性の向上」（31.1%）、「中標津空港の航路の充実」（30.4%）、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」（27.0%）などの順となっています。

これを年齢別、居住地別でも、ほとんどの層で「地区内の身近な生活道路の整備充実」が第1位となっていますが、年齢別の20代及び30代では「中標津空港の航路の充実」、また居住地別の計根別農協区域は「町内幹線道路の整備充実」が第1位となっています。

【図表17～18参照】

図表17 今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



図表18 今後必要な道路交通手段について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	中標津空港の航路の充実 50.0	地区内の身近な生活道路の整備充実 25.0	路線バスの利便性向上 (同率2位) 25.0
	30代	中標津空港の航路の充実 53.8	広域幹線道路(国・道道)の整備充実 46.2	地区内の身近な生活道路の整備充実 38.5
	40代	地区内の身近な生活道路の整備充実 41.7	中標津空港の航路の充実 29.2	路線バスの利便性向上 (同率2位) 29.2
	50代	地区内の身近な生活道路の整備充実 38.5	路線バスの利便性向上 (同率1位) 38.5	広域幹線道路(国・道道)の整備充実 34.6
	60代	地区内の身近な生活道路の整備充実 54.2	広域幹線道路(国・道道)の整備充実 29.2	中標津空港の航路の充実 (同率2位) 29.2
	70歳以上	地区内の身近な生活道路の整備充実 44.1	路線バスの利便性向上 (同率1位) 44.1	町内幹線道路の整備充実 23.5
	居 住 地	中標津市街	地区内の身近な生活道路の整備充実 40.3	路線バスの利便性向上 32.6
中標津町農協区域		地区内の身近な生活道路の整備充実 55.6	路線バスの利便性向上 33.3	同率複数のため省略 —
計根別市街		地区内の身近な生活道路の整備充実 60.0	町内幹線道路の整備充実 40.0	中標津空港の航路の充実 (同率2位) 40.0
計根別農協区域		町内幹線道路の整備充実 66.7	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

今のままで充分
町内バスはマイクロバスなど小型化していくべき。
全て必要
JR
高速ができれば良いです。
電車や地下鉄の普及。
西泉西10条～西14条まで早く歩道をつけてほしい。

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

● “そう感じる” が90.5%、“そう感じない” が4.8%。

安定して水道水が利用できていると感じるかについてたずねたところ、「そう感じる」(60.1%)に「どちらかといえばそう感じる」(30.4%)を合わせた“そう感じる”人は90.5%となっています。

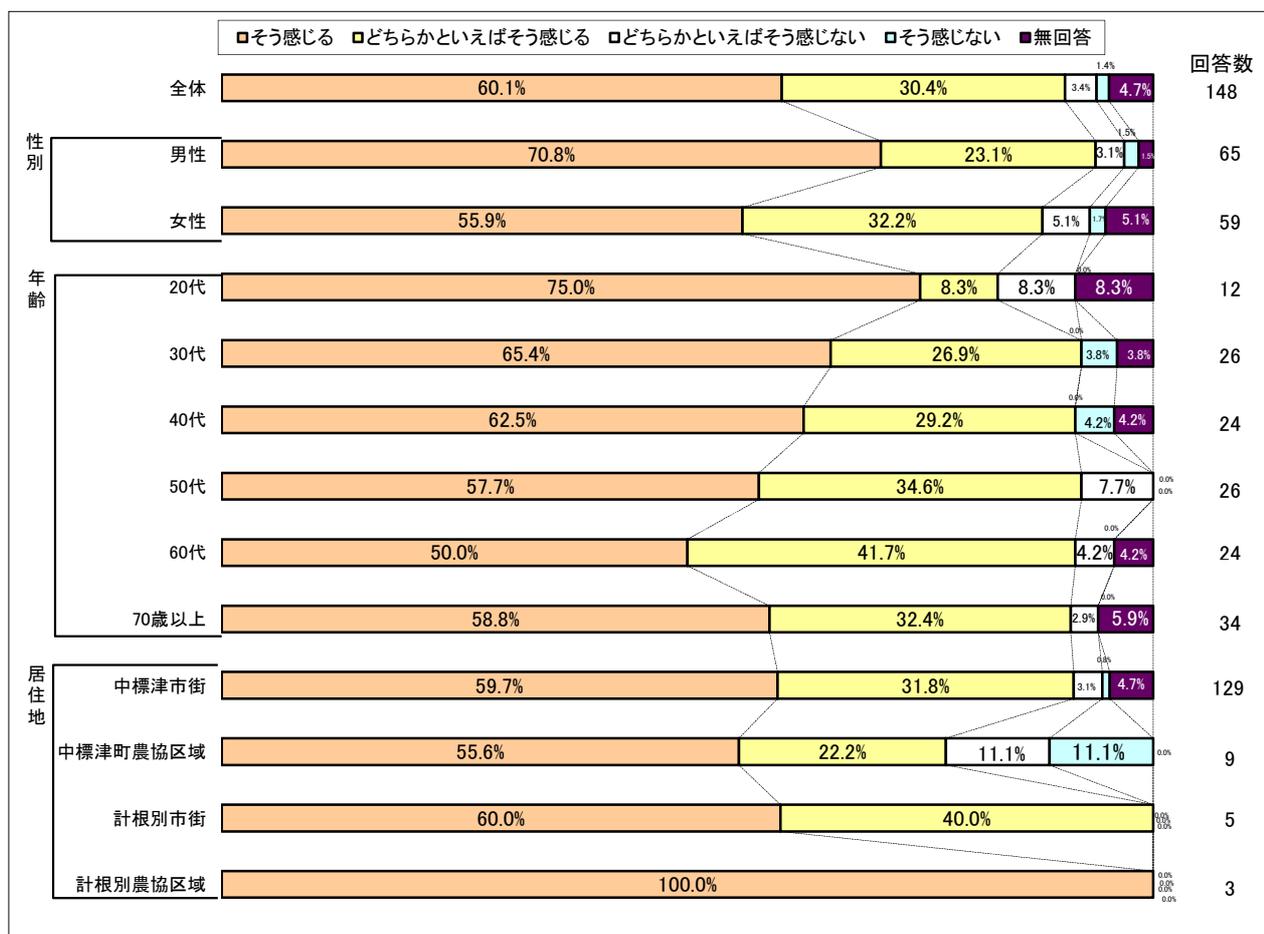
一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(3.4%)「そう感じない」(1.4%)の合計）は4.8%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が93.9%、女性が88.1%と男性が5.8ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代以上の全ての年齢層で9割を超えていますが、20代では83.3%と低くなっています。

居住地別で“そう感じる”人の割合は計根別市街と計根別農協区域では100%ですが、中標津町農協区域は77.8%と低くなっています。[図表19参照]

図表19 安心して水道水が利用できているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は88ページに掲載しています。

問15 墓地の施設に満足していますか。

● “満足している” が59.5%、“満足していない” が23.7%。

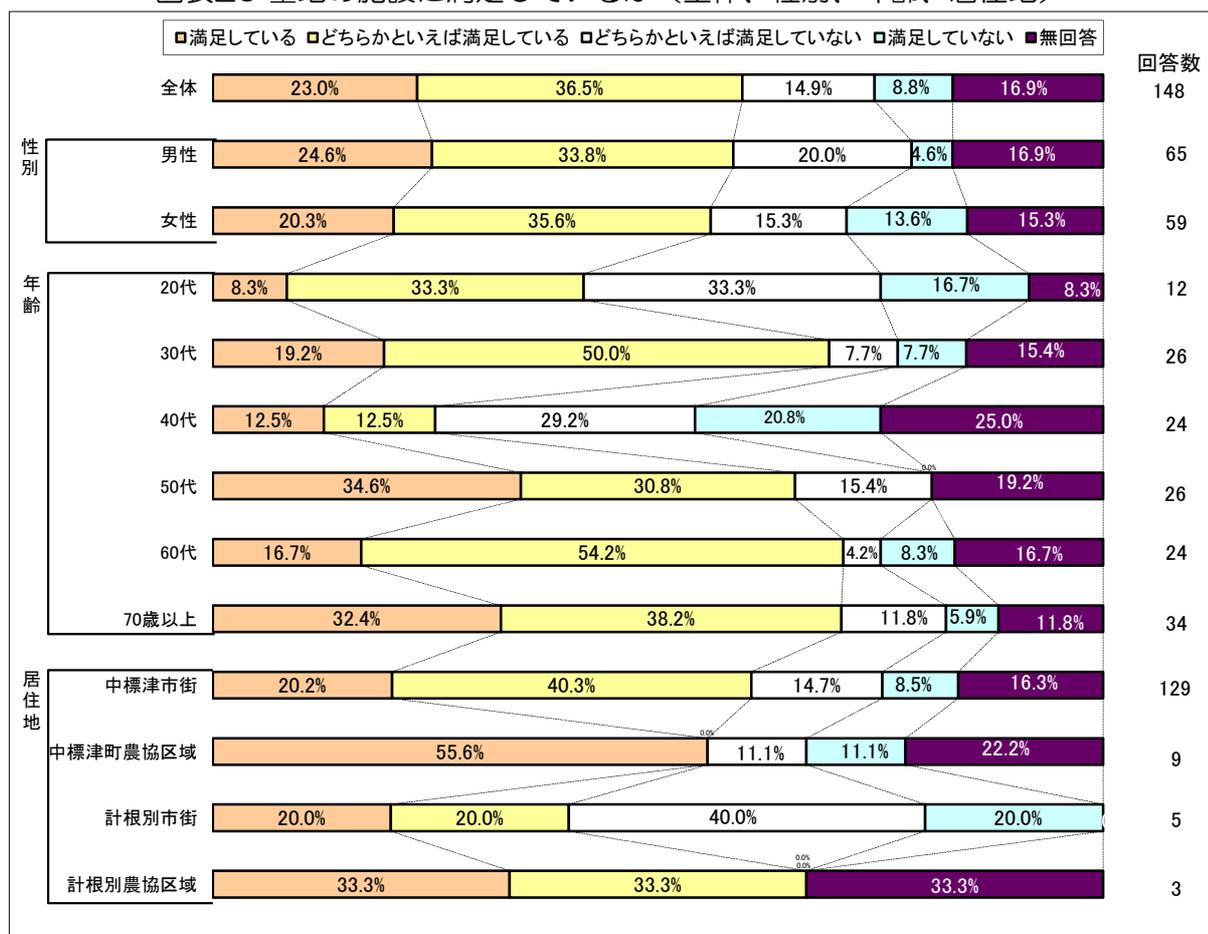
墓地の施設に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(36.5%)、これに「満足している」(23.0%)をあわせた“満足している”という人が59.5%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（14.9%）「満足していない」（8.8%）の合計）は23.7%となっています。

性別で“満足している”人は男性(58.4%)、女性（55.9%）と男性が2.5ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人は、60代（70.9%）、70歳以上（70.6%）と7割を超えています。一方40代は（25.0%）と低くなっています。【図表20参照】

図表20 墓地の施設に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は89ページに掲載しています。

問16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
【複数回答】

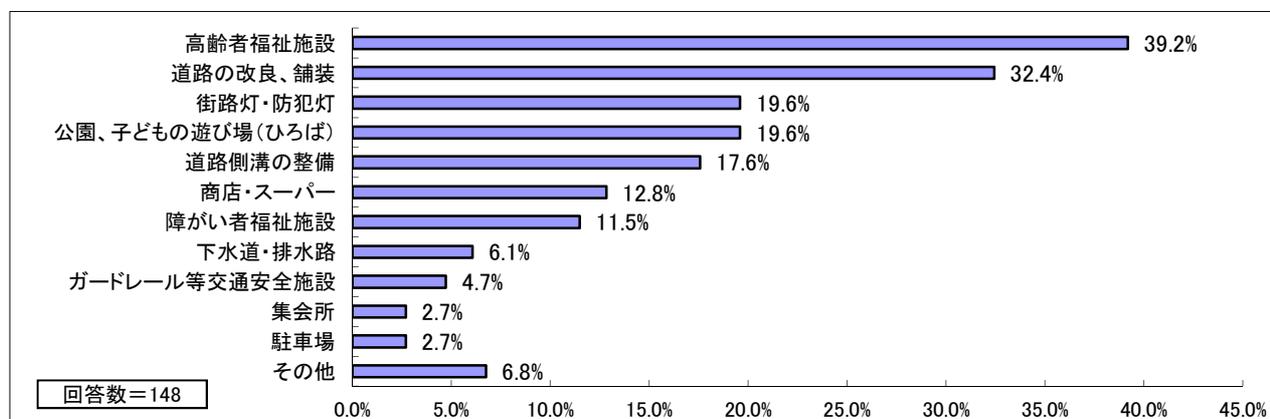
●「高齢者福祉施設」が第1位。次いで「道路の改良、舗装」の順。

今後必要な施設整備についてたずねたところ、「高齢者福祉施設」（39.2%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで、「道路の改良、舗装」（32.4%）、「街路灯・防犯灯」及び「公園、子どもの遊び場（ひろば）」がともに19.6%で続き、以下「道路側溝の整備」（17.6%）、「商店・スーパー」（12.8%）、「障がい者福祉施設」（11.5%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代が「公園、子どもの遊び場（ひろば）」、30代、40代は「道路の改良、舗装」、50代以上の年齢層では「高齢者福祉施設」となっています。

また、居住地別の第1位は、計根別農協区域が「街路灯・防犯灯」となっていますが、他の地域では「高齢者福祉施設」となっています。[図表21～22参照]

図表21 今後必要な施設整備について（全体／複数回答）



図表22 今後必要な施設整備について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年	年齢	第1位			第2位			第3位		
		施設	割合 (%)	施設	割合 (%)	施設	割合 (%)	施設	割合 (%)	
年	20代	公園、子どもの遊び場	41.7	街路灯・防犯灯	33.3	商店・スーパー	25.0			
	30代	道路の改良、舗装	46.2	街路灯・防犯灯	34.6	公園、子どもの遊び場	26.9			
	40代	道路の改良、舗装	29.2	高齢者福祉施設	29.2	同率複数のため省略	—			
年齢	50代	高齢者福祉施設	50.0	道路の改良、舗装	26.9	障がい者福祉施設	26.9			
	60代	高齢者福祉施設	50.0	道路の改良、舗装	37.5	公園、子どもの遊び場	29.2			
	70歳以上	高齢者福祉施設	50.0	道路の改良、舗装	32.4	道路側溝の整備	23.5			
居住地	中標津市街	高齢者福祉施設	39.5	道路の改良、舗装	30.2	公園、子どもの遊び場	21.7			
	中標津町農協区域	高齢者福祉施設	66.7	道路の改良、舗装	55.6	道路側溝の整備	33.3			
	計根別市街	高齢者福祉施設	60.0	街路灯・防犯灯	40.0	同率複数のため省略	—			
	計根別農協区域	街路灯・防犯灯	66.6	同率複数のため省略	—	同率複数のため省略	—			

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

全部必要
冬でも高齢者や子供が楽しく過ごせる施設
道路と家の間が暗いので街灯がほしい
娯楽施設
どれも充実していると思います。
芸術的なもの
信号機
病院（行きたい診療科の受付時間が午前ばかりで大変不便）
防犯カメラが必要。
パチンコ店以外の遊べる施設（ボウリング場など）
小さなイベントホール

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

● “そう感じる” が73.7%、 “そう感じない” が21.0%。

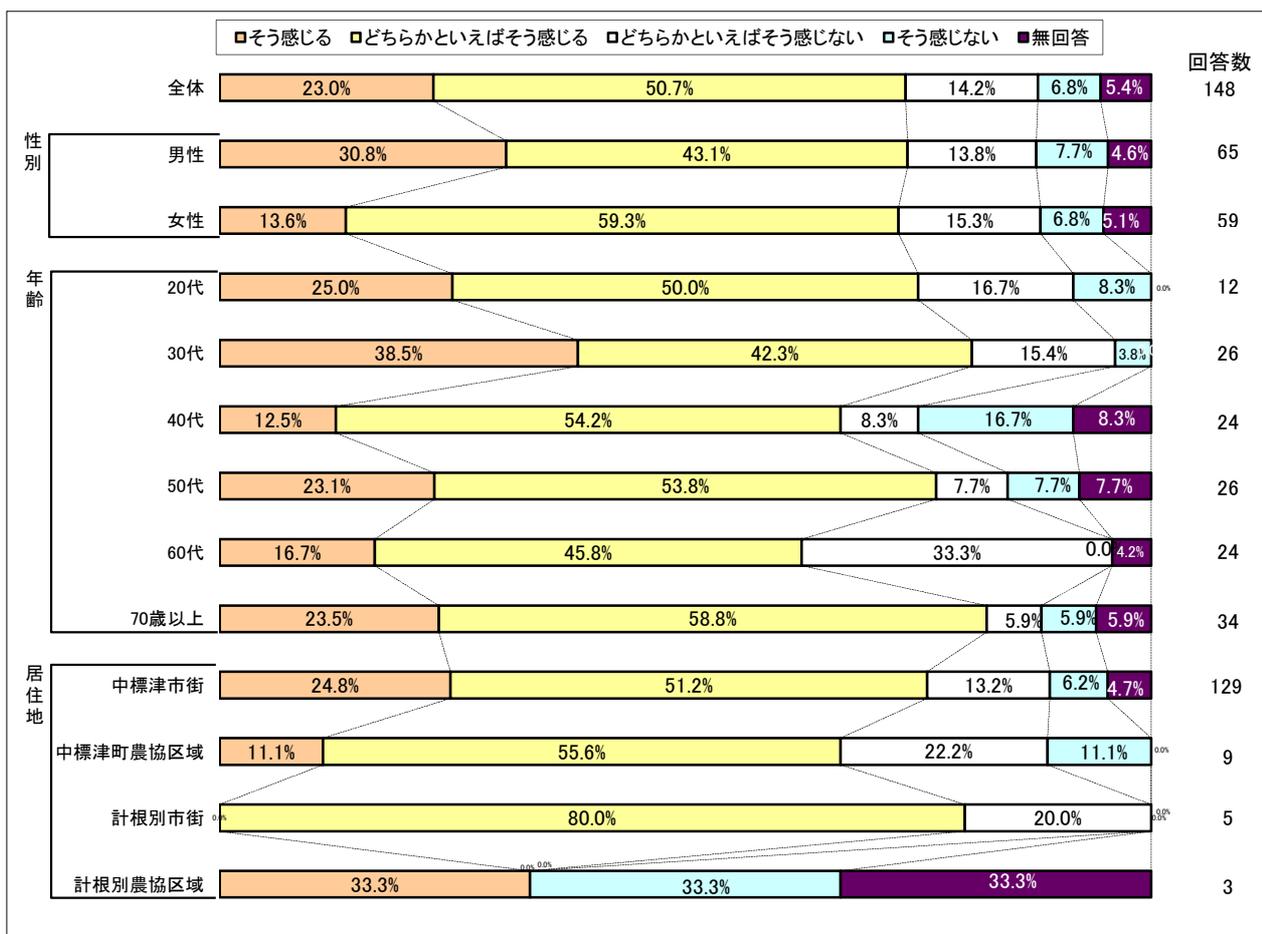
お住まいの地域は、良好なまちなみ（住環境）であると感じるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（50.7%）に「そう感じる」（23.0%）を合わせた“そう感じる”は73.7%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（14.2%）「そう感じない」（6.8%）の合計）は21.0%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が73.1%、女性が72.9%とほぼ同率となっています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は70歳以上が82.3%と高くなっていますが60代では62.5%と低くなっています。[図表23参照]

図表23 住んでいる地域は良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は89ページに掲載しています。

問18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

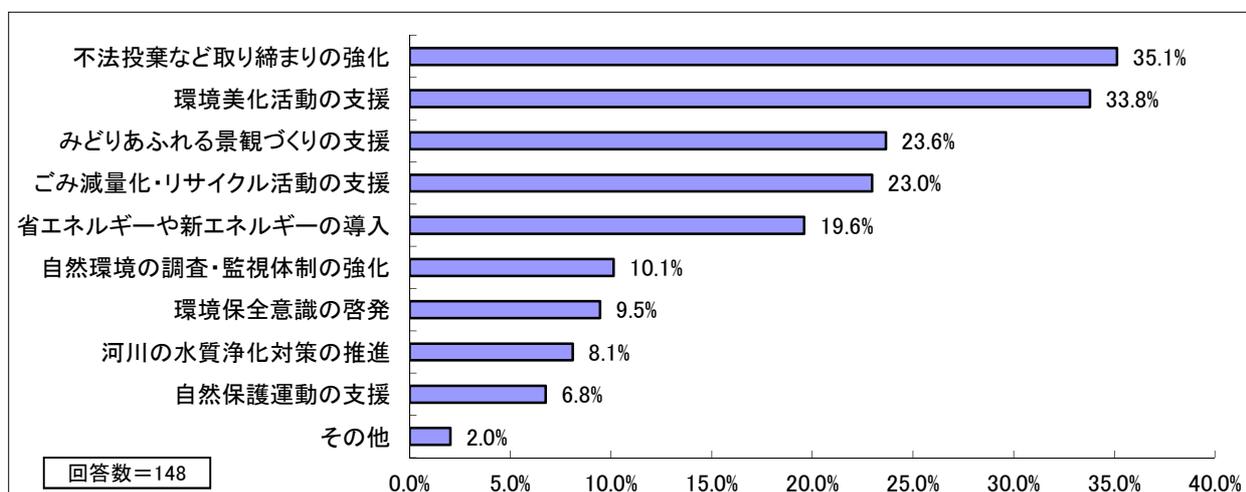
● 「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位。「環境美化活動の支援」が続く。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「不法投棄など取り締まりの強化」(35.1%)が第1位に挙げられ、次いで「環境美化活動の支援」(33.8%)、「みどりあふれる景観づくりの支援」(23.6%)、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」(23.0%)などの順となっています。

年齢別でみると20代は「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」、50代は「環境美化活動の支援」、その他の年代では、「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位となっています。

[図表24~25参照]

図表24 自然環境や生活環境の保全について（全体／複数回答）



図表25 今後必要な施設整備について（全体、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
全 体		不法投棄などの取り締まりの強化 35.1	環境美化活動の支援 33.8	みどりあふれる景観づくりの支援 23.6
年 齢	20代	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 41.7	不法投棄など取り締まりの強化 33.3	同率複数のため省略 -
	30代	不法投棄など取り締まりの強化 46.2	環境美化活動の支援 38.5	みどりあふれる景観づくりの支援 34.6
	40代	不法投棄など取り締まりの強化 37.5	環境美化活動の支援 33.3	省エネルギーや新エネルギーの導入 29.2
	50代	環境美化活動の支援 46.2	みどりあふれる景観づくりの支援 23.1	同率複数のため省略 -
	60代	不法投棄など取り締まりの強化 37.5	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 (同率1位) 37.5	環境美化活動の支援 25.0
	70歳以上	不法投棄など取り締まりの強化 35.3	環境美化活動の支援 32.4	みどりあふれる景観づくりの支援 23.5
	居 住 地	中標津市街	不法投棄など取り締まりの強化 37.2	環境美化活動の支援 33.3
中標津町農協区域		環境美化活動の支援 44.4	不法投棄など取り締まりの強化 33.3	みどりあふれる景観づくりの支援 (同率2位) 33.3
計根別市街		環境美化活動の支援 40.0	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 (同率1位) 40.0	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率1位) 40.0
計根別農協区域		自然保護運動の支援 66.7	環境美化活動の支援 33.3	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率2位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

町内会の活性とか近所の人同士の関わり
吹雪のときの道路の安全。

問19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。

● “活用している” が56.7%、“活用していない” が41.2%。

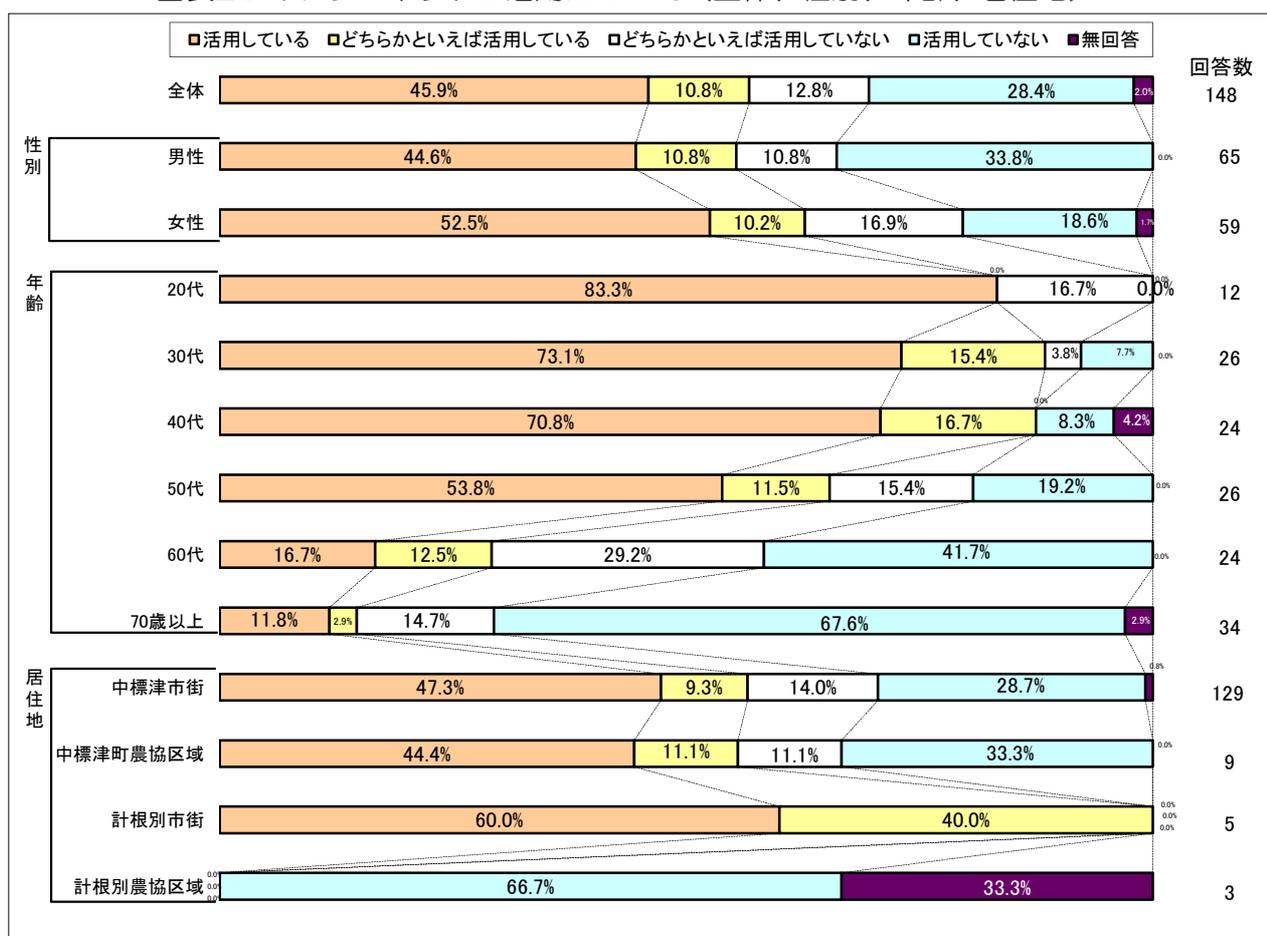
日常生活でインターネットなど活用しているかたずねたところ、「活用している」（45.9%）に「どちらかといえば活用している」（10.8%）を合わせた56.7%の人が“活用している”と回答しています。

一方、“活用していない”（「活用していない」（28.4%）「どちらかといえば活用していない」（12.8%）の合計）人は41.2%となっています。

性別で“活用している”人は男性が55.4%、女性が62.7%と女性が7.3ポイント上回っています。

年齢別では若いほどインターネットを活用している人が多く、30代では88.5%となっていますが、一方で70歳以上では14.7%と低くなっています。[図表26参照]

図表26 インターネットの活用について（全体、性別、年齢、居住地）



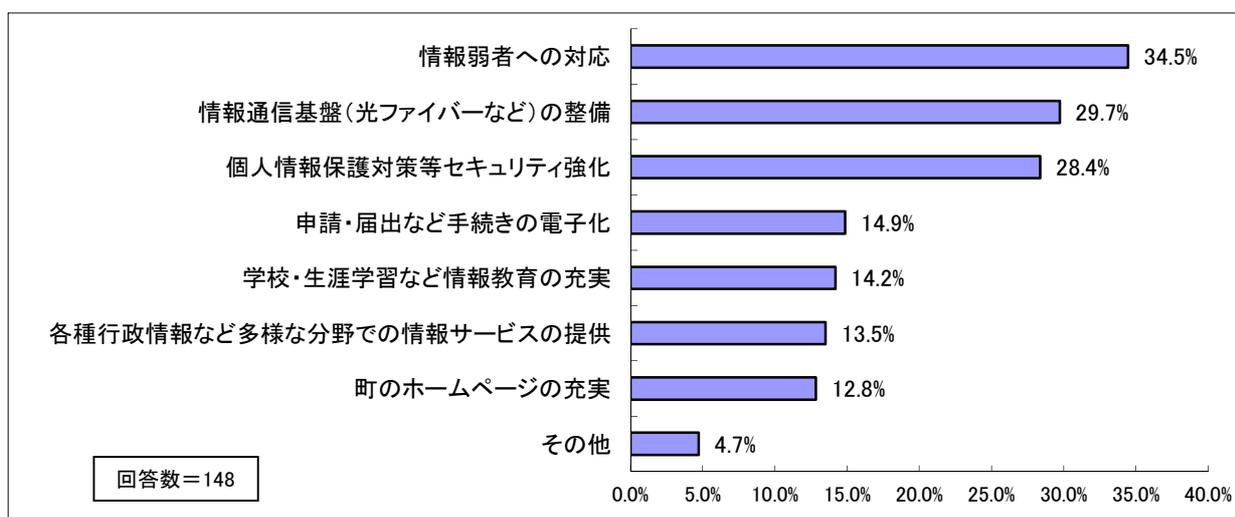
問20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

●「情報弱者への対応」が第1位。次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」の順。

インターネットを活用した社会に対応するため、今後の必要な取り組みについてたずねたところ、「情報弱者への対応」（34.5%）が第1位に挙げられ、次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」（29.7%）、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」（28.4%）、「申請・届出など手続きの電子化」（14.9%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代、30代、50代が「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」、40代、60代、70歳以上は「情報弱者への対応」となっています。[図表27～28参照]

図表27 インターネット活用に対する今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表28 インターネット活用に対する今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年	20代	情報通信基盤の整備 41.7	個人情報保護対策等セキュリティ強化 33.3	情報弱者への対応 25.0
	30代	情報通信基盤の整備 53.8	個人情報保護対策等セキュリティ強化 30.8	同率複数のため省略 -
	40代	情報弱者への対応 41.7	情報通信基盤の整備 29.2	個人情報保護対策等セキュリティ強化 (同率2位) 29.2
年齢	50代	情報通信基盤の整備 30.8	個人情報保護対策等セキュリティ強化 (同率1位) 30.8	情報弱者への対応 26.9
	60代	情報弱者への対応 50.0	個人情報保護対策等セキュリティ強化 37.5	情報通信基盤の整備 25.0
	70歳以上	情報弱者への対応 38.2	町のホームページの充実 17.6	個人情報保護対策等セキュリティ強化 14.7
居住地	中標津市街	情報弱者への対応 36.4	情報通信基盤の整備 26.4	個人情報保護対策等セキュリティ強化 25.6
	中標津町農協区域	情報通信基盤の整備 55.6	個人情報保護対策等セキュリティ強化 44.4	情報弱者への対応 22.2
	計根別市街	情報通信基盤の整備 60.0	個人情報保護対策等セキュリティ強化 (同率1位) 60.0	申請・届出など手続きの電子化 40.0
	計根別農協区域	情報通信基盤の整備 66.7	学校・生涯学習など情報教育の充実 33.3	個人情報保護対策等セキュリティ強化 (同率2位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

公共WiFiの設置
仕事が良いものになれば良い。
使用した事がない、わからない。

問21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

● “している” が37.1%、 “していない” が60.8%。

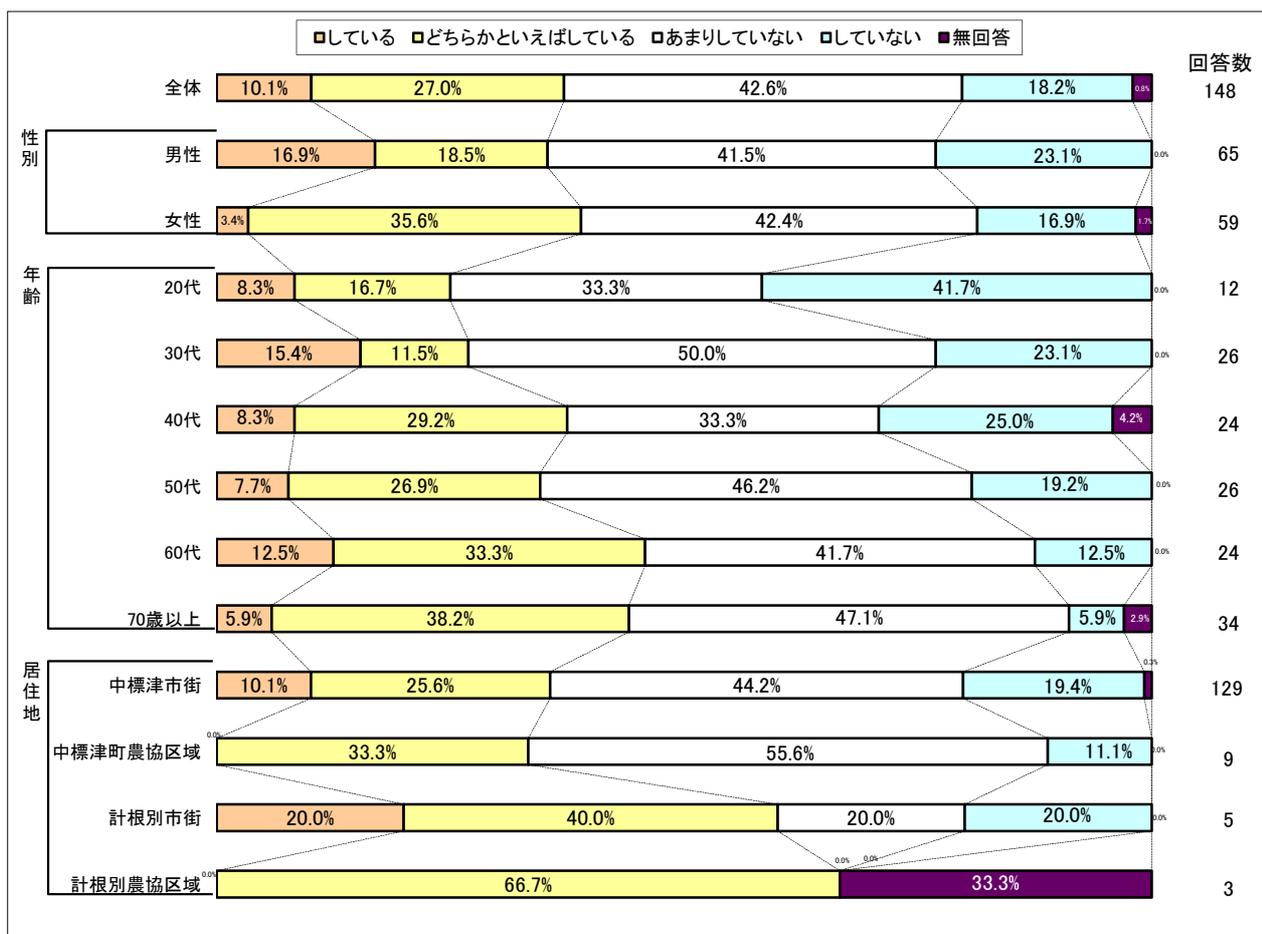
日頃から家庭で災害への備えをしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」(27.0%)に「している」(10.1%)を合わせた“している”人の割合は37.1%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」(42.6%)「していない」(18.2%)）の合計は60.8%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が35.4%、女性が39.0%と女性が3.6ポイント上回っています。

年齢別では年齢が上がるほど災害への備えをしている人が多くなり、60代が45.8%と一番高いですが、20代では25.0%と低くなっています。[図表29参照]

図表29 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している” が24.3%、“参加していない” が73.7%。

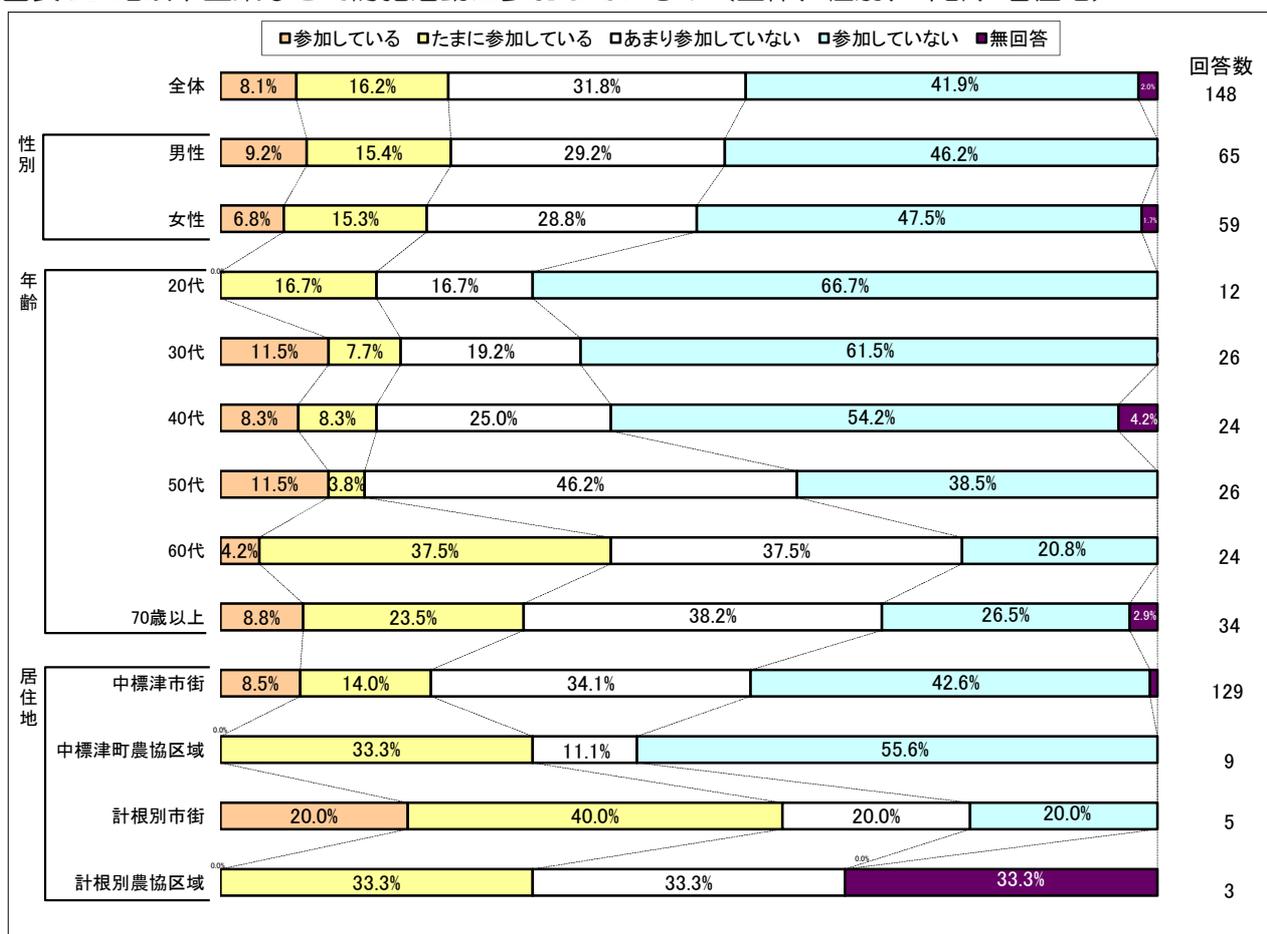
地域や企業などの防犯活動に参加しているかたずねたところ、「参加している」(8.1%)に「たまに参加している」(16.2%)を合わせた“参加している”人は24.3%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」(41.9%)「あまり参加していない」(31.8%)の合計）は73.7%となっています。

性別で“参加している”人の割合は男性が24.6%、女性が22.1%と男性が2.5ポイント上回っています。

年齢別で“参加している”人が多いのが60代の41.7%となっていますが、一方50代では15.3%と少なくなっています。[図表30参照]

図表30 地域や企業などで防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



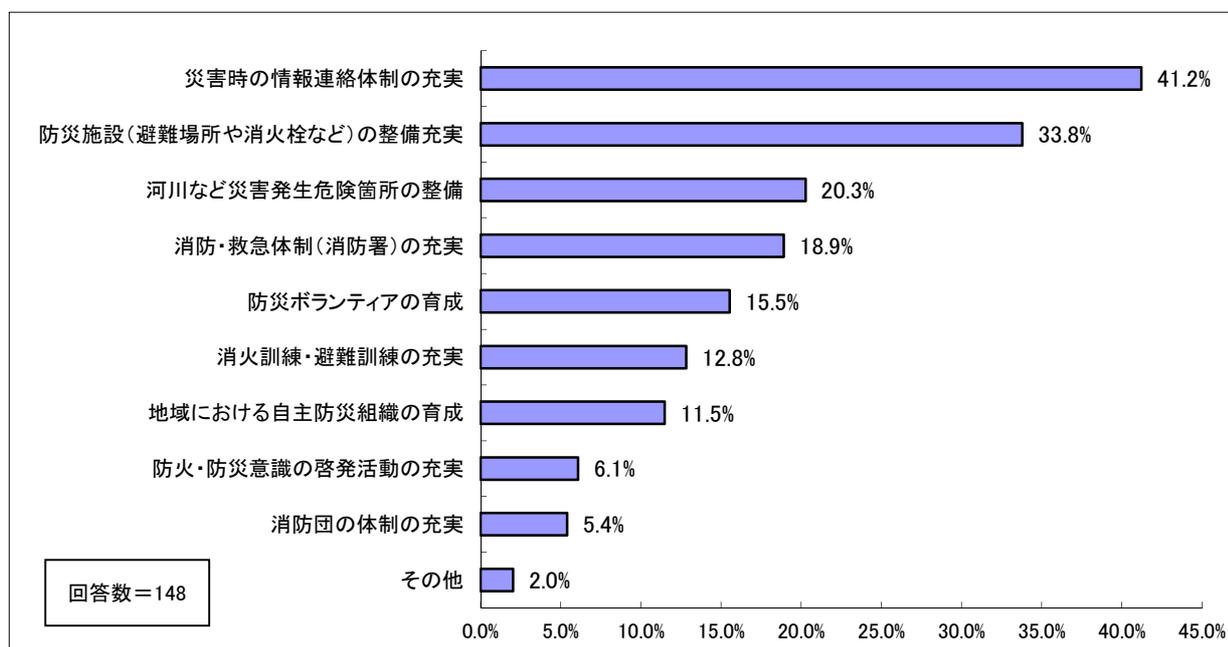
問23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

● 「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位。次いで「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」、「河川など災害発生危険箇所の整備」の順。

消防・防災対策について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」（41.2%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（33.8%）、「河川など災害発生危険箇所の整備」（20.3%）、「消防・救急体制（消防署）の充実」（18.9%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代及び60代が「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」、他の年代全ては「災害時の情報連絡体制の充実」となっています。[図表31～32参照]

図表31 消防・防災対策の今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表32 消防・防災対策の今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	年齢	第1位			第2位			第3位		
		割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	
年 齢	20代	33.3	防災施設の整備充実	25.0	消防・救急体制の充実	25.0	25.0	河川など災害発生危険箇所の整備 (同率2位)		
	30代	53.8	災害時の情報連絡体制の充実	38.5	防災施設の整備充実	30.8	30.8	河川など災害発生危険箇所の整備		
	40代	45.8	災害時の情報連絡体制の充実	41.7	防災施設の整備充実	25.0	25.0	河川など災害発生危険箇所の整備		
	50代	38.5	災害時の情報連絡体制の充実	34.6	防災施設の整備充実	—	—	同率複数のため省略		
	60代	45.8	防災施設の整備充実	41.7	災害時の情報連絡体制の充実	—	—	同率複数のため省略		
	70歳以上	41.2	災害時の情報連絡体制の充実	23.5	消防・救急体制の充実	—	—	同率複数のため省略		
	居 住 地	中標津市街	41.9	災害時の情報連絡体制の充実	34.1	防災施設の整備充実	22.5	22.5	河川など災害発生危険箇所の整備	
中標津町農協区域		44.4	消防・救急体制の充実	44.4	災害時の情報連絡体制の充実 (同率1位)	33.3	33.3	防災施設の整備充実		
計根別市街		—	同率複数のため省略	—	同率複数のため省略	—	—	同率複数のため省略		
計根別農協区域		66.7	地域における自主防災組織の育	33.3	防災施設の整備充実	33.3	33.3	災害時の情報連絡体制の充実 (同率2位)		

問24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。

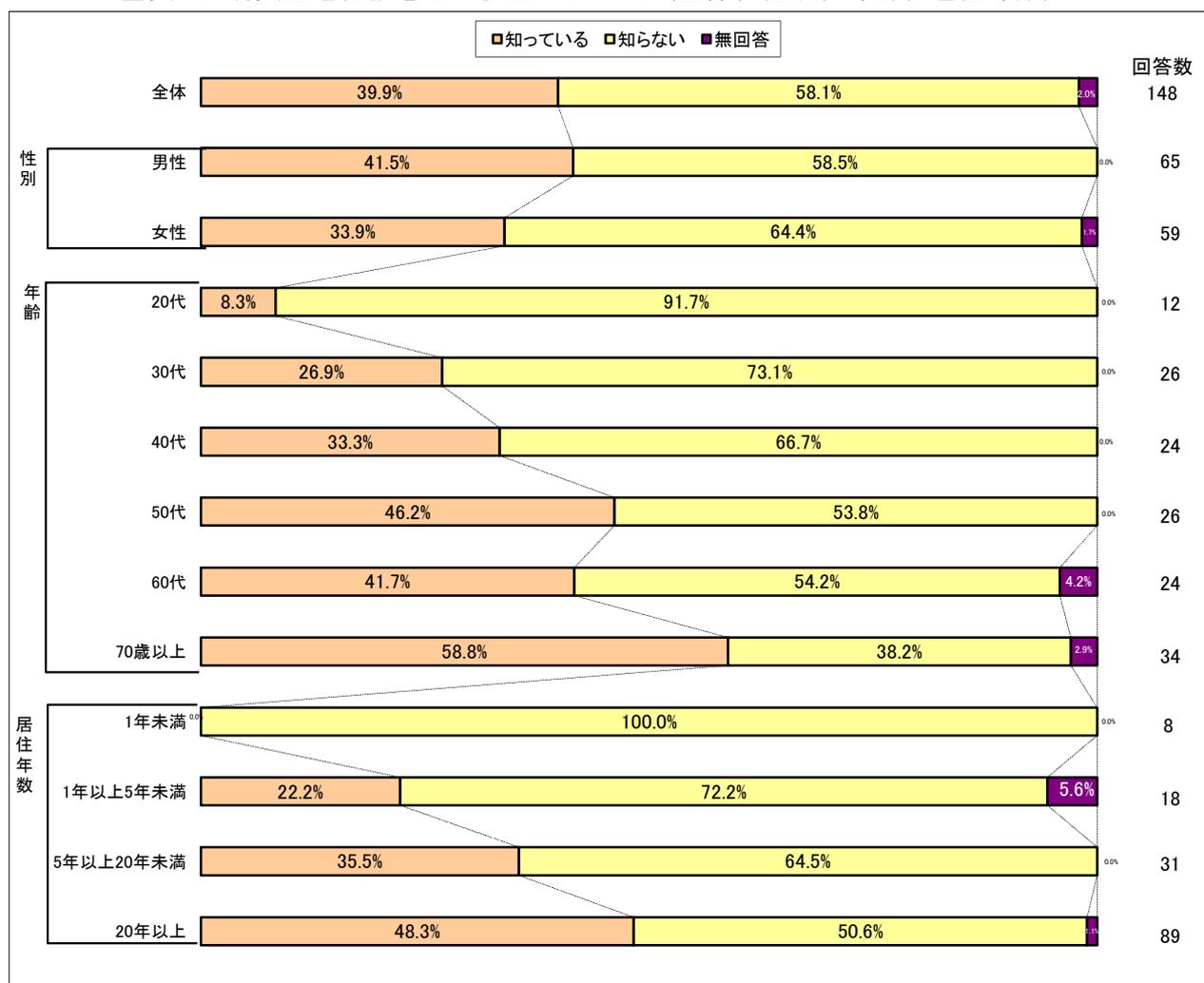
●「知っている」が39.9%。「知らない」が58.1%。

消費生活相談の窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は39.9%となっているのに対し「知らない」と回答した人は58.1%と知らない人が大きく上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が41.5%、女性は33.9%と男性が7.6ポイント上回っています。

年齢別では年齢が上がるほど消費生活相談窓口があることを知っている傾向となっており、70歳以上では58.8%と半数を超える人が知っていますが、20代では8.3%と低くなっています。[図表33参照]

図表33 消費生活相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住年数）



問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が45.3%、“そう感じない” が48.7%。

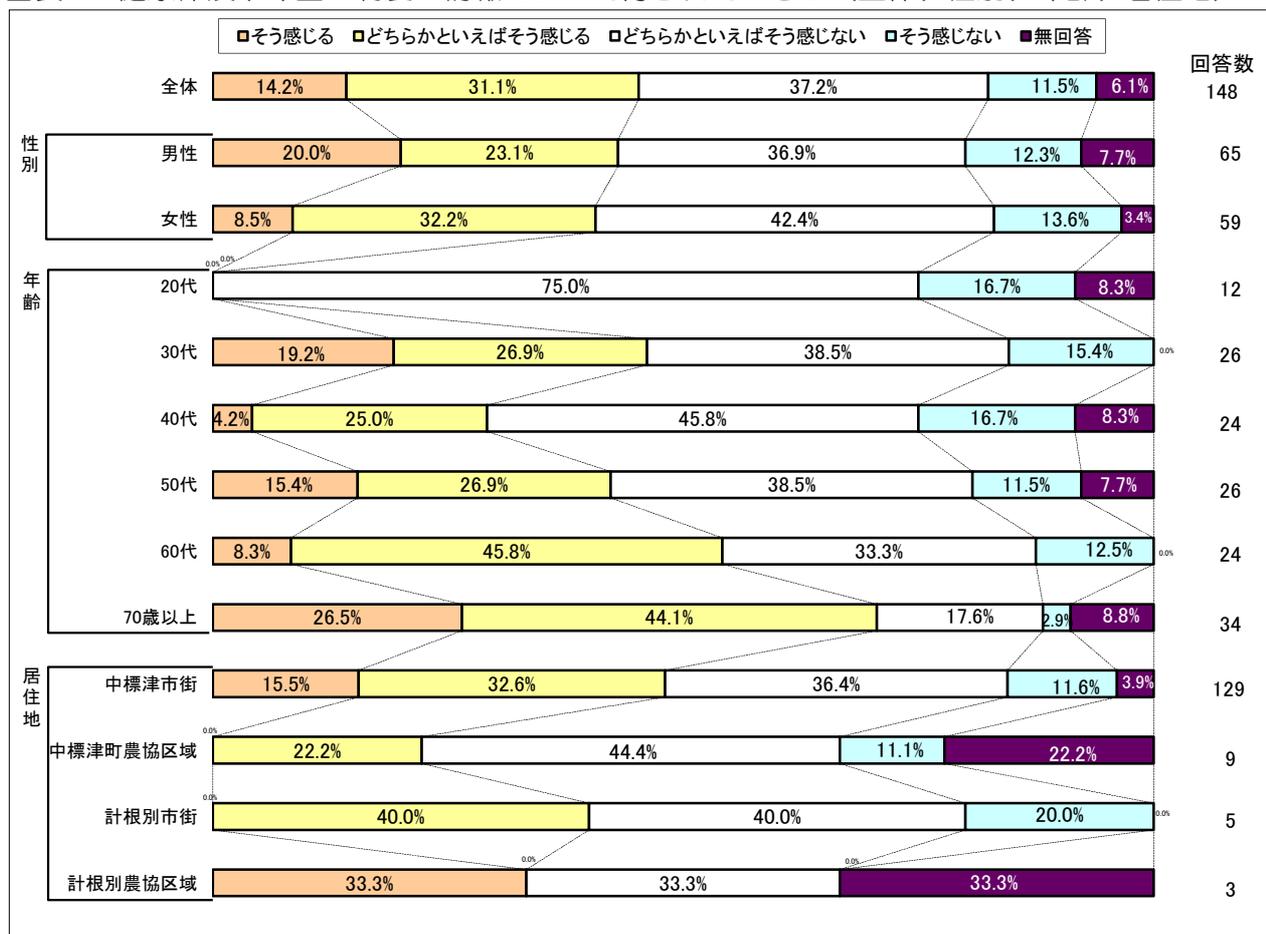
健康保険や年金の制度に関し、知りたい情報を得られているかたずねたところ、「そう感じる」(14.2%)これに「どちらかといえばそう感じる」(31.1%)をあわせた“そう感じる”という人が45.3%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(37.2%)、「そう感じない」(11.5%)の合計）は48.7%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が43.1%、女性が40.7%と男性が2.4ポイント上回っています。

年齢別で“そう感じる”人が多いのは70歳以上で70.6%となっていますが、20代では、0%となっています。[図表34参照]

図表34 健康保険や年金の制度の情報について得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は90ページに掲載しています。

(3) 環境問題への取り組みについて

問26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。

● “意識している” が75.7%、“意識していない” が21.0%。

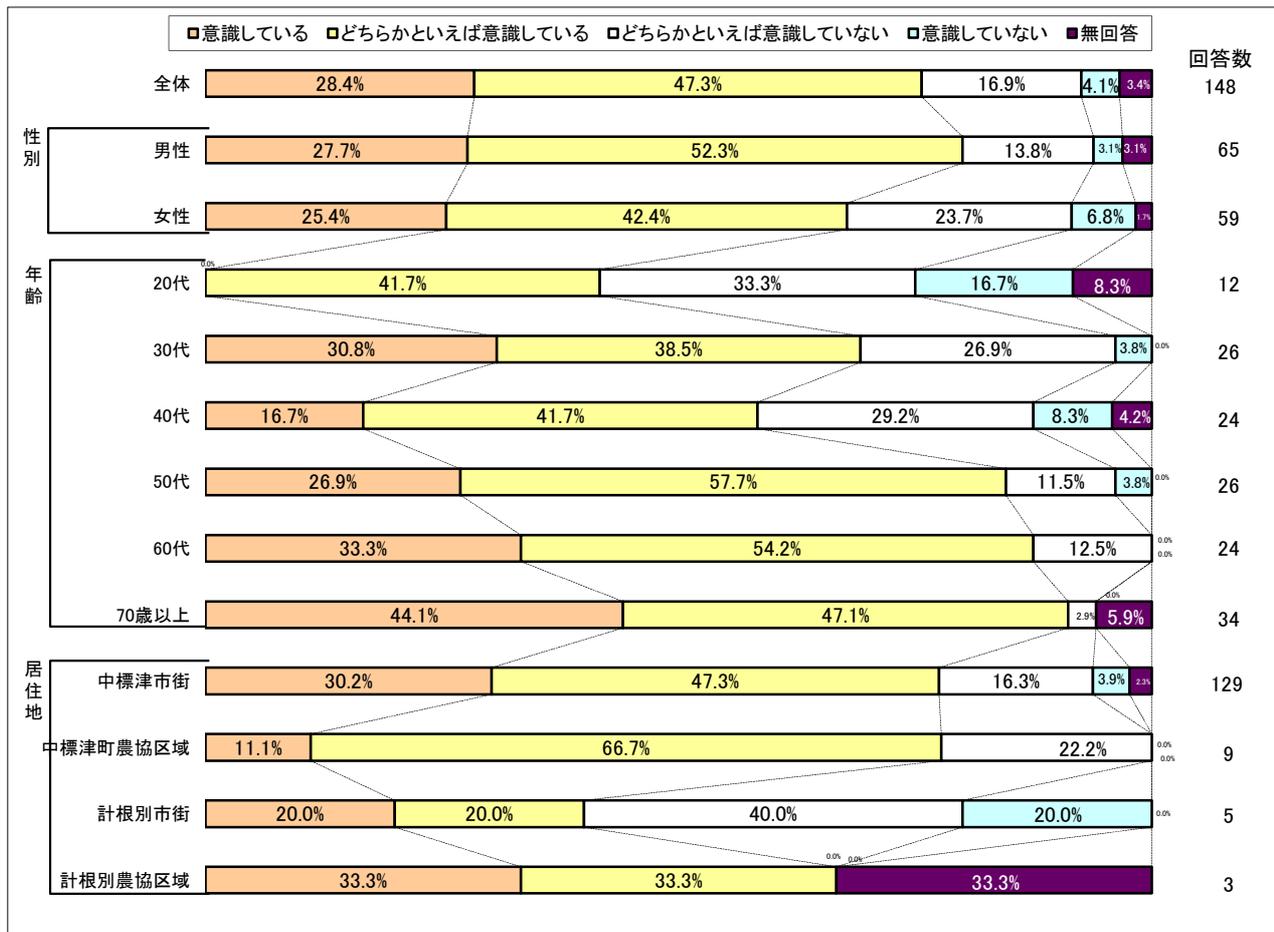
環境問題への取り組みについてたずねたところ、「どちらかといえば意識している」(47.3%)これに「意識している」(28.4%)をあわせた“意識している”という人が75.7%となっています。

一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(16.9%)、「意識していない」(4.1%)の合計）は21.0%となっています。

性別で“意識している”人の割合をみると男性が80.0%、女性が67.8%と男性が12.2ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上が91.2%と高くなっていますが、20代は41.7%となっています。[図表35参照]

図表35 環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している” が62.8%、 “していない” が34.4%。

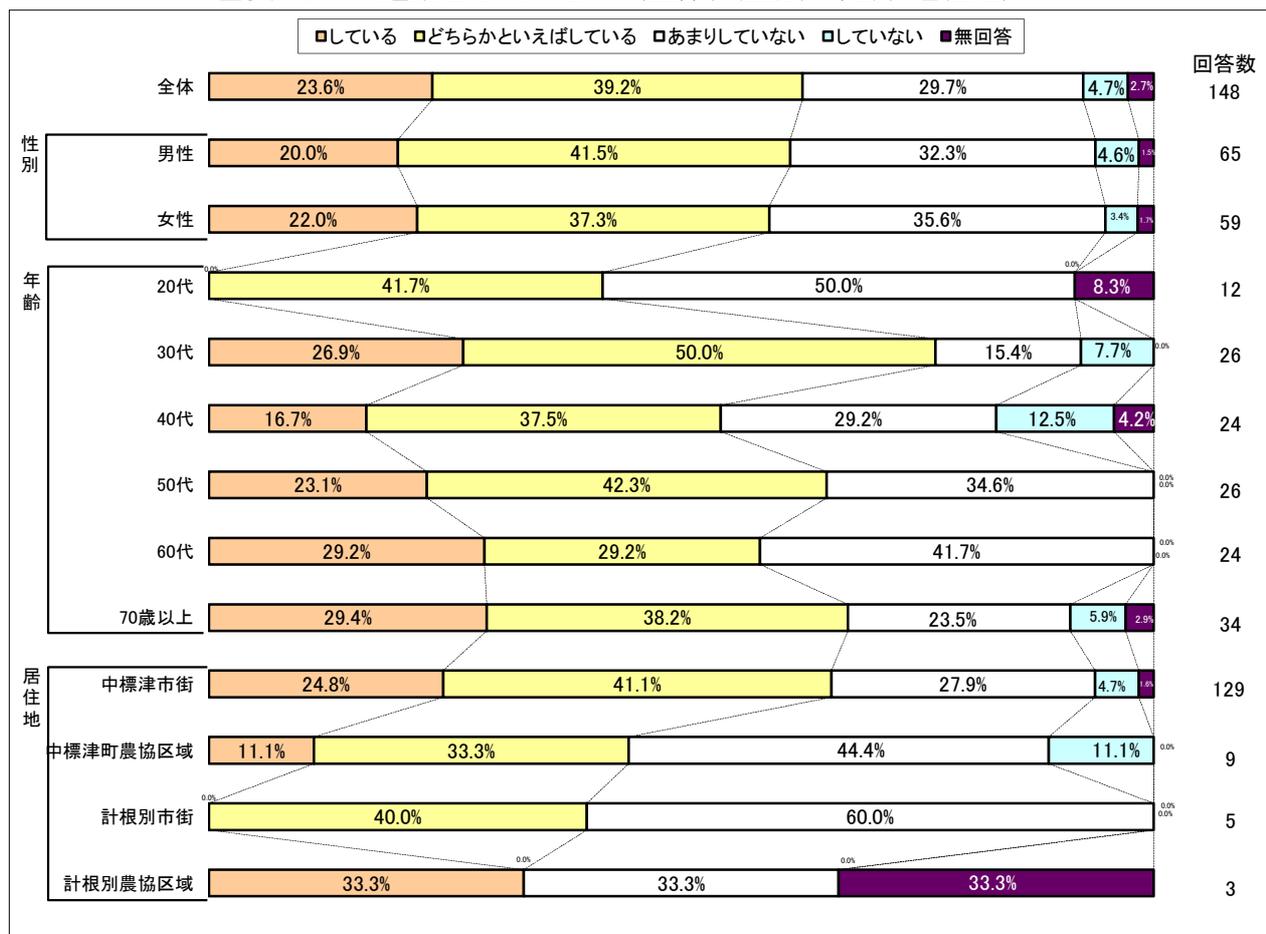
3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）をしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」(39.2%)これに「している」(23.6%)をあわせた“している”という人は62.8%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」(29.7%)、「していない」(4.7%)）の合計は34.4%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が61.5%、女性が59.3%と男性が2.2ポイント上回っています。

年齢別の“している”人の割合は30代が76.9%と高くなっていますが、20代は41.7%と低くなっています。[図表36参照]

図表36 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



(4) 産業振興について

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる” が69.6%、“そう感じない” が25.7%。

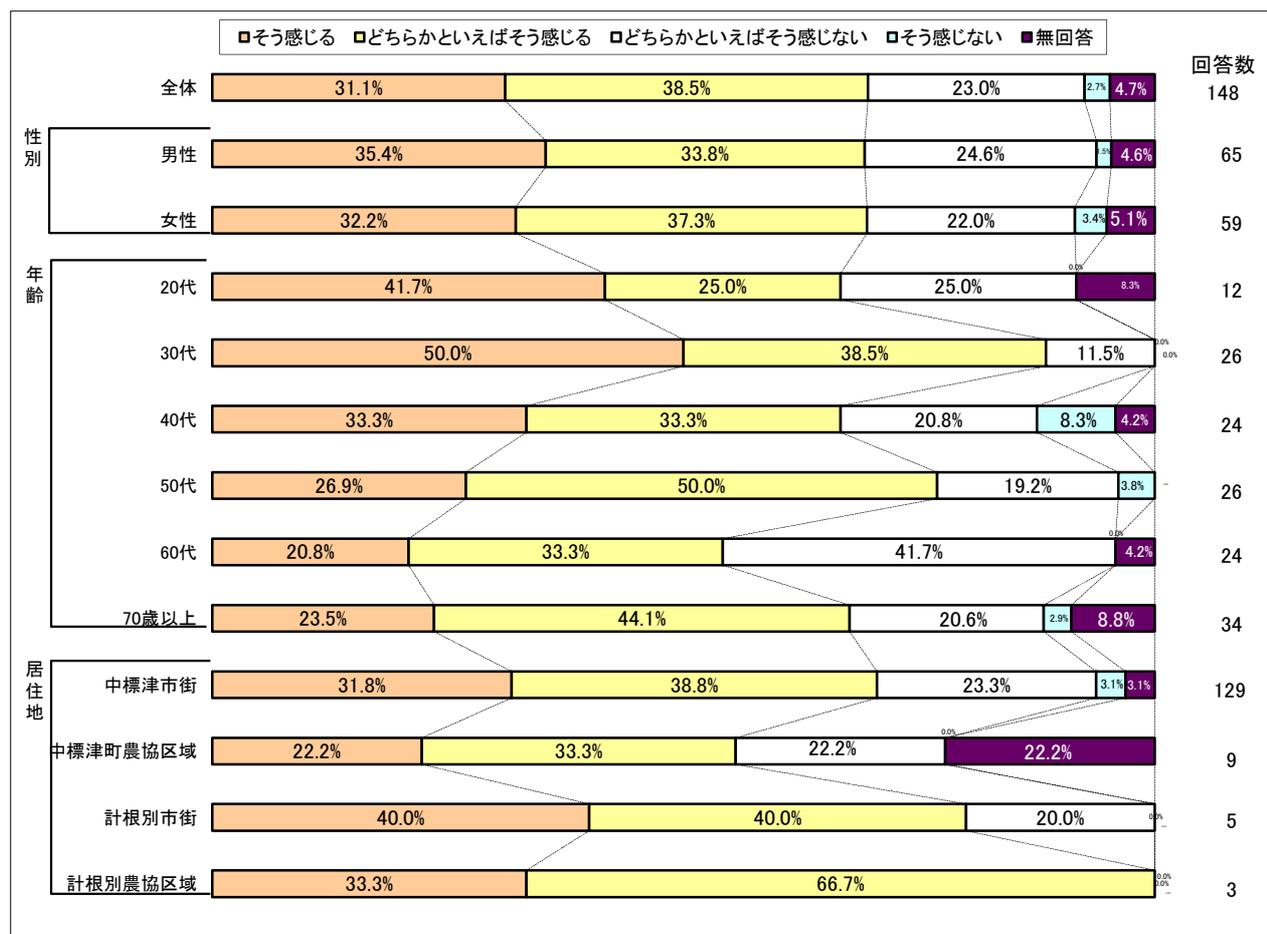
地元の農畜産物を身近に感じるかたずねたところ、「そう感じる」（31.1%）これに「どちらかといえばそう感じる」（38.5%）をあわせた“そう感じる”人は69.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(23.0%)、「そう感じない」(2.7%)の合計）人は25.7%となっています。

性別で“そう感じる”人をみると男性が69.2%、女性が69.5%とほぼ同率となっています。

年齢別の“そう感じる”人の割合はすべての年齢層で5割を超えていますが、30代が一番多く88.5%となっています。【図表37参照】

図表37 地元の農産物は身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は91ページに掲載しています。

問29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。

● “参加している” が5.4%、“参加していない” 91.2%。

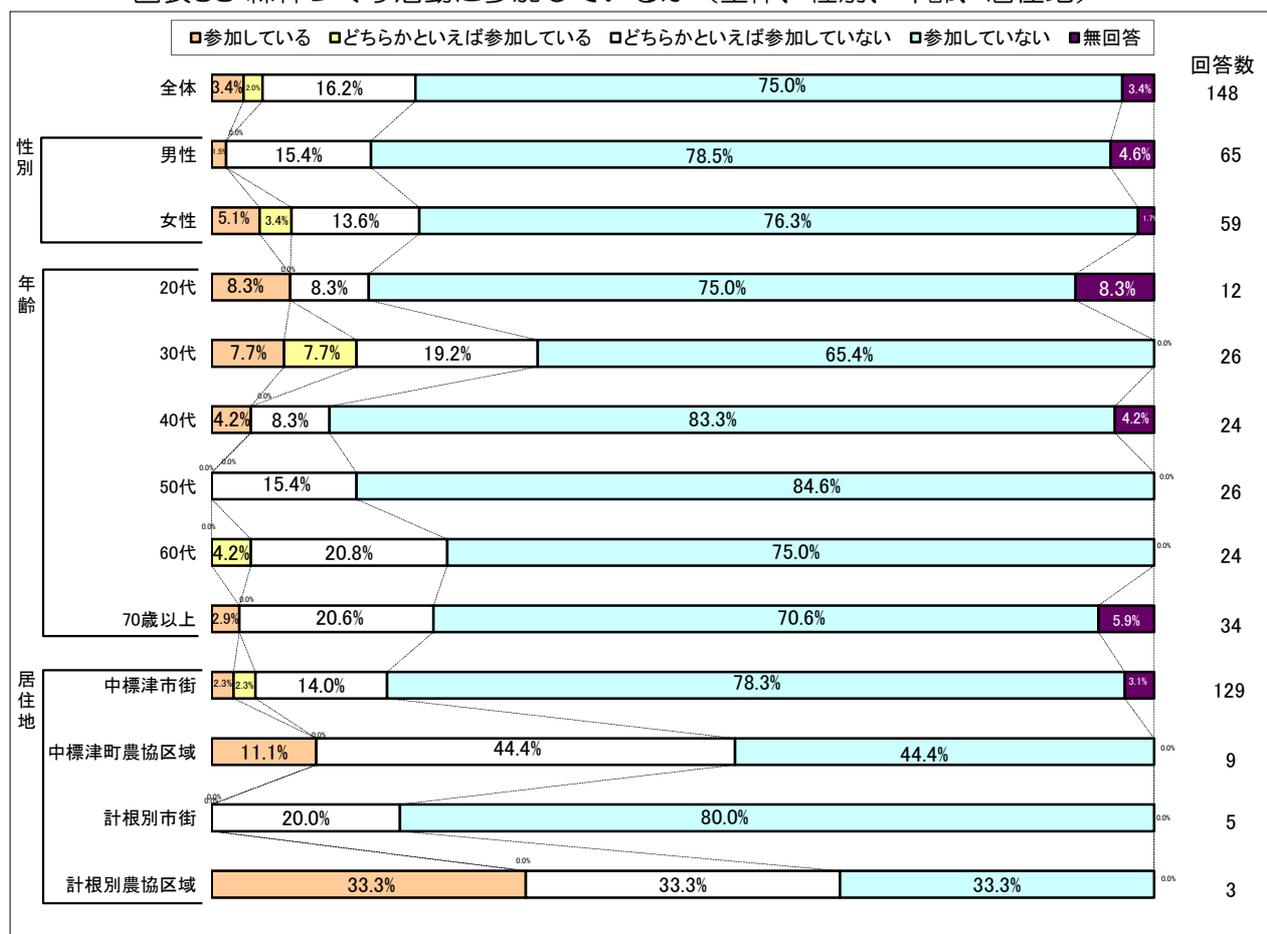
森林づくり活動に参加しているかたずねたところ、「どちらかといえば参加している」(2.0%)
これに「参加している」(3.4%)を合わせた“参加している”人は5.4%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」75.0%）、「どちらかといえば参加していない」（16.2%）の合計は91.2%となっています。

性別で“参加している”人は男性が1.5%、女性が8.5%と女性が7.0ポイント上回っています。

年齢別の“参加している”人の割合は30代が15.4%となっていますが、50代では“参加している”と回答された方はいませんでした。[図表38参照]

図表38 森林づくり活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問30 地元で買い物することを意識していますか。

● “意識している” が78.4%、“意識していない” が18.9%。

地元で買い物することを意識しているかたずねたところ、「意識している」(43.9%)これに「どちらかといえば意識している」(34.5%)をあわせた“意識している”という人が78.4%となっています。

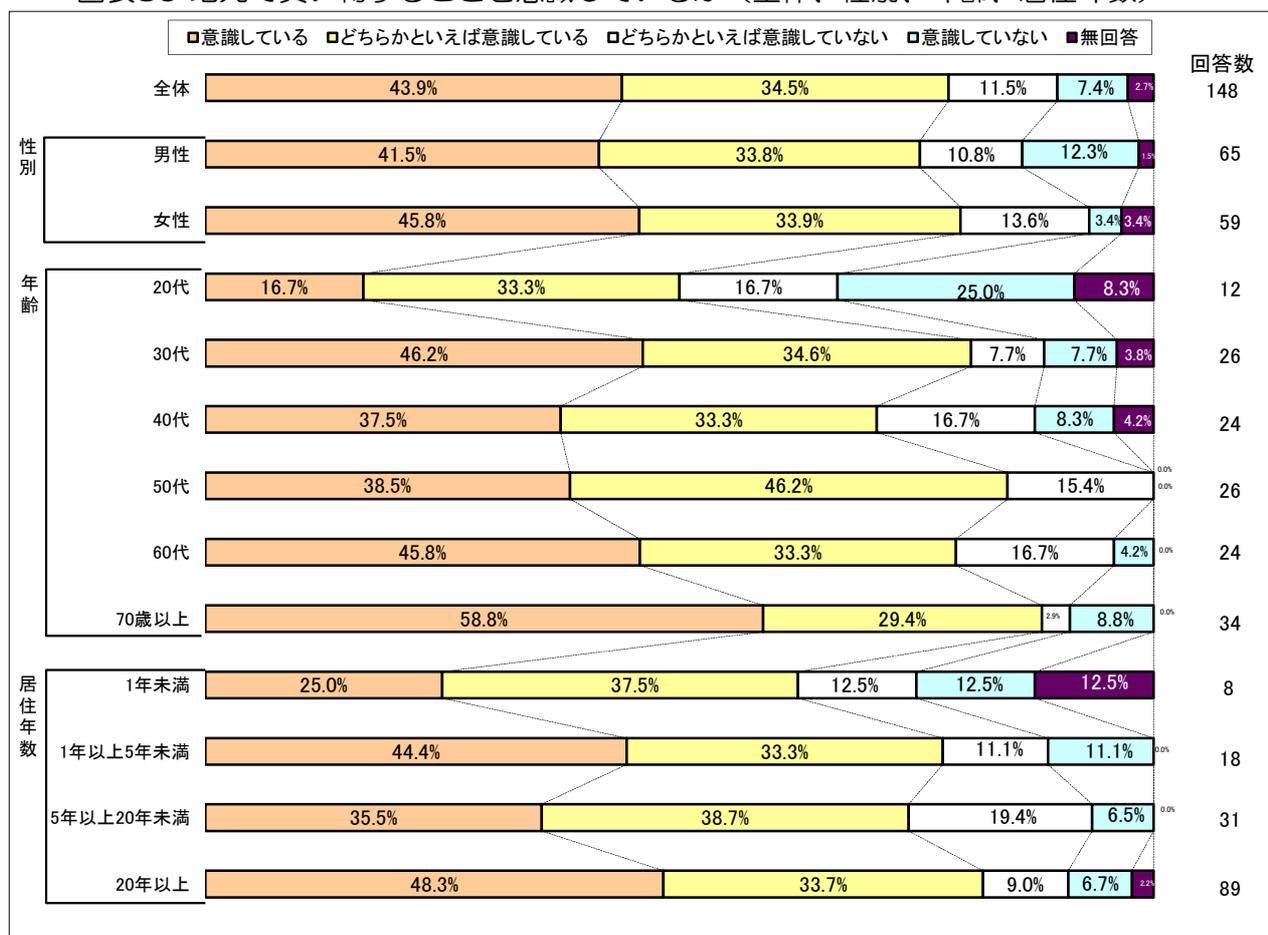
一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(11.5%)、「意識していない」(7.4%)の合計）は18.9%となっています。

性別で“意識している”人の割合は男性が75.3%、女性が79.7%と女性が4.4ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上では88.2%となっていますが、20代は50.0%となっています。

居住年数別の“意識している”人の割合は20年以上居住している人が82.0%となっていますが、1年未満の人は62.5%となっています。【図表39参照】

図表39 地元で買い物することを意識しているか（全体、性別、年齢、居住年数）



問31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

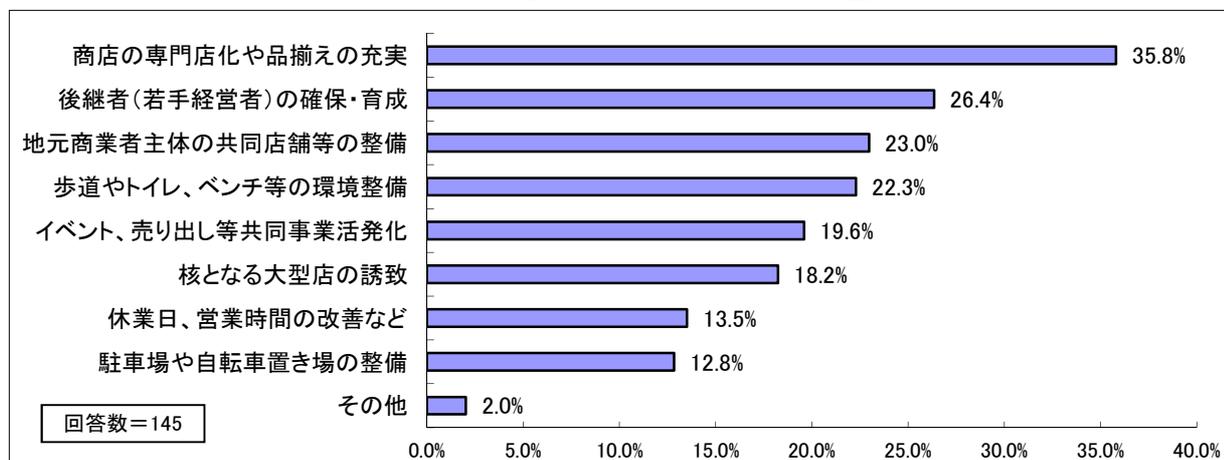
●「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位。次いで「後継者（若手経営者）の確保・育成」、「地元商業者主体の共同店舗等の整備」が続く。

町の商業振興について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「商店の専門店化や品揃えの充実」（35.8%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「後継者（若手経営者）の確保・育成」（26.4%）、「地元商業者主体の共同店舗等の整備」（23.0%）、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」（22.3%）、「イベント、売り出し等共同事業活発化」（19.6%）などの順となっています。

年齢別では、全ての年代で「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位も全地域において「商店の専門店化や品揃えの充実」となっています。[図表40～41参照]

図表40 商業振興について必要な今後の取り組み（全体／複数回答）



図表41 商業振興について必要な今後の取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年	年齢	第1位	第2位	第3位
		20代	商店の専門店化や品揃えの充実 41.7	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 (同率1位) 41.7
年齢	30代	商店の専門店化や品揃えの充実 42.3	後継者の確保・育成 30.8	核となる大型店舗の誘致 30.8
	40代	商店の専門店化や品揃えの充実 37.5	後継者の確保・育成 29.2	同率複数のため省略 —
	50代	商店の専門店化や品揃えの充実 30.8	後継者の確保・育成 (同率1位) 30.8	同率複数のため省略 —
	60代	商店の専門店化や品揃えの充実 29.2	地元商業者主体の共同店舗等の整備 (同率1位) 29.2	後継者の確保・育成 (同率1位) 29.2
	70歳以上	商店の専門店化や品揃えの充実 35.3	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 29.4	地元商業者主体の共同店舗等の整備 26.5
居住地	中標津市街	商店の専門店化や品揃えの充実 33.3	後継者の確保・育成 26.4	地元商業者主体の共同店舗等の整備 24.0
	中標津町農協区域	商店の専門店化や品揃えの充実 44.4	後継者の確保・育成 33.3	同率複数のため省略 —
	計根別市街	商店の専門店化や品揃えの充実 60.0	休業日、営業時間の改善など 40.0	後継者の確保・育成 (同率2位) 40.0
	計根別農協区域	商店の専門店化や品揃えの充実 66.7	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 (同率1位) 66.7	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

インターネットでの道外や町外の販路拡大
スーパー・大型店はもう充実しているので、コンビニにしても多すぎるくらいです。
住宅地に店が無い。車のない人、老人は困る。

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

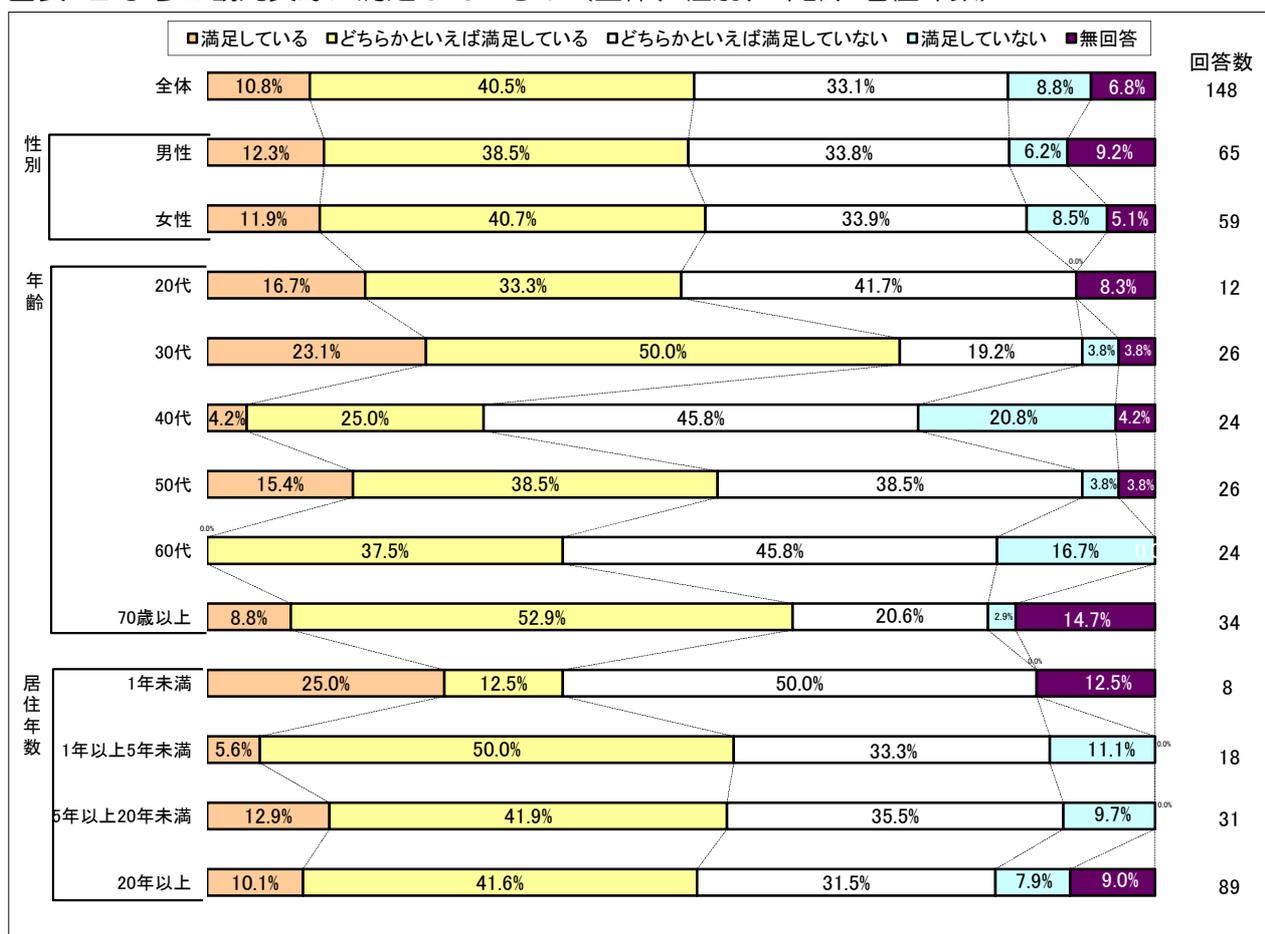
● “満足している” が51.3%、“満足していない” が41.9%。

まちの観光資源に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(40.5%)これに「満足している」(10.8%)をあわせた“満足している”人は51.3%となっています。一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(33.1%)、「満足していない」(8.8%)の合計）は41.9%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が50.8%、女性が52.6%と女性の方が1.8ポイント高くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は30代が73.1%となっていますが、40代では29.2%となっています。[図表42参照]

図表42 まちの観光資源に満足しているか（全体、性別、年齢、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は92ページに掲載しています。

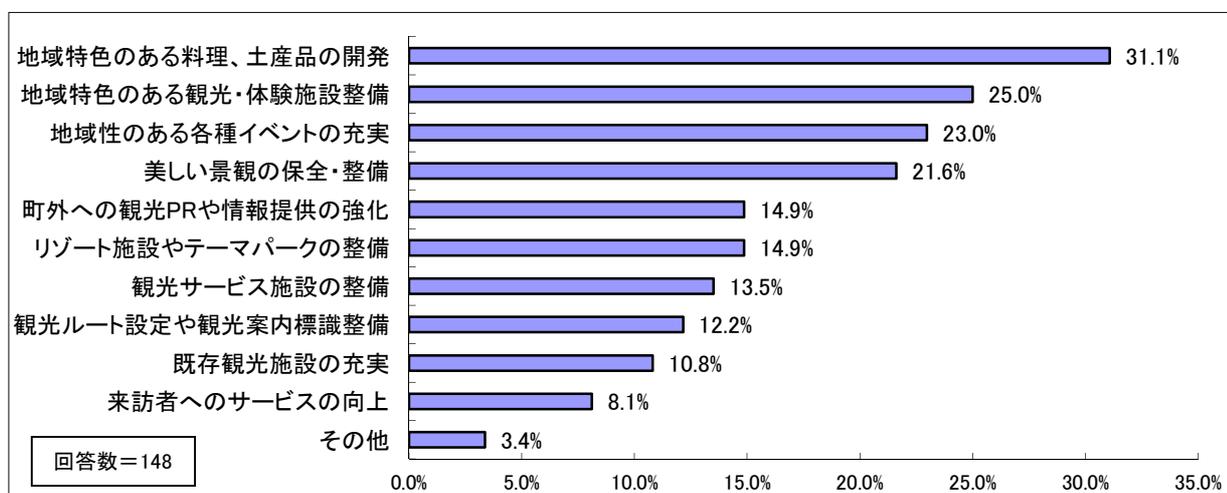
問33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

● 地域特色のある料理、土産品の開発」が第1位。次いで「地域特色のある観光・体験施設整備」、「地域性のある各種イベントの充実」の順。

町の観光振興について、今後のどのようなことに力をいれるべきかたずねたところ、「地域特色のある料理、土産品の開発」（31.1%）が第1位に挙げられ、次いで「地域特色のある観光・体験施設整備」（25.0%）、「地域性のある各種イベントの充実」（23.0%）、「美しい景観の保全・整備」（21.6%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代及び30代が「地域特色のある観光・体験施設整備」、40代から60代は「地域特色のある料理、土産品の開発」、70歳以上は「美しい景観の保全・整備」となっています。【図表43～44参照】

図表43 観光振興のために今後特に力を入れること（全体／複数回答）



図表44 観光振興のために今後特に力を入れること（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年	年齢	第1位	第2位	第3位
		20代	地域特色のある観光・体験施設整備 33.3	リゾート施設やテーマパークの整備 (同率1位) 33.3
年齢	30代	地域特色のある観光・体験施設整備 38.5	地域特色のある料理、土産品の開発 26.9	リゾート施設やテーマパークの整備 23.1
	40代	地域特色のある料理、土産品の開発 41.7	地域特色のある観光・体験施設整備 25.0	リゾート施設やテーマパークの整備 (同率2位) 25.0
	50代	地域特色のある料理、土産品の開発 30.8	地域性のある各種イベントの充実 (同率1位) 30.8	地域特色のある観光・体験施設整備 26.9
	60代	地域特色のある料理、土産品の開発 37.5	美しい景観の保全・整備 29.2	同率複数のため省略 —
	70歳以上	美しい景観の保全・整備 32.4	地域特色のある料理、土産品の開発 29.4	地域性のある各種イベントの充実 26.5
居住地	中標津市街	地域特色のある料理、土産品の開発 34.1	地域特色のある観光・体験施設整備 24.8	地域性のある各種イベントの充実 23.3
	中標津町農協区域	地域特色のある観光・体験施設整備 40.0	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別市街	来訪者へのサービスの向上 60.0	美しい景観の保全・整備 40.0	リゾート施設やテーマパークの整備 (同率2位) 40.0
	計根別農協区域	美しい景観の保全・整備 66.7	地域特色のある料理、土産品の開発 (同率1位) 66.7	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

来やすい交通機関の充実
商工会と役場がもっと協力しいイベントや施設を充実すべき
空港からの足
もっと遊ぶところが欲しいです
道の駅

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

● “満足している” が38.5%、“満足していない” が44.6%。

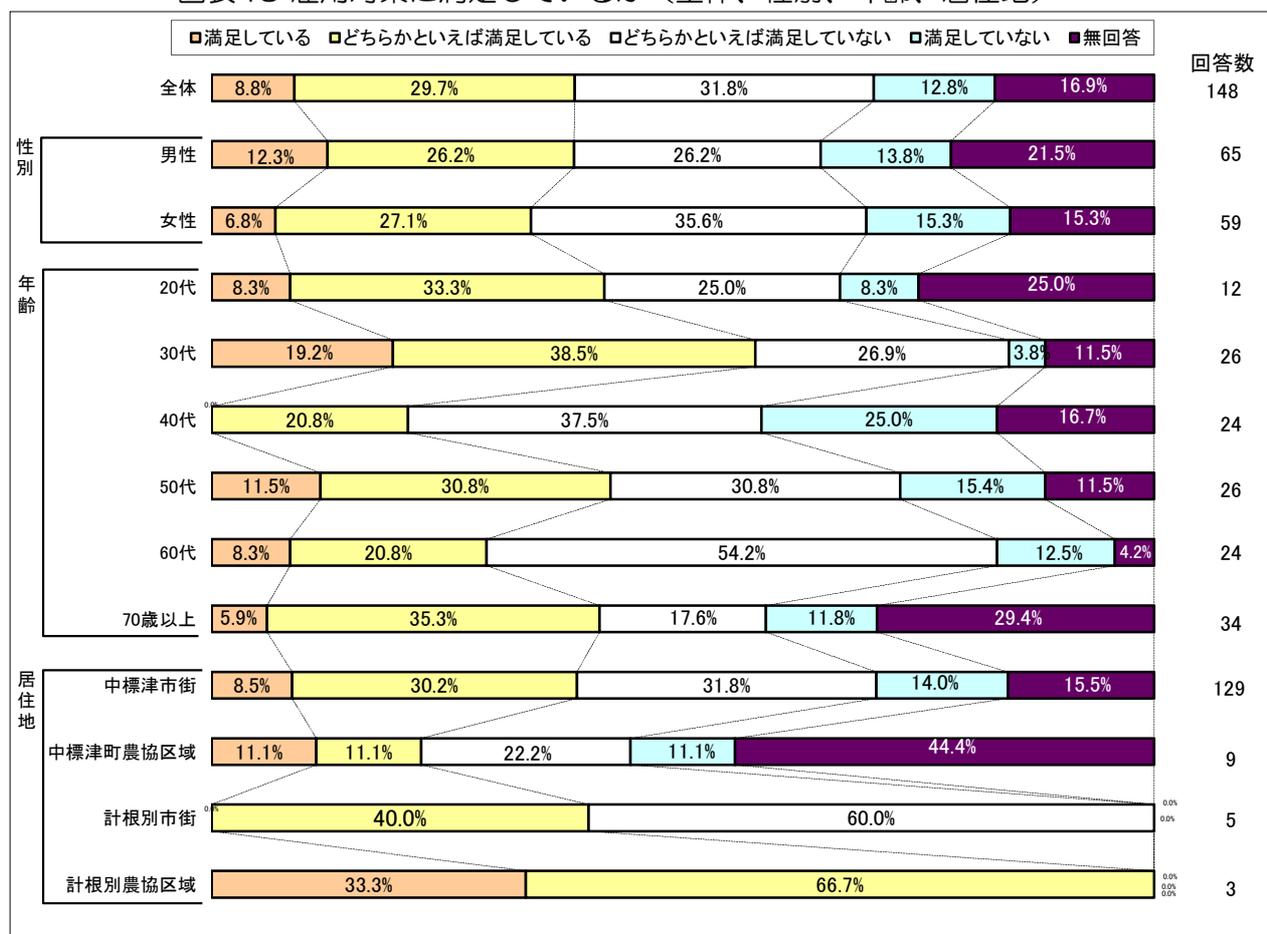
雇用対策に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(29.7%)これに「満足している」(8.8%)をあわせた“満足している”人は38.5%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(31.8%)、「満足していない」(12.8%)の合計）は44.6%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が38.5%、女性が33.9%と男性が4.6ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は30代が57.7%となっていますが、40代では20.8%となっています。[図表45参照]

図表45 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は93ページに掲載しています。

(5) 保健・医療・福祉について

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

● “満足している” が38.5%、“満足していない” が56.8%。

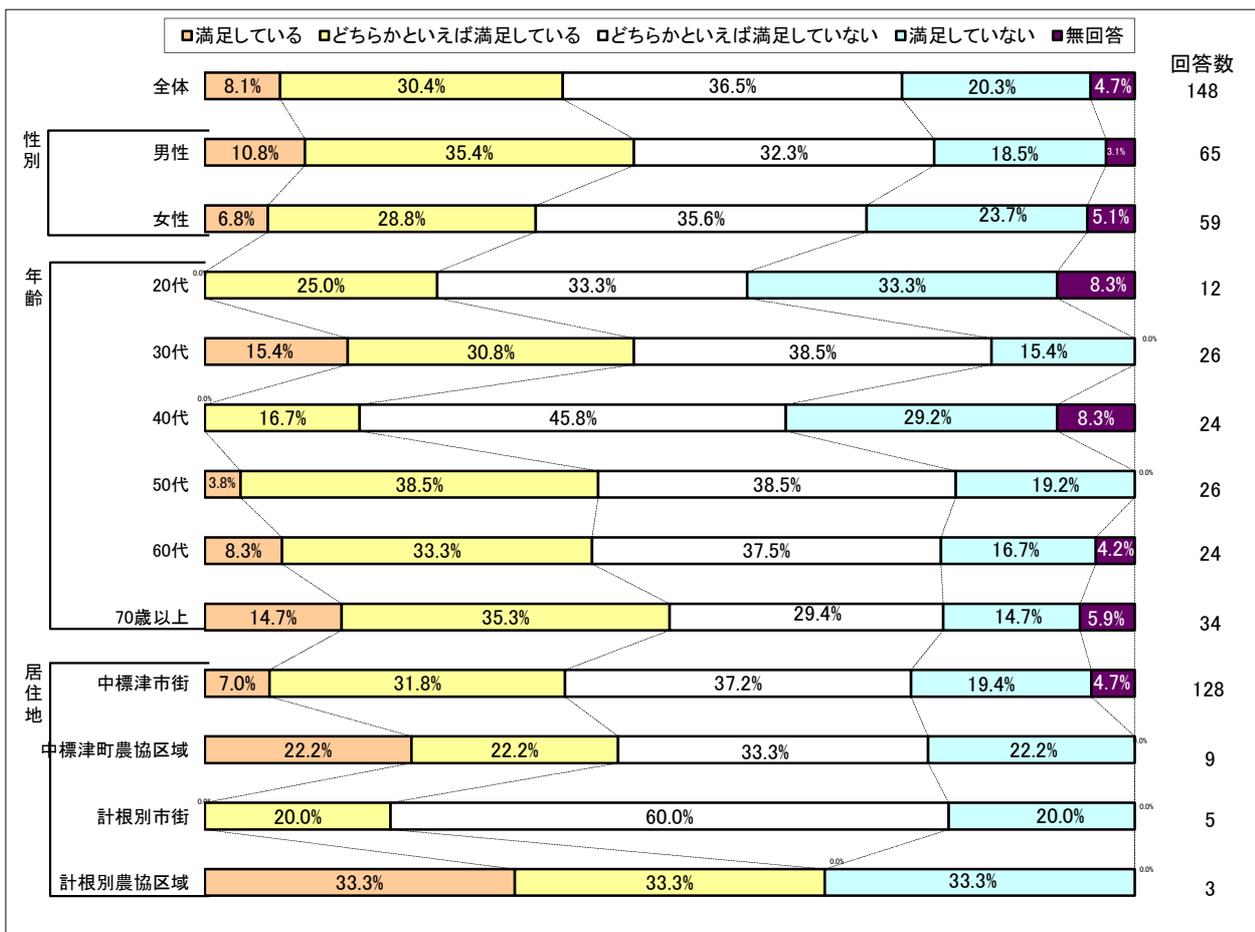
地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(30.4%)これに「満足している」(8.1%)をあわせた“満足している”人は38.5%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(36.5%)、「満足していない」(20.3%)の合計）は56.8%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が46.2%、女性が35.6%と男性が10.6ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は70歳以上が50.0%となっていますが、40代では16.7%となっています。[図表46参照]

図表46 地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は93ページに掲載しています。

問36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

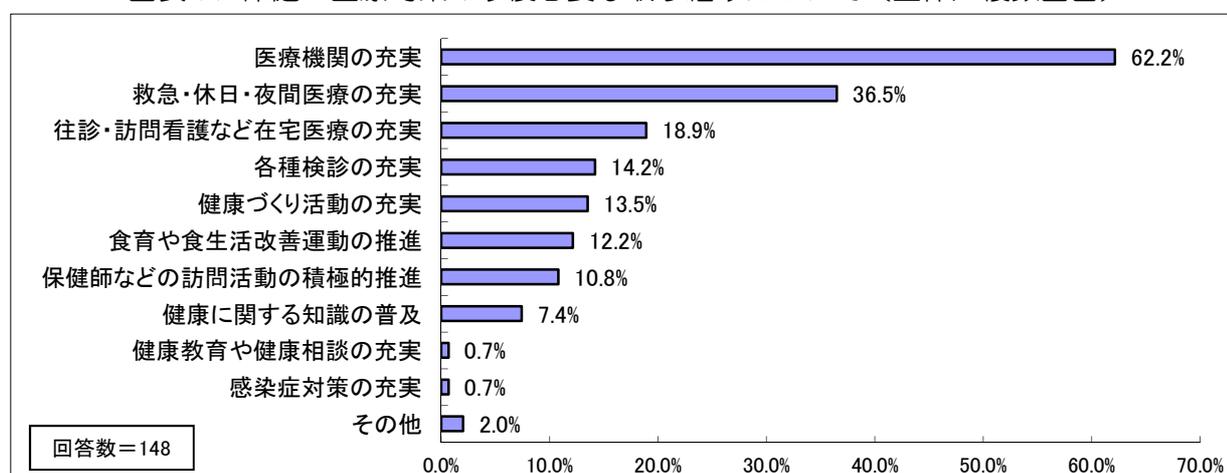
● 「医療機関の充実」が第1位。次いで「救急・休日・夜間医療の充実」、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」の順。

今後必要な保健・医療対策については、「医療機関の充実」（62.2%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」（36.5%）、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」（18.9%）、「各種検診の充実」（14.2%）「健康づくり活動の充実」（13.5%）、などの順となっています。

年齢別では、すべての年齢層で「医療機関の充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街（65.9%）、中標津町農協区域（44.4%）で、「医療機関の充実」となっていますが、計根別市街では「救急・休日・夜間医療の充実」となり、計根別農協区域では「食育や食生活改善運動の推進」となっています。[図表47～48参照]

図表47 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表48 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	居住地	第1位			第2位			第3位		
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
年	20代	救急・休日・夜間医療の充実	66.7	医療機関の充実	58.3	健康づくり活動の充実	16.7			
	30代	医療機関の充実	69.2	救急・休日・夜間医療の充実	57.7	食育や食生活改善運動の推進	15.4			
	40代	医療機関の充実	62.5	救急・休日・夜間医療の充実	25.0	各種検診の充実	25.0	(同率2位)		
齢	50代	医療機関の充実	73.1	救急・休日・夜間医療の充実	38.5	同率複数のため省略	—			
	60代	医療機関の充実	66.7	救急・休日・夜間医療の充実	41.7	往診・訪問看護など在宅医療の充実	20.8			
	70歳以上	医療機関の充実	47.1	往診・訪問看護など在宅医療の充実	35.3	保健師などの訪問活動の積極的推進	23.5			
居住地	中標津市街	医療機関の充実	65.9	救急・休日・夜間医療の充実	36.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実	19.4			
	中標津町農協区域	医療機関の充実	44.4	救急・休日・夜間医療の充実	33.3	健康づくり活動の充実	22.2			
	計根別市街	救急・休日・夜間医療の充実	60.0	医療機関の充実	40.0	同率複数のため省略	—			
	計根別農協区域	食育や食生活改善運動の推進	66.7	同率複数のため省略	—	同率複数のため省略	—			

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

町立中標津病院の充実
町立病院の常勤医の確保
検診無料化

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる” が64.2%、“そう感じない” が20.9%。

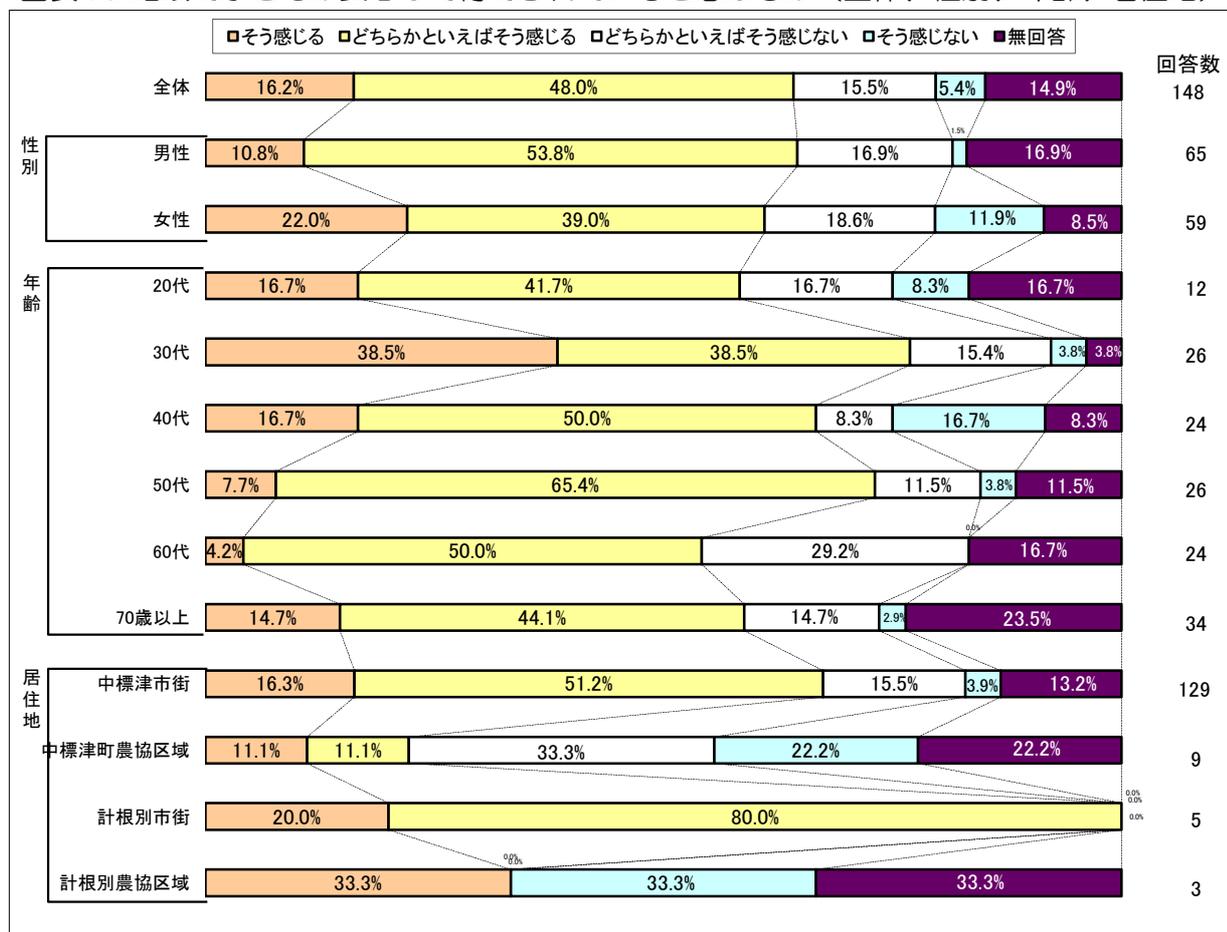
地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(48.0%)これに「そう感じる」(16.2%)をあわせた“そう感じる”人は64.2%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(15.5%)、「そう感じない」(5.4%)の合計）は20.9%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が64.6%、女性が61.0%と男性が3.6ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が77.0%となっていますが、60代では54.2%となっています。[図表49参照]

図表49 地域で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は94ページに掲載しています。

問38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

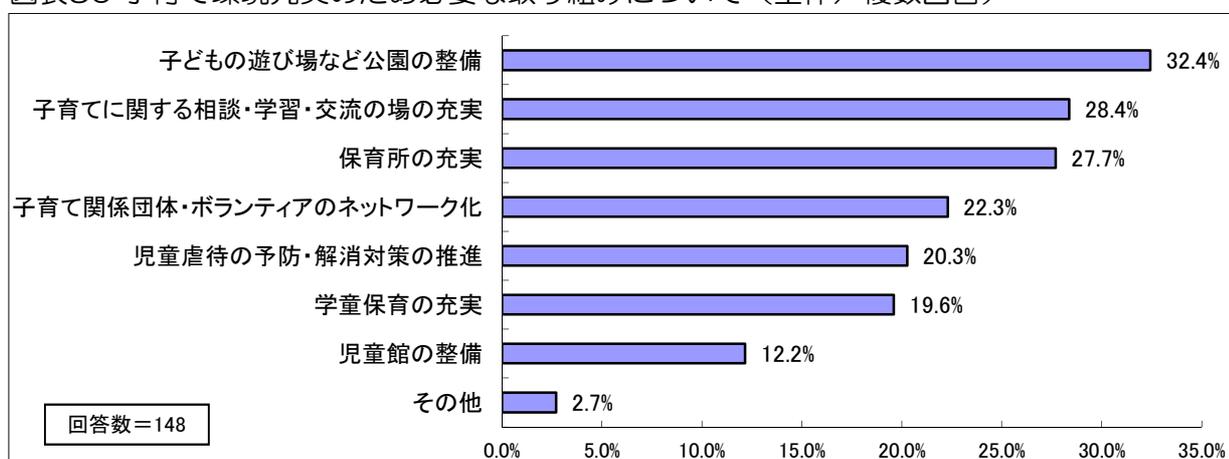


● 「子どもの遊び場など公園の整備」が第1位。次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」、「保育所の充実」の順。

今後必要な子育て環境については、「子どもの遊び場など公園の整備」（32.4%）が第1位に挙げられ、次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」（28.4%）、「保育所の充実」（27.7%）、「子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化」（22.3%）、「児童虐待の予防・解消対策の推進」（20.3%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・50代が「保育所の充実」、30代・40代・60代は「子どもの遊び場など公園の整備」、70歳以上は「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」となっています。[図表50～51参照]

図表50 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表51 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	第1位	第2位		第3位	
		割合	内容	割合	内容
年 齢	20代	50.0	保育所の充実	—	同率複数のため省略
	30代	53.8	子どもの遊び場など公園の整備	30.8	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実
	40代	33.3	子どもの遊び場など公園の整備	29.2	学童保育の充実
	50代	34.6	保育所の充実	34.6	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 (同率1位)
	60代	35.3	子どもの遊び場など公園の整備	29.2	学童保育の充実 (同率2位)
	70歳以上	35.3	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	26.5	保育所の充実
	居 住 地	中標津市街	34.1	子どもの遊び場など公園の整備	29.5
中標津町農協区域		55.6	保育所の充実	33.3	子どもの遊び場など公園の整備
計根別市街		40.0	保育所の充実	40.0	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 (同率1位)
計根別農協区域		66.7	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化	—	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

学力向上のための取り組み
進学する子供達への給付型奨学金の充実。
町に小中学校の養護学校が必要。
子供にはなんの仕事でも責任のおえる心を身につける事が大事。

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる” が37.2%、“そう感じない” が51.4%。

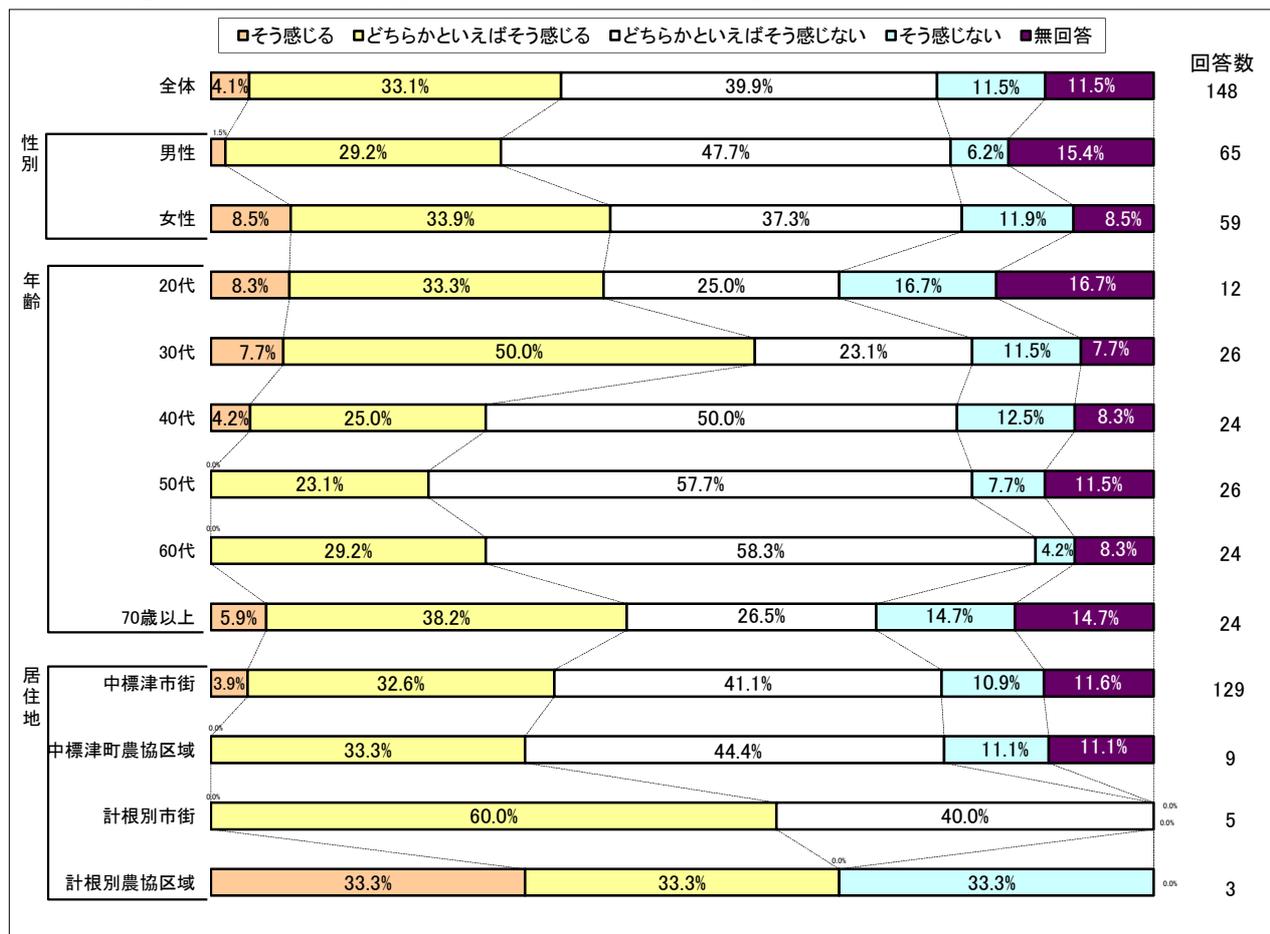
高齢者が生きがいを持ち安心して暮らしていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえ
ばそう感じる」（33.1%）これに「そう感じる」（4.1%）をあわせた“そう感じる”人は、
37.2%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえはそう感じない」（39.9%）、「そう感じない」
（11.5%）の合計）は51.4%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が30.7%、女性が42.4%と女性が11.7ポイント上
回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が57.7%と高くなっていますが50代では23.1%
と低くなっています。[図表52参照]

図表52 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は94ページに掲載しています。

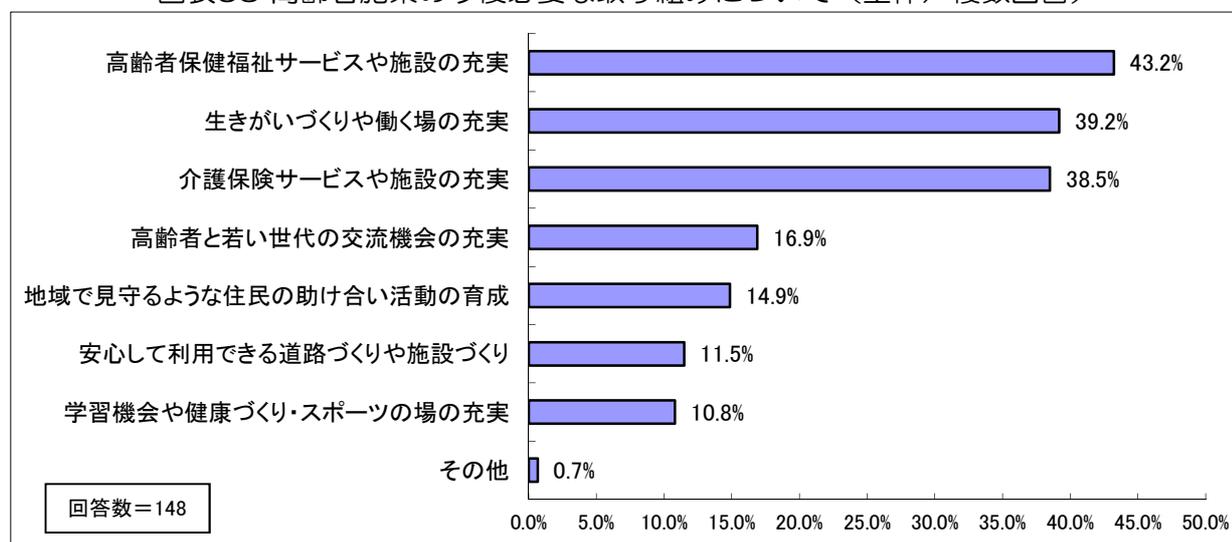
問40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

● 「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」が第1位。次いで「生きがいきづくりや働く場の充実」、「介護保険サービスや施設の充実」の順。

今後必要な高齢者施策については、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」(43.2%)で第1位に挙げられ、次いで、「生きがいきづくりや働く場の充実」(39.2%)、「介護保険サービスや施設の充実」(38.5%)「高齢者と若い世代の交流機会の充実」(16.9%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代と70歳以上が「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」、30代・40代・60代は「生きがいきづくりや働く場の充実」、50代は「介護保険サービスや施設の充実」となっています。【図表53～54参照】

図表53 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表54 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 41.7	生きがいきづくりや働く場の充実 25.0	安心して利用できる道路づくりや施設づくり (同率2位) 25.0
	30代	生きがいきづくりや働く場の充実 50.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 41.7	介護保険サービスや施設の充実 34.6
	40代	生きがいきづくりや働く場の充実 54.2	介護保険サービスや施設の充実 33.3	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 (同率2位) 33.3
	50代	介護保険サービスや施設の充実 65.4	生きがいきづくりや働く場の充実 34.6	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 30.8
	60代	生きがいきづくりや働く場の充実 54.2	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 50.0	介護保険サービスや施設の充実 41.7
	70歳以上	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 55.9	介護保険サービスや施設の充実 29.4	同率複数のため省略
	居 住 地	中標津市街	生きがいきづくりや働く場の充実 42.6	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 41.9
中標津町農協区域		高齢者保健福祉サービスや施設の充実 66.7	安心して利用できる道路づくりや施設づくり 44.4	介護保険サービスや施設の充実 33.3
計根別市街		介護保険サービスや施設の充実 80.0	生きがいきづくりや働く場の充実 40	同率複数のため省略
計根別農協区域		高齢者保健福祉サービスや施設の充実 66.7	高齢者と若い世代の交流機会の充実 33.3	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 (同率2位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

高齢者が免許を返納しても困らないような公共交通機関の充実

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

● “そう感じる” が33.1%、“そう感じない” が51.4%。

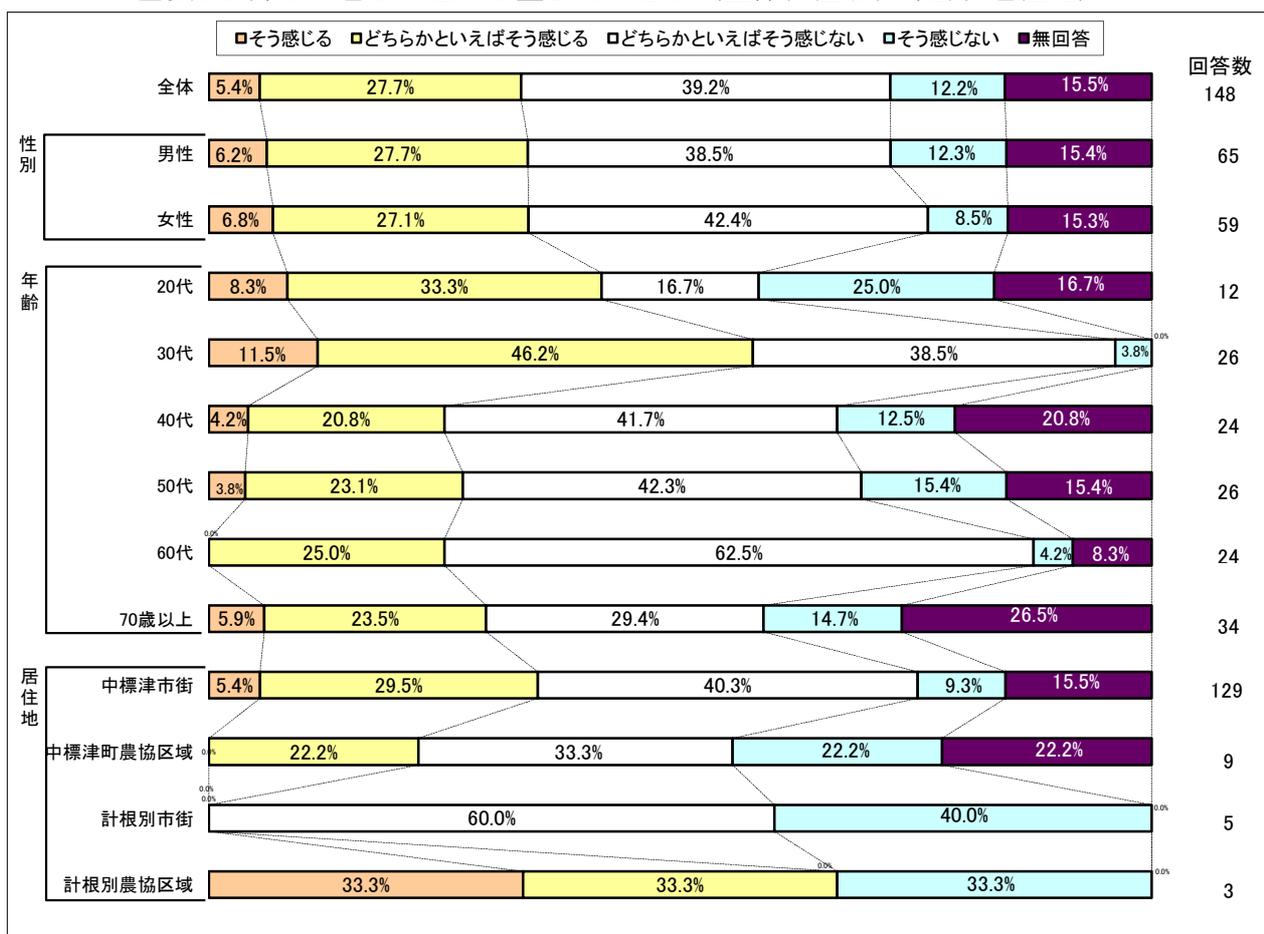
障がい者サービスが整っていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(27.7%)これに「そう感じる」(5.4%)をあわせた“そう感じる”人は、33.1%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（39.2%）、「そう感じない」（12.2%）の合計）は51.4%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性、女性ともに33.9%となっています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が57.7%となっていますが40代及び60代は25.0%と低くなっています。[図表55参照]

図表55 障がい者サービスが整っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は95ページに掲載しています。

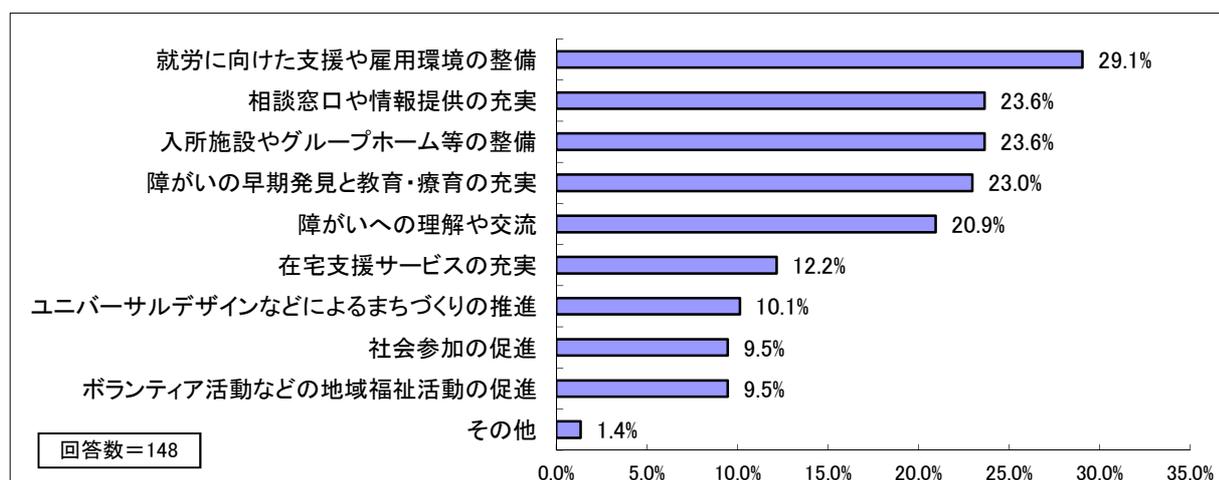
問42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

● 「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が第1位。次いで「相談窓口や情報提供の充実」及び「入所施設やグループホーム等の整備」の順。

今後必要な障がい者施策については、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」(29.1%)で第1位に挙げられ、次いで「相談窓口や情報提供の充実」及び「入所施設やグループホーム等の整備」(同率23.6%)、「障がいの早期発見と教育・療育の充実」(23.0%)、「障がいへの理解や交流」(20.9%)の順となっています。

年齢別の第1位は20代は「相談窓口や情報提供の充実」・「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、30代・60代が「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、40代は「就労に向けた支援や雇用環境の整備」「障がいへの理解や交流」、50代及び70歳以上は「相談窓口や情報提供の充実」となっています。[図表56～57参照]

図表56 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表57 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回：（上位3位 %）

年	年齢	第1位	第2位	第3位
		割合	割合	割合
年	20代	相談窓口や情報提供の充実 25.0	就労に向けた支援や雇用環境の整備 (同率1位) 25.0	同率複数のため省略
	30代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 34.6	入所施設やグループホーム等の整備 30.8	同率複数のため省略
	40代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 33.3	障がいへの理解や交流 (同率1位) 33.3	入所施設やグループホーム等の整備 29.2
年齢	50代	相談窓口や情報提供の充実 34.6	入所施設やグループホーム等の整備 26.9	同率複数のため省略
	60代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 41.7	障がいの早期発見と教育・療育の充実 25.0	障がいへの理解や交流 (同率2位) 25.0
	70歳以上	相談窓口や情報提供の充実 35.3	障がいの早期発見と教育・療育の充実 23.5	同率複数のため省略
居住地	中標津市街	就労に向けた支援や雇用環境の整備 29.5	相談窓口や情報提供の充実 24.0	入所施設やグループホーム等の整備 23.3
	中標津町農協区域	入所施設やグループホーム等の整備 55.6	就労に向けた支援や雇用環境の整備 33.3	相談窓口や情報提供の充実 22.2
	計根別市街	障がいへの理解や交流 80.0	相談窓口や情報提供の充実 40.0	同率複数のため省略
	計根別農協区域	障がいの早期発見と教育・療育の充実 66.7	障がいへの理解や交流 33.3	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

支援者の雇用充実

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

● “そう感じる” が23.6%、“そう感じない” が62.1%。

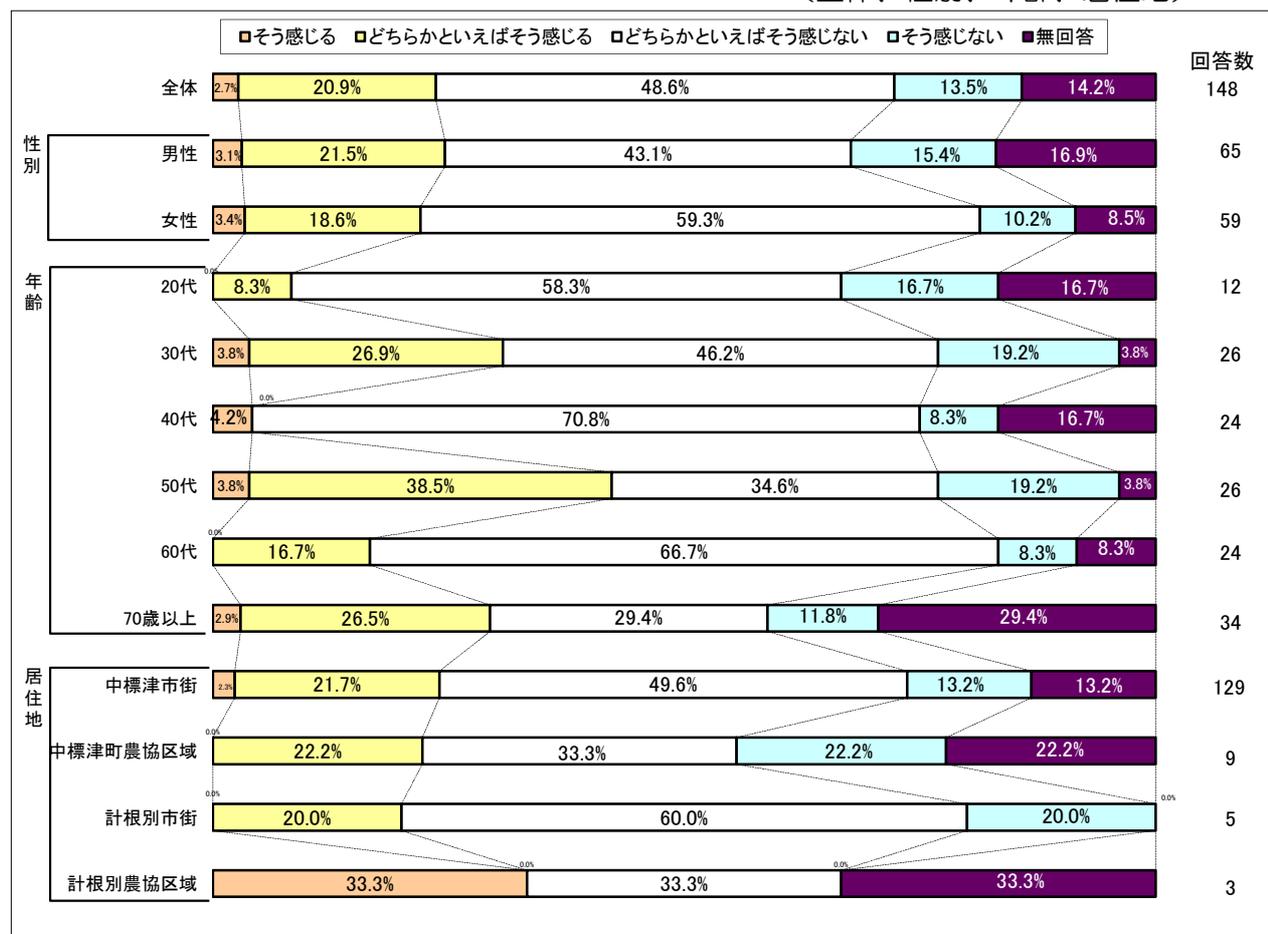
身近なところで相談でき支えてもらえる福祉の制度や活動があると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（20.9%）これに「そう感じる」（2.7%）をあわせた“そう感じる”人は、23.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（48.6%）、「そう感じない」（13.5%）の合計）人は62.1%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が24.6%、女性が22.0%と男性が2.6ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は50代が42.3%となっていますが、40代では4.2%と低くなっています。[図表58参照]

図表58 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じるか
(全体、性別、年齢、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は96ページに掲載しています。

問44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。

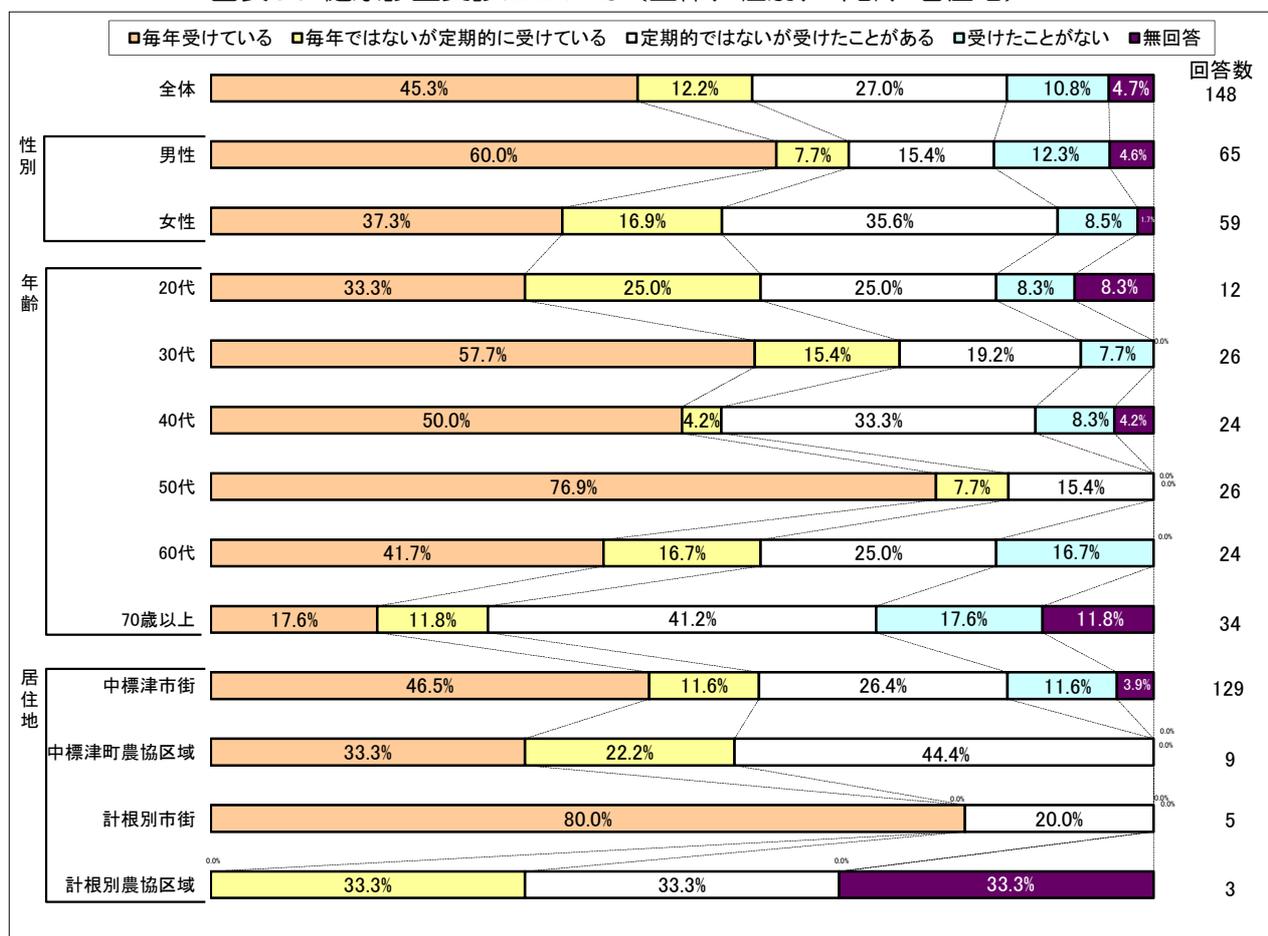
● “定期的に受けている” が57.5%、「定期的ではないが受けたことがある」が27.0%、「受けたことがない」が10.8%。

健康診査やがん検診を受けているかたずねたところ、「毎年受けている」（45.3%）と「毎年ではないが定期的に受けている」（12.2%）を合わせた57.5%の人が“定期的に受けている”と回答されていますが、一方で「受けたことがない」人は10.8%となっています。

性別の“定期的に受けている”人の割合は男性が67.7%、女性が54.2%と女性が13.5ポイント低くなっています。

年齢別の“定期的に受けている”人の割合は50代が84.6%となっていますが、70歳以上は29.4%と低くなっています。[図表59参照]

図表59 健康診査受診について（全体、性別、年齢、居住地）



(6) 教育・文化・スポーツについて

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

● “そう感じる” が60.8%、“そう感じない” が18.9%。

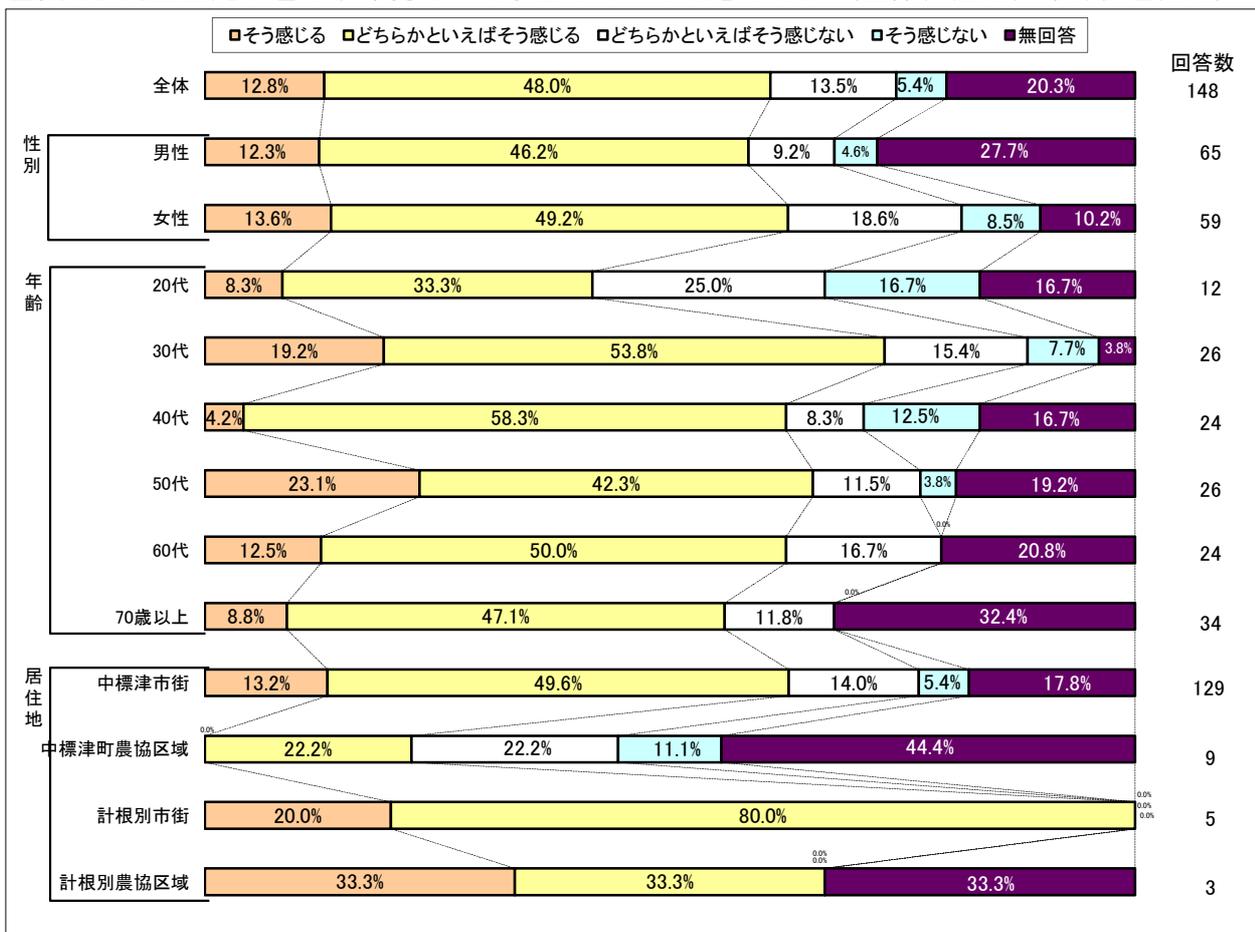
児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(48.0%) これに「そう感じる」(12.8%)をあわせた“そう感じる”人は、60.8%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（13.5%）、「そう感じない」（5.4%）の合計）は18.9%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が58.5%、女性が62.8%と女性が4.3ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、30代では73.0%となっていますが、20代では41.6%と低くなっています。[図表60参照]

図表60 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は96ページに掲載しています。

問46 青少年を見守る活動に参加していますか。



- “参加している”が8.8%、“参加していない”が79.7%。
“参加したい”が39.2%、“参加するつもりはない”が49.3%。

青少年を見守る活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（46.6%）が最も多く、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」（33.1%）、「現在、参加しているし、今後も参加したい」（6.1%）、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.7%）の順となっています。

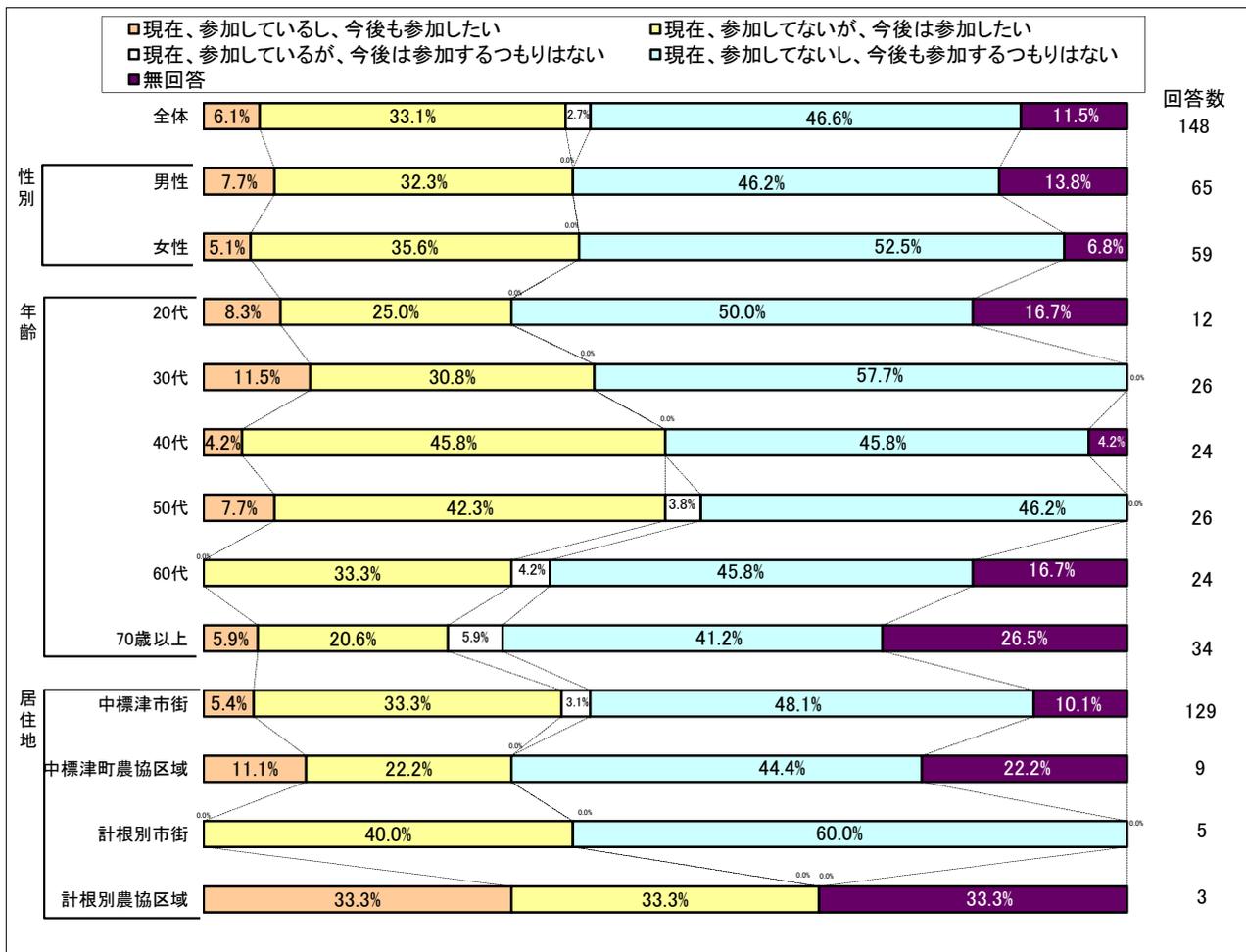
これを現在の参加状況でみると、現在“参加している”人（「参加しているし、今後も参加したい」（6.1%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.7%）の合計）が8.8%、一方、“参加していない”人（「参加していないが、今後は参加したい」（33.1%）及び「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（46.6%）の合計）は79.7%となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（6.1%）及び「参加していないが今後は参加したい」（33.1%）の合計）が39.2%、今後“参加するつもりはない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（46.6%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.7%）の合計）が49.3%となっており、現在“参加している”人の8.8%から今後“参加したい”人が39.2%と大きく増加する結果となっています。

性別でみると“参加したい”人の割合は男性で40.0%、女性で40.7%となっています。

年齢別の、“参加したい”人の割合は40代及び50代が50.0%となっていますが70歳以上は26.5%と低くなっています。[図表61参照]

図表61 青少年を見守る活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。

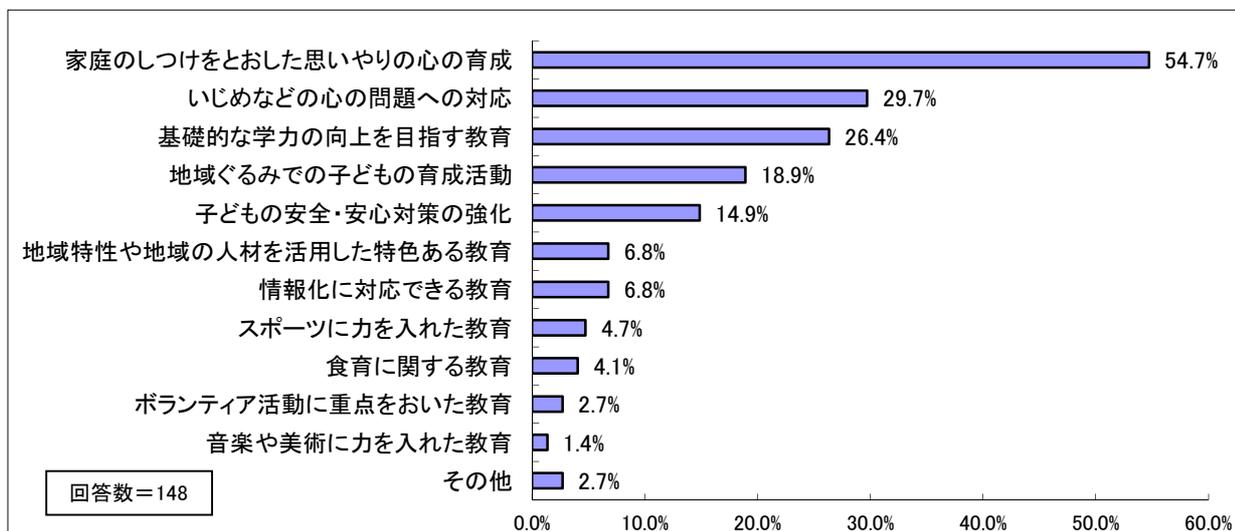


- 「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が第1位。次いで「いじめなどの心の問題への対応」、「基礎的な学力の向上を目指す教育」、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」の順。

子どもの豊かな人間教育に必要なことをたずねたところ、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」（54.7%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「いじめなどの心の問題への対応」（29.7%）、「基礎的な学力の向上を目指す教育」（26.4%）、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」（18.9%）などの順となっています。

年齢別の第1位は40代が「基礎的な学力の向上を目指す教育」、他の年齢層では、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」となっております。[図表62～63参照]

図表62 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



図表63 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	年齢	必要なこと（上位3位 %）		
		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 50.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	30代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 53.8	基礎的な学力の向上を目指す教育 38.5	子どもの安全・安心対策の強化 23.1
	40代	基礎的な学力の向上を目指す教育 41.7	いじめなどの心の問題への対応 37.5	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 33.3
	50代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 53.8	地域ぐるみでの子どもの育成活動 46.2	いじめなどの心の問題への対応 34.6
	60代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 58.3	いじめなどの心の問題への対応 33.3	基礎的な学力の向上を目指す教育 20.8
	70歳以上	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 70.6	いじめなどの心の問題への対応 29.4	基礎的な学力の向上を目指す教育 20.6
	居 住 地	中標津市街	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 53.5	いじめなどの心の問題への対応 29.5
中標津町農協区域		基礎的な学力の向上を目指す教育 44.4	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 33.3	いじめなどの心の問題への対応 (同率2位) 33.3
計根別市街		家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 100.0	子どもの安全・安心対策の強化 40.0	同率複数のため省略
計根別農協区域		家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 100.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

貧困家庭への援助

問48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が23.0%、“取り組んでいない” が68.9%。

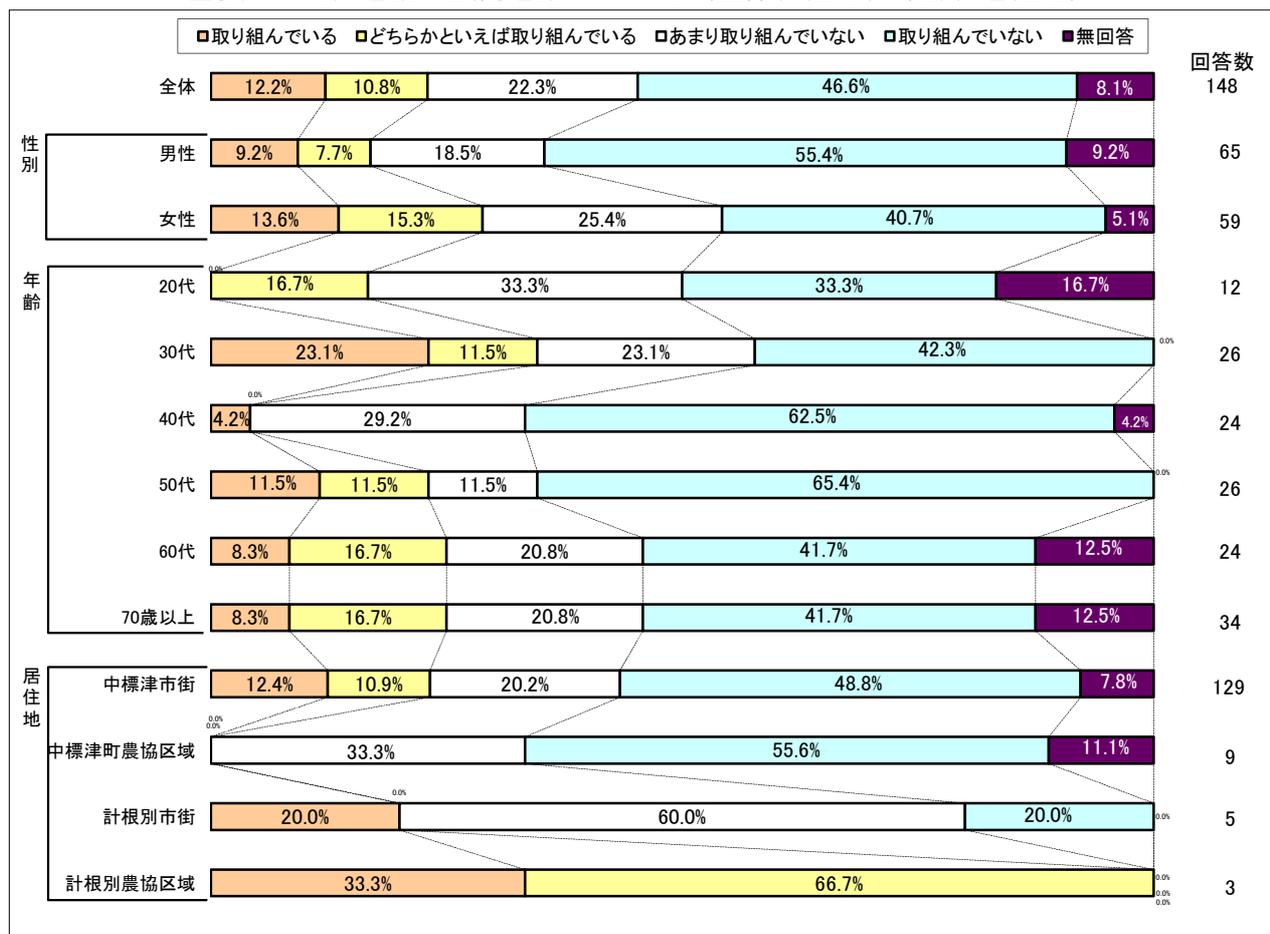
文化・芸術活動に取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(12.2%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(10.8%)をあわせた“取り組んでいる”という人が23.0%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」(22.3%)、「取り組んでいない」(46.6%)の合計）人は68.9%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が16.9%、女性が28.9%と女性が12ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は30代が34.6%となっていますが、40代では4.2%となっています。[図表64参照]

図表64 文化活動・芸術活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問49 生涯学習情報誌「らいふまっぴ」から知りたい情報は得られていますか。



● “得られている” が34.4%、“得られていない” が52.7%。

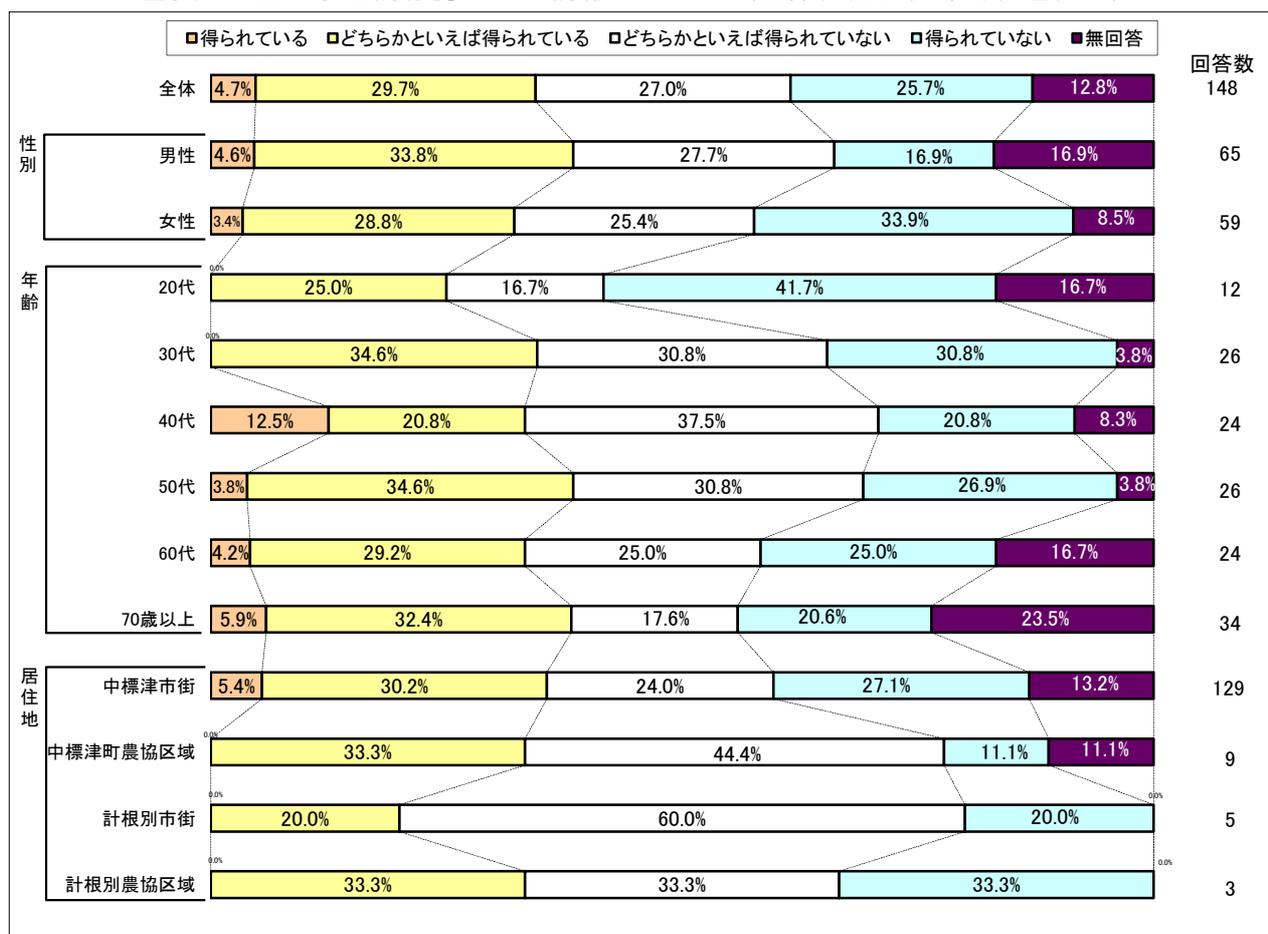
生涯学習情報誌から知りたい情報が得られているかたずねたところ、「得られている」(4.7%)これに「どちらかといえば得られている」(29.7%)をあわせた“得られている”という人が34.4%となっています。

一方、“得られていない”（「どちらかといえば得られていない」(27.0%)、「得られていない」(25.7%)の合計）人は52.7%となっています。

性別の“得られている”人の割合は男性が38.4%、女性が32.2%と男性が6.2ポイント上回っています。

年齢別の“得られている”人の割合は50代が38.4%と一番高く、20代では25.0%と低くなっています。[図表65参照]

図表65 生涯学習情報誌からの情報について（全体、性別、年齢、居住地）



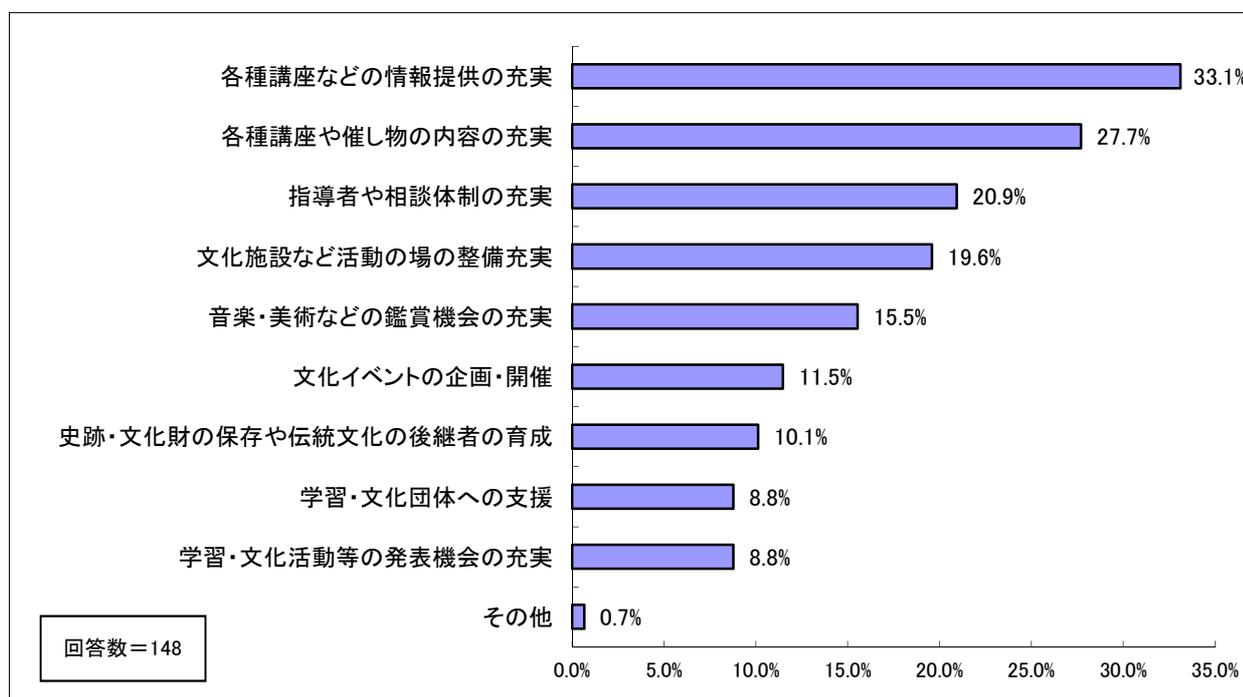
問50 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

● 「各種講座などの情報提供の充実」が第1位。次いで「各種講座や催し物の内容の充実」、「指導者や相談体制の充実」の順。

生涯学習活動や文化活動を活発にするには、「各種講座などの情報提供の充実」(33.1%)が第1位に挙げられ、次いで「各種講座や催し物の内容の充実」(27.7%)、「指導者や相談体制の充実」(20.9%)、「文化施設など活動の場の整備充実」(19.6%)、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」(15.5%)などの順となっています。

[図表66～67参照]

図表66 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（全体／複数回答）



図表67 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（年齢／複数回答）（上位3位%）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	指導者や相談体制の充実 41.7	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	30代	各種講座や催し物の内容の充実 38.5	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 26.9	同率複数のため省略 —
	40代	各種講座などの情報提供の充実 37.5	各種講座や催し物の内容の充実 (同率1位) 37.5	指導者や相談体制の充実 29.2
	50代	各種講座などの情報提供の充実 26.9	各種講座や催し物の内容の充実 (同率1位) 26.9	文化施設など活動の場の整備充実 (同率1位) 26.9
	60代	各種講座などの情報提供の充実 37.5	指導者や相談体制の充実 25.0	各種講座や催し物の内容の充実 (同率2位) 25.0
	70歳以上	各種講座などの情報提供の充実 29.6	指導者や相談体制の充実 22.2	文化施設など活動の場の整備充実 18.5

問51 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が31.7%、“取り組んでいない” が59.4%。

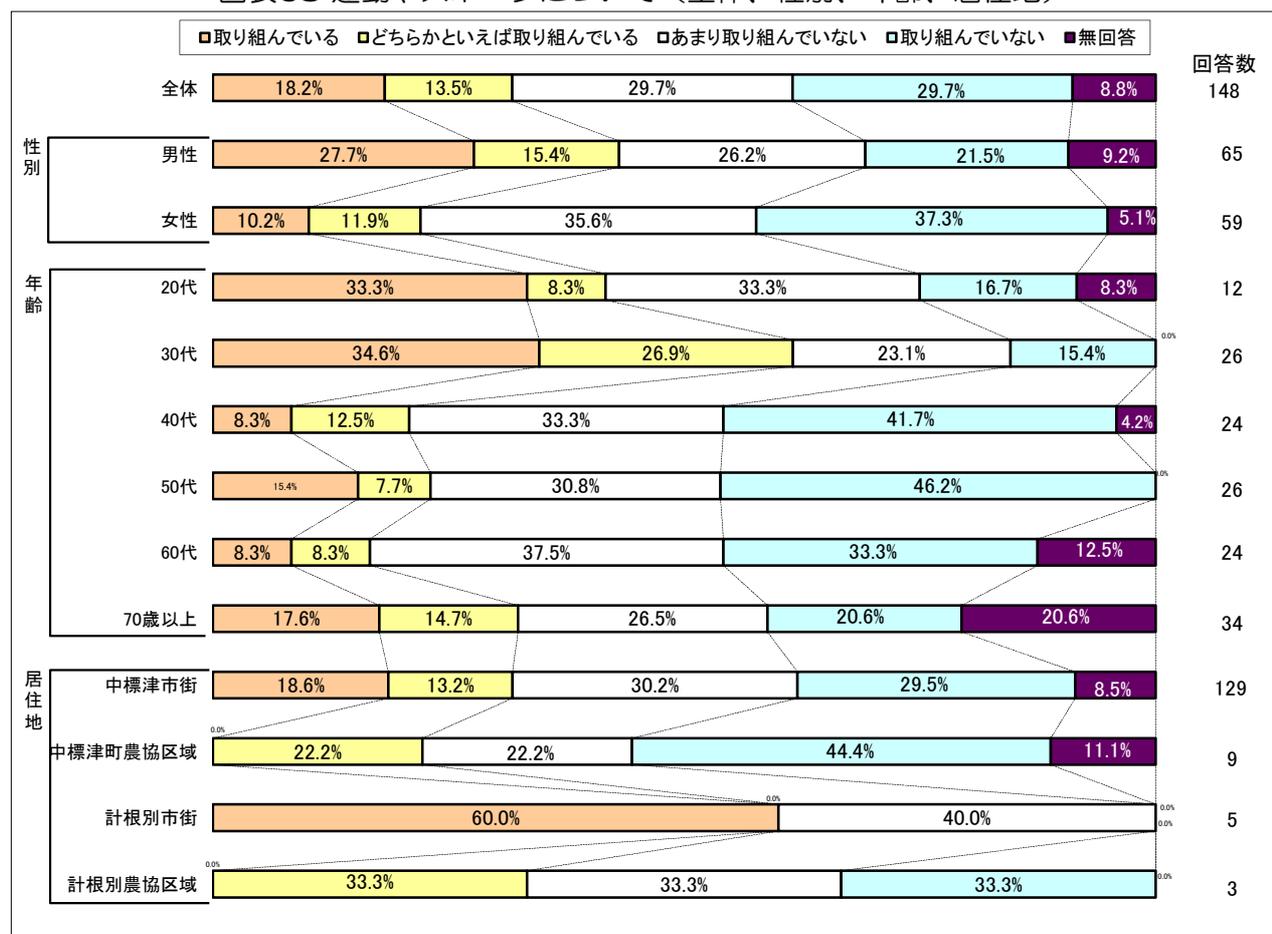
運動やスポーツに取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(18.2%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(13.5%)をあわせた“取り組んでいる”という人が31.7%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「取り組んでいない」(29.7%)と「あまり取り組んでいない」(29.7%)の合計）人は59.4%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が43.1%、女性が22.1%と男性が21ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は30代が61.5%と高くなっていますが、60代では16.6%となっています。[図表68参照]

図表68 運動やスポーツについて（全体、性別、年齢、居住地）



問52 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



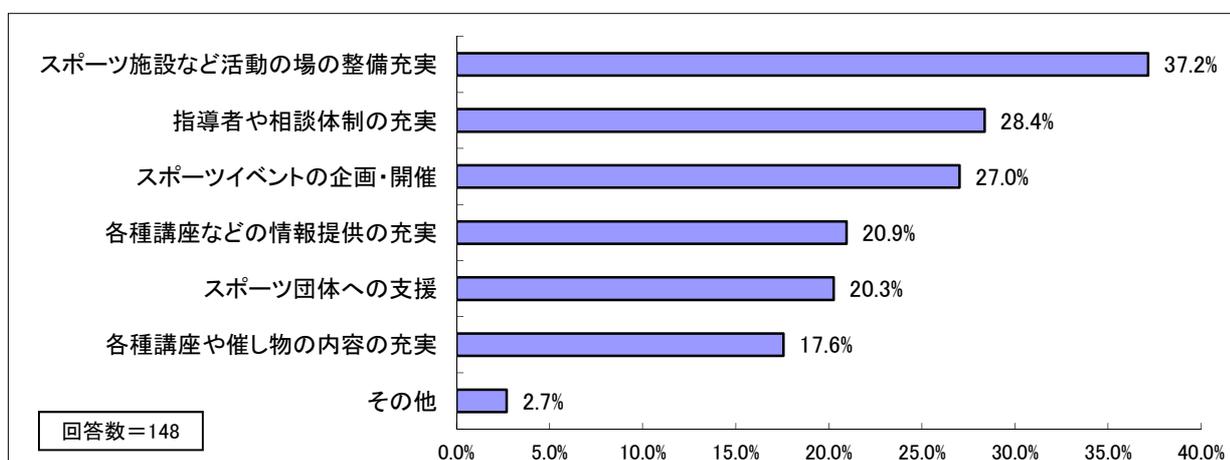
●「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が第1位。次いで「指導者や相談体制の充実」、「スポーツイベントの企画・開催」の順。

スポーツ活動を活発にするには、「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(37.2%)が第1位に挙げられ、次いで「指導者や相談体制の充実」(28.4%)、「スポーツイベントの企画・開催」(27.0%)、「各種講座などの情報提供の充実」(20.9%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・50代では「スポーツイベントの企画・開催」、30代・40代・70歳以上では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」、60代は「指導者や相談体制の充実」と「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(同率37.5%)などとなっています。

[図表69～70参照]

図表69 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み(全体/複数回答)



図表70 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

		第1位	第2位	第3位
年	20代	スポーツイベントの企画・開催 50.0	指導者や相談体制の充実 33.3	同率複数のため省略 -
	30代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 57.7	スポーツイベントの企画・開催 30.8	各種講座や催し物の内容の充実 26.9
	40代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 37.5	各種講座などの情報提供の充実 29.2	スポーツ団体への支援 25.0
	50代	スポーツイベントの企画・開催 38.5	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
年齢	60代	指導者や相談体制の充実 37.5	スポーツ施設など活動の場の整備充実 (同率1位) 37.5	各種講座などの情報提供の充実 20.8
	70歳以上	スポーツ施設など活動の場の整備充実 35.3	指導者や相談体制の充実 32.4	スポーツ団体への支援 23.5
居住地	中標津市街	スポーツ施設など活動の場の整備充実 41.1	スポーツイベントの企画・開催 27.9	指導者や相談体制の充実 26.4
	中標津町農協区域	指導者や相談体制の充実 55.6	スポーツ団体への支援 22.2	同率複数のため省略 -
	計根別市街	指導者や相談体制の充実 60.0	スポーツイベントの企画・開催 40.0	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

トレーニング室などの利用料が毎日使うには高すぎる。月極の利用料を導入してほしい。

(7) 人権・男女共同参画について

問53 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

● “そう感じる” が52.7%、“そう感じない” が31.1%。

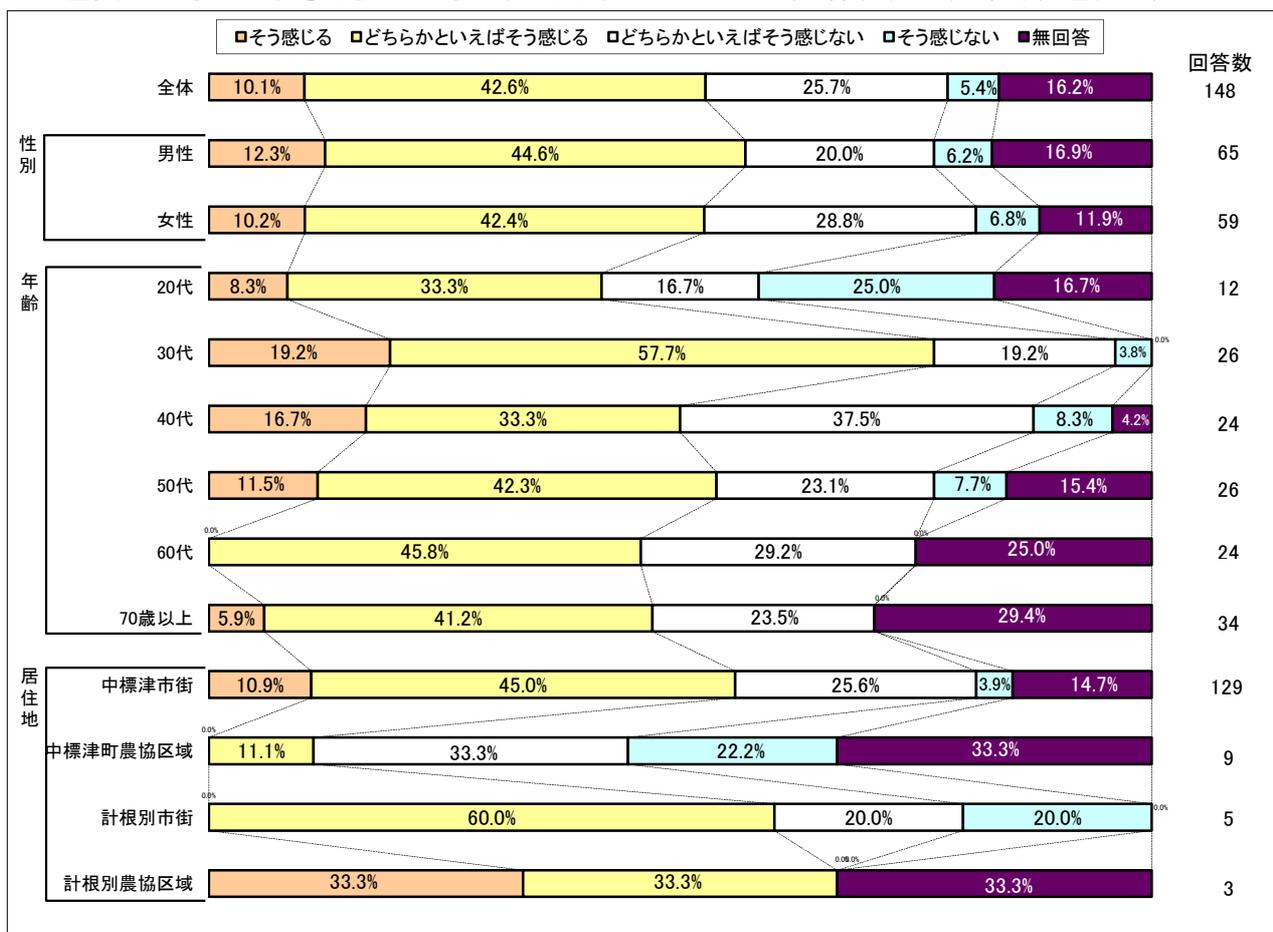
男女が平等に参加できる社会になっていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(42.6%)これに「そう感じる」(10.1%)をあわせた“そう感じる”人は、52.7%となっています。

一方、“そう感じない”人(「どちらかといえばそう感じない」(25.7%)、「そう感じない」(5.4%)の合計)は31.1%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が56.9%、女性が52.6%と男性が4.3ポイント上回っています。

年齢別の、“そう感じる”人の割合は30代では76.9%となっていますが、20代では41.6%となっています。【図表71参照】

図表71 男女が平等に参加できる社会になっているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は97ページに掲載しています。

問54 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

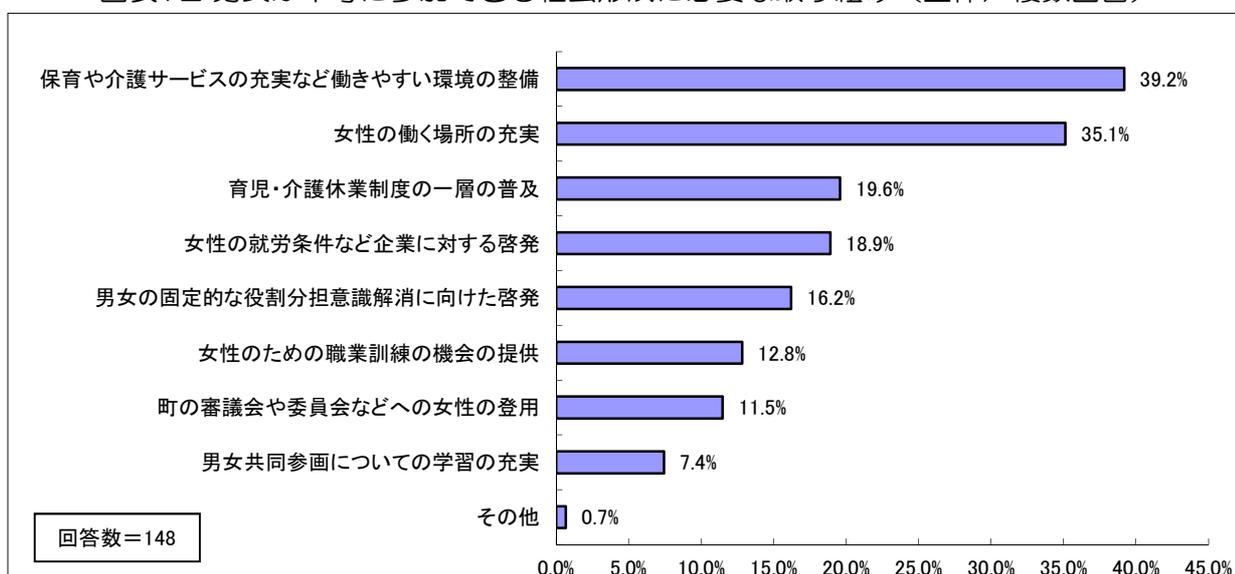


● 「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が第1位。次いで「女性の働く場所の充実」、「育児・介護休業制度の一層の普及」の順。

男女平等に参加できる社会の形成に必要なことをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」（39.2%）が第1位に挙げられ、次いで「女性の働く場所の充実」（35.1%）、「育児・介護休業制度の一層の普及」（19.6%）、「女性の就労条件など企業に対する啓発」（18.9%）などの順となっています。

年齢別の第1位は40代が「女性の働く場所の充実」となっていますが、他の年齢層では「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」となっております。さらに20代では「育児・介護休業制度の一層の普及」、「女性の就労条件など企業に対する啓発」も同率（33.3%）で第1位に挙げられています。【図表72～73参照】

図表72 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表73 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 33.3	育児・介護休業制度の一層の普及 (同率1位) 33.3	女性の就労条件など企業に対する啓発 (同率1位) 33.3
	30代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 50.0	女性の働く場所の充実 46.2	育児・介護休業制度の一層の普及 38.5
	40代	女性の働く場所の充実 41.7	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 25.0	女性の就労条件など企業に対する啓発 (同率2位) 25.0
	50代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 50.0	女性の働く場所の充実 42.3	育児・介護休業制度の一層の普及 26.9
	60代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 29.2	女性の働く場所の充実 25.0	女性の就労条件など企業に対する啓発 (同率2位) 25.0
	70歳以上	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 44.1	女性の働く場所の充実 26.5	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 20.6
居 住 地	中標津市街	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 42.6	女性の働く場所の充実 34.9	育児・介護休業制度の一層の普及 20.2
	中標津町農協区域	女性の働く場所の充実 44.4	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別市街	育児・介護休業制度の一層の普及 60.0	女性の就労条件など企業に対する啓発 40.0	女性のための職業訓練の機会の提供 (同率2位) 40.0
	計根別農協区域	男女共同参画についての学習の充実 66.7	女性の働く場所の充実 33.3	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 (同率2位) 33.3

(8) 地域間交流について

問55 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。

● “そう思う” が44.6%、“そう思わない” が48.0%。

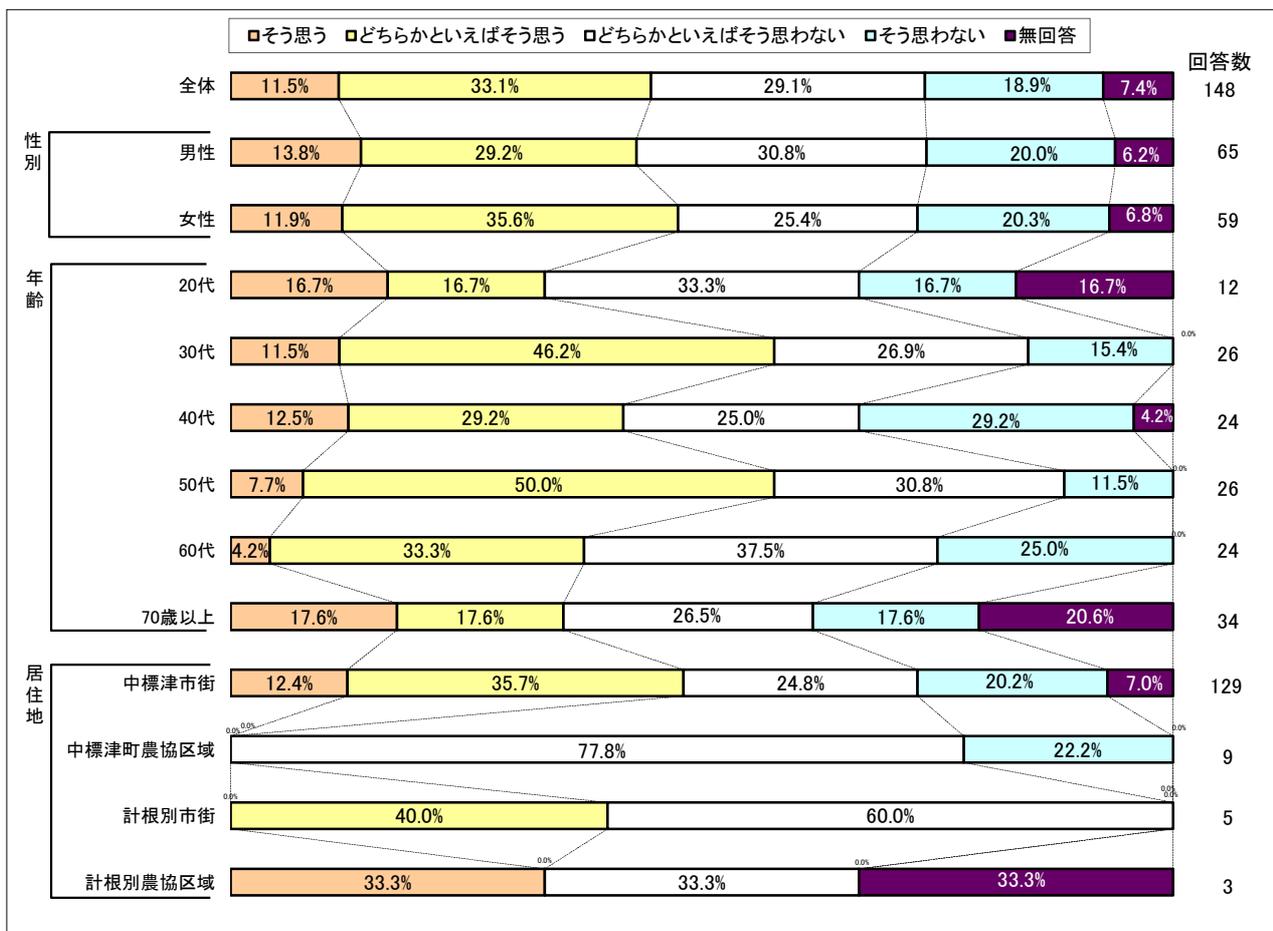
国際交流や他地域との交流に参加したいかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(33.1%)これに「そう思う」(11.5%)をあわせた“そう思う”という人が44.6%となっています。

一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」(29.1%)、「そう思わない」(18.9%)の合計）は48.0%となっています。

性別の“そう思う”人の割合は男性が43.0%、女性が47.5%となり女性が4.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう思う”人の割合は30代及び50代が57.7%となっていますが、20代では33.4%となっています。[図表74参照]

図表74 地域間交流に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問56 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

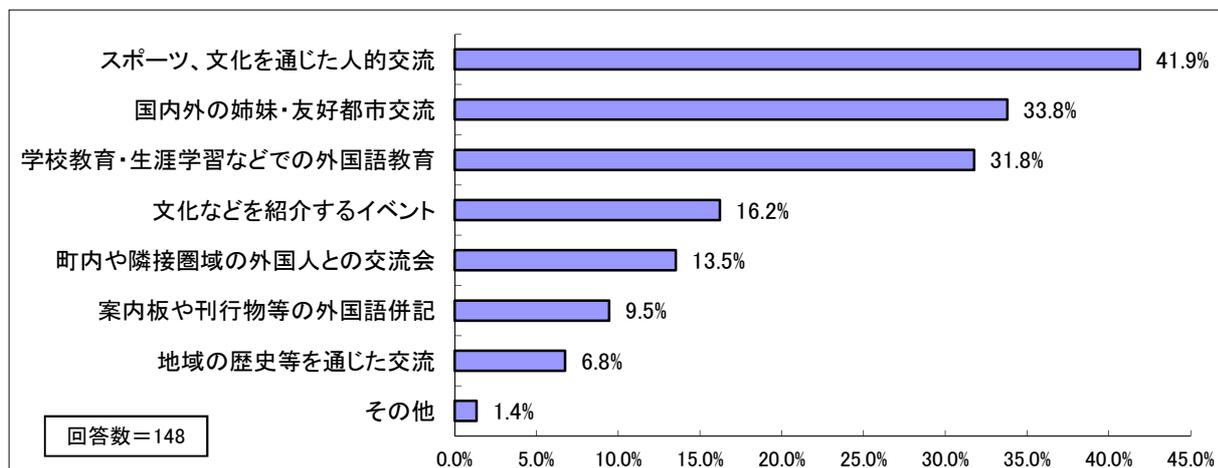
● 「スポーツ、文化を通じた人的交流」が第1位。次いで「国内外の姉妹・友好都市交流」、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」の順。

国内外との交流活動について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「スポーツ、文化を通じた人的交流」（41.9%）が第1位に挙げられ、次いで「国内外の姉妹・友好都市交流」（33.8%）、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」（31.8%）、「文化などを紹介するイベント」（16.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・40代・50代では「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、30代・70歳以上では「スポーツ、文化を通じた人的交流」、60代は「国内外の姉妹・友好都市交流」及び「スポーツ、文化を通じた人的交流」となっています。

[図表75~76参照]

図表75 国内外との交流活動に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表76 国内外との交流活動に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年	20代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 50.0	国内外の姉妹・友好都市交流 41.7	スポーツ、文化を通じた人的交流 33.3
	30代	スポーツ、文化を通じた人的交流 69.2	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 38.5	国内外の姉妹・友好都市交流 23.1
	40代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 41.7	国内外の姉妹・友好都市交流 33.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 (同率2位) 33.3
年齢	50代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 42.3	国内外の姉妹・友好都市交流 38.5	スポーツ、文化を通じた人的交流 34.6
	60代	国内外の姉妹・友好都市交流 37.5	スポーツ、文化を通じた人的交流 (同率1位) 37.5	同率複数のため省略 -
	70歳以上	スポーツ、文化を通じた人的交流 41.2	国内外の姉妹・友好都市交流 35.3	文化などを紹介するイベント 20.6
居住地	中標津市街	スポーツ、文化を通じた人的交流 42.6	国内外の姉妹・友好都市交流 33.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率2位) 33.3
	中標津町農協区域	スポーツ、文化を通じた人的交流 44.4	国内外の姉妹・友好都市交流 33.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率2位) 33.3
	計根別市街	国内外の姉妹・友好都市交流 80.0	スポーツ、文化を通じた人的交流 40.0	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	地域の歴史等を通じた交流 66.7	スポーツ、文化を通じた人的交流 33.3	文化などを紹介するイベント (同率2位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

特にロシアの地方都市と姉妹関係をもつ。

必要性を感じない。

(9) 北方領土問題について

問57 北方領土問題を身近な問題と感じますか。

● “そう感じる” が55.4%、“そう感じない” が35.1%。

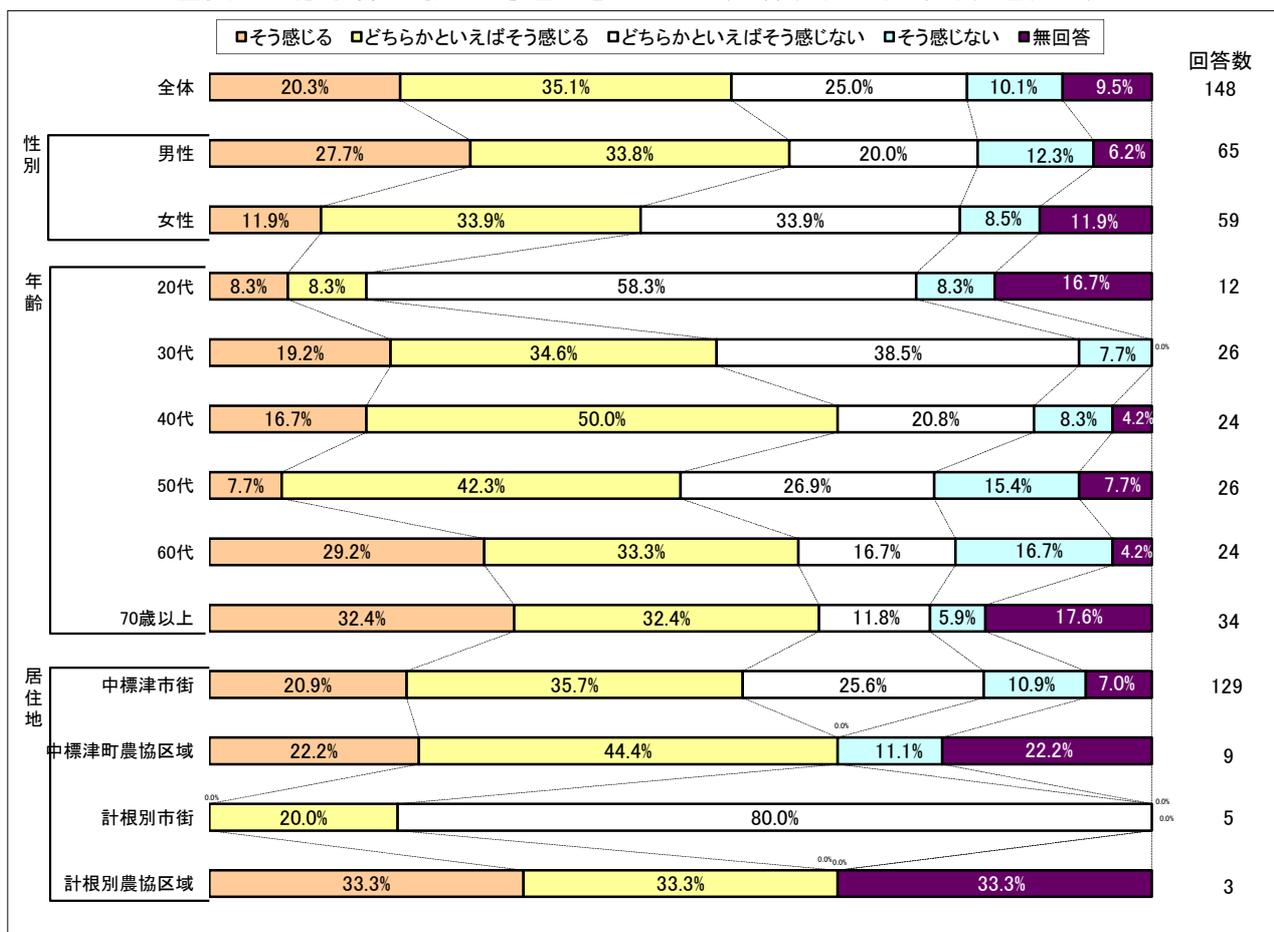
北方領土問題を身近な問題と感じるかたずねたところ、「そう感じる」(20.3%)これに「どちらかといえばそう感じる」(35.1%)をあわせた“そう感じる”人は、55.4%となっています。

一方、“そう感じない”人(「どちらかといえばそう感じない」(25.0%)、「そう感じない」(10.1%)の合計)は35.1%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が61.5%、女性が45.8%と男性が15.7ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、40代が66.7%と一番高くなっていますが、20代では16.6%と低くなっています。[図表77参照]

図表77 北方領土問題を身近に感じるか(全体、性別、年齢、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は97ページに掲載しています。

3 費用負担について

(1) 取り組みに対する費用負担の可否について

問58 これまでの設問4から設問57において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。

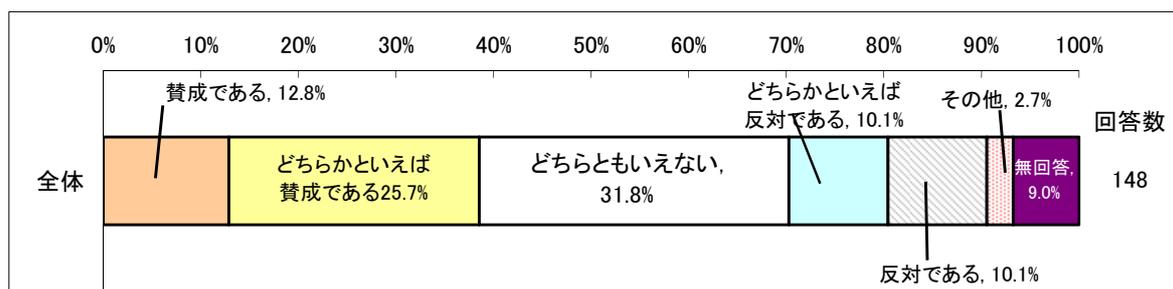
- “賛成である”が38.5%、“反対である”が20.2%、「どちらともいえない」が31.8%、「その他」が2.7%。

取り組みに対する費用負担の可否についてたずねたところ、「賛成である」（12.8%）これに「どちらかといえば賛成である」（25.7%）をあわせた“賛成である”という人が38.5%となっています。

一方、“反対である”（「どちらかといえば反対である」（10.1%）及び「反対である」（10.1%）の合計）は20.2%となっています。

なお、「どちらともいえない」の回答は31.8%ありました。[図表78参照]

図表78 取り組みに対する費用負担の可否（全体）



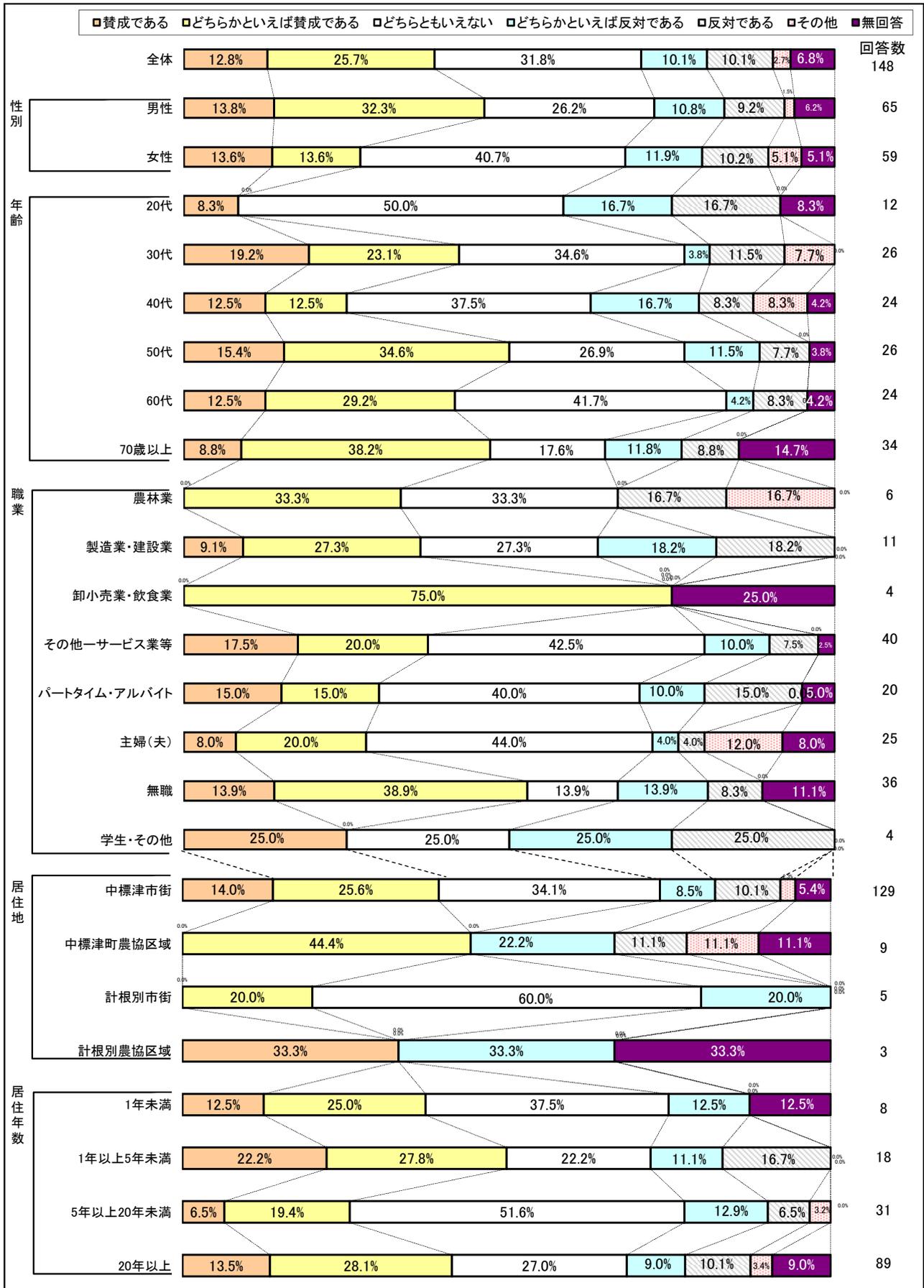
性別で“賛成である”人の割合は、男性（46.1%）と女性（27.2%）と男性が18.9ポイント上回っています。

年齢別にみると50代の“賛成である”人の割合は50.0%と高い割合となりましたが、20代では8.3%と1割に満たない結果となっています。

職業別で“賛成である”人の割合の高い層をみると、卸小売業・飲食業（75.0%）となっていますが、学生・その他においては、25.0%と低くなっています。

[図表79参照]

図表79 取り組みに対する費用負担の可否（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



4 町民活動・協働について

(1) 地域活動・ボランティア活動について

問59① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。

- “参加している” が23.6%、“参加していない” が66.9%。
“参加したい” が52.0%、“参加したくない” が38.5%。

地域活動・ボランティア活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（35.8%）が最も多く、次いで「参加していないが、今後は参加したい」（31.1%）、「参加しているし、今後も参加したい」（20.9%）、「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.7%）の順となっています。

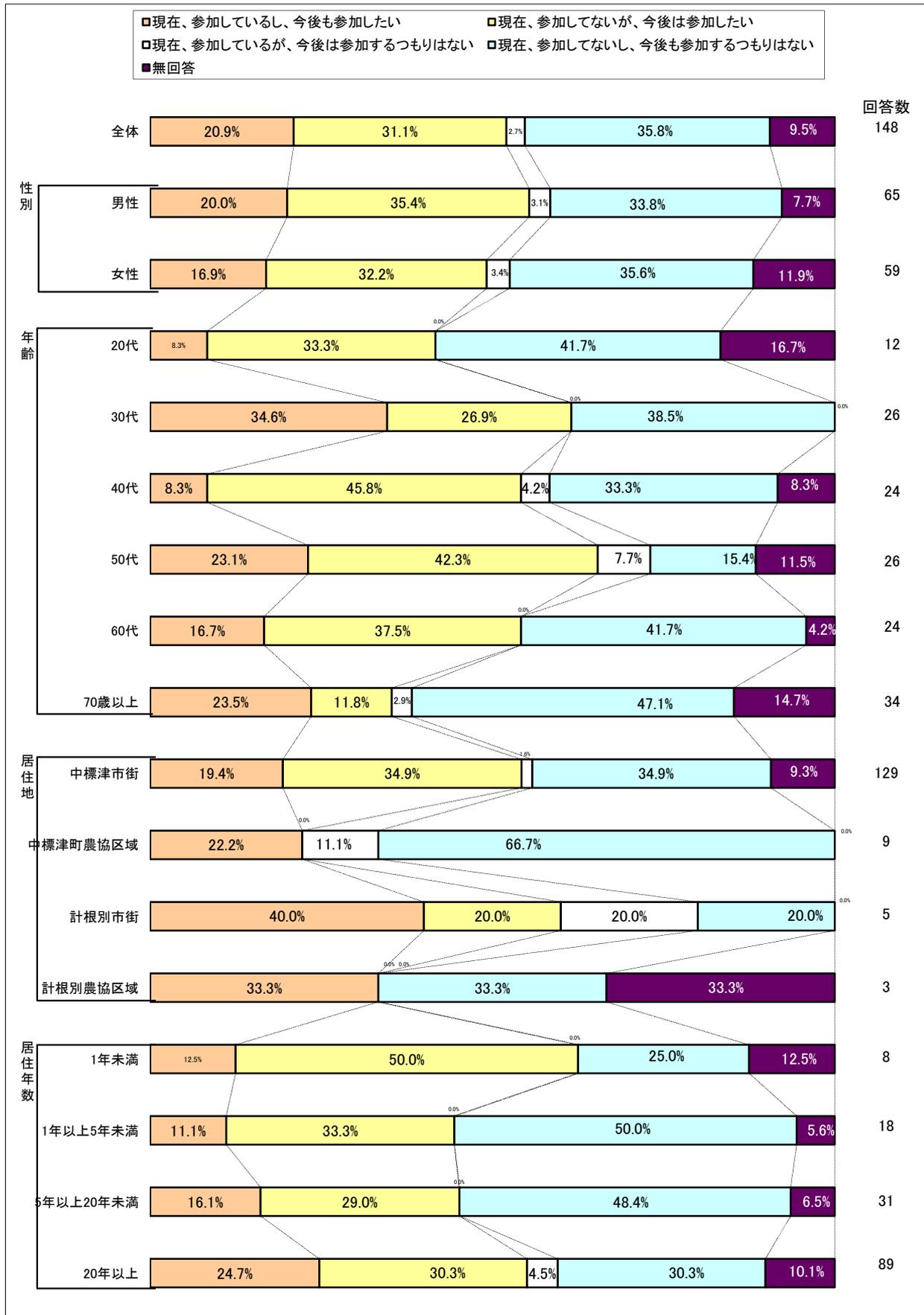
これを現在の参加状況でみると、現在“参加している”人（「参加しているし、今後も参加したい」（20.9%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.7%）の合計が23.6%、一方“参加していない”人（「参加していないが、今後は参加したい」（31.1%）及び「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（35.8%）の合計）が66.9%となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（20.9%）及び「参加していないが、今後は参加したい」（31.1%）の合計）が52.0%、今後“参加したくない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（35.8%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.7%）の合計）が38.5%となっており、現在“参加している”人の23.6%から今後“参加したい”人が52.0%に増加する結果となっています。

性別で“参加したい”人の割合は男性で55.4%、女性で49.1%と男性が6.3ポイント上回っています。

年齢別でみると、“参加したい”人の割合は50代が65.4%と高いですが、70歳以上では35.3%と低くなっています。[図表80参照]

図表80 地域活動・ボランティア活動について（全体、性別、年齢、居住地、居住年数）



(2) 参加したい地域活動について

問59② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。

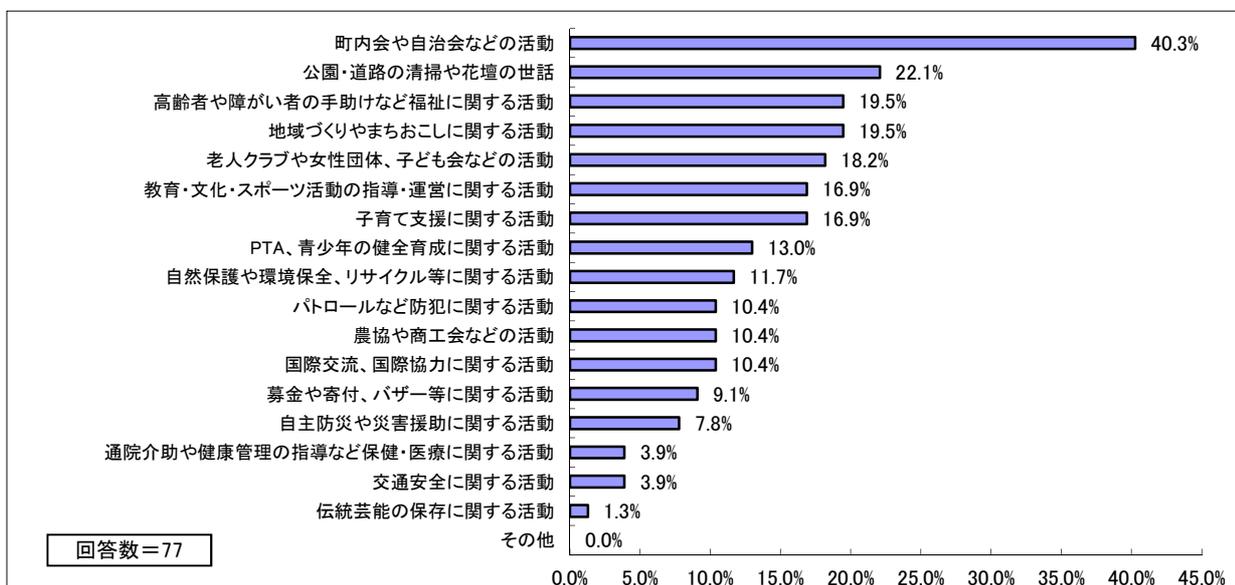
（問59①で“参加したい”と回答した人のみ）【複数回答】

● 「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」の順。

問59①で今後“参加したい”（52.0%）と回答した人に、参加したい活動をたずねたところ、「町内会や自治会などの活動」（40.3%）が第1位に挙げられ、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」（22.1%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」及び「地域づくりやまちおこしに関する活動」（同率19.5%）などの順となっています。

[図表81～82参照]

図表81 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表82 参加したい地域活動等について（性別、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

性別		第1位			第2位			第3位		
		活動内容	割合 (%)	同率複数のため省略	活動内容	割合 (%)	同率複数のため省略	活動内容	割合 (%)	同率複数のため省略
性別	男性	町内会や自治会などの活動	38.9		地域づくりやまちおこしに関する活動	22.2		公園・道路の清掃や花壇の世話	22.2	(同率2位)
	女性	町内会や自治会などの活動	34.5		子育て支援に関する活動	24.1		高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	24.1	(同率2位)
年齢	20代	町内会や自治会などの活動	40.0		子育て支援に関する活動	40.0	(同率1位)	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	40.0	(同率1位)
	30代	町内会や自治会などの活動	50.0		PTA、青少年の健全育成に関する活動	31.3		同率複数のため省略		
	40代	同率複数のため省略			同率複数のため省略			同率複数のため省略		
	50代	町内会や自治会などの活動	52.9		同率複数のため省略			同率複数のため省略		
	60代	町内会や自治会などの活動	30.8		老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	30.8	(同率1位)	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	30.8	(同率1位)
	70歳以上	町内会や自治会などの活動	41.7		老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	41.7	(同率1位)	同率複数のため省略		
	居住地	中標津市街	町内会や自治会などの活動	41.4		公園・道路の清掃や花壇の世話	22.9		同率複数のため省略	
	中標津町農協区域	町内会や自治会などの活動	50.0		公園・道路の清掃や花壇の世話	50.0	(同率1位)	PTA、青少年の健全育成に関する活動	50.0	(同率1位)
	計根別市街	同率複数のため省略			同率複数のため省略			同率複数のため省略		
	計根別農協区域	農協や商工会などの活動	100.0		老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	100.0	(同率1位)	地域づくりやまちおこしに関する活動	100.0	(同率1位)

5 中標津町役場について

(1) 情報共有について

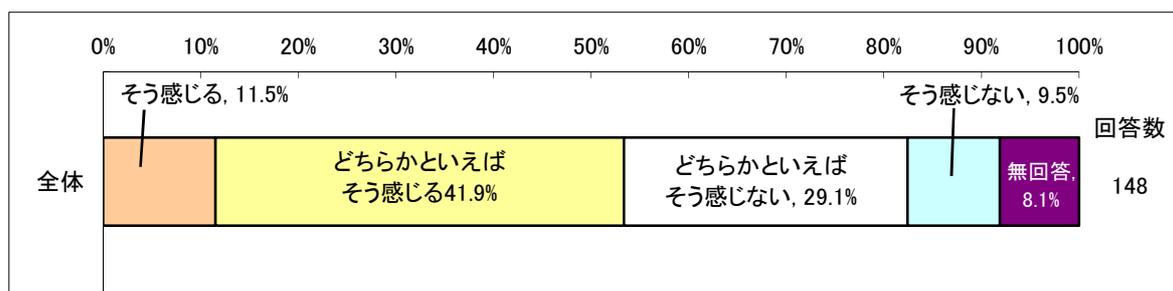
問60 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

- “そう感じる” が53.4%、“そう感じない” が38.6%。

町の情報について知りたい情報が得られているかたずねたところ、「そう感じる」(11.5%)これに「どちらかといえばそう感じる」(41.9%)をあわせた“そう感じる”人は53.4%となっています。

一方、“そう感じない”「どちらかといえばそう感じない」(29.1%)及び「そう感じない」(9.5%)の合計)人は38.6%となっています。【図表83参照】

図表83 知りたい情報が得られているか（全体）

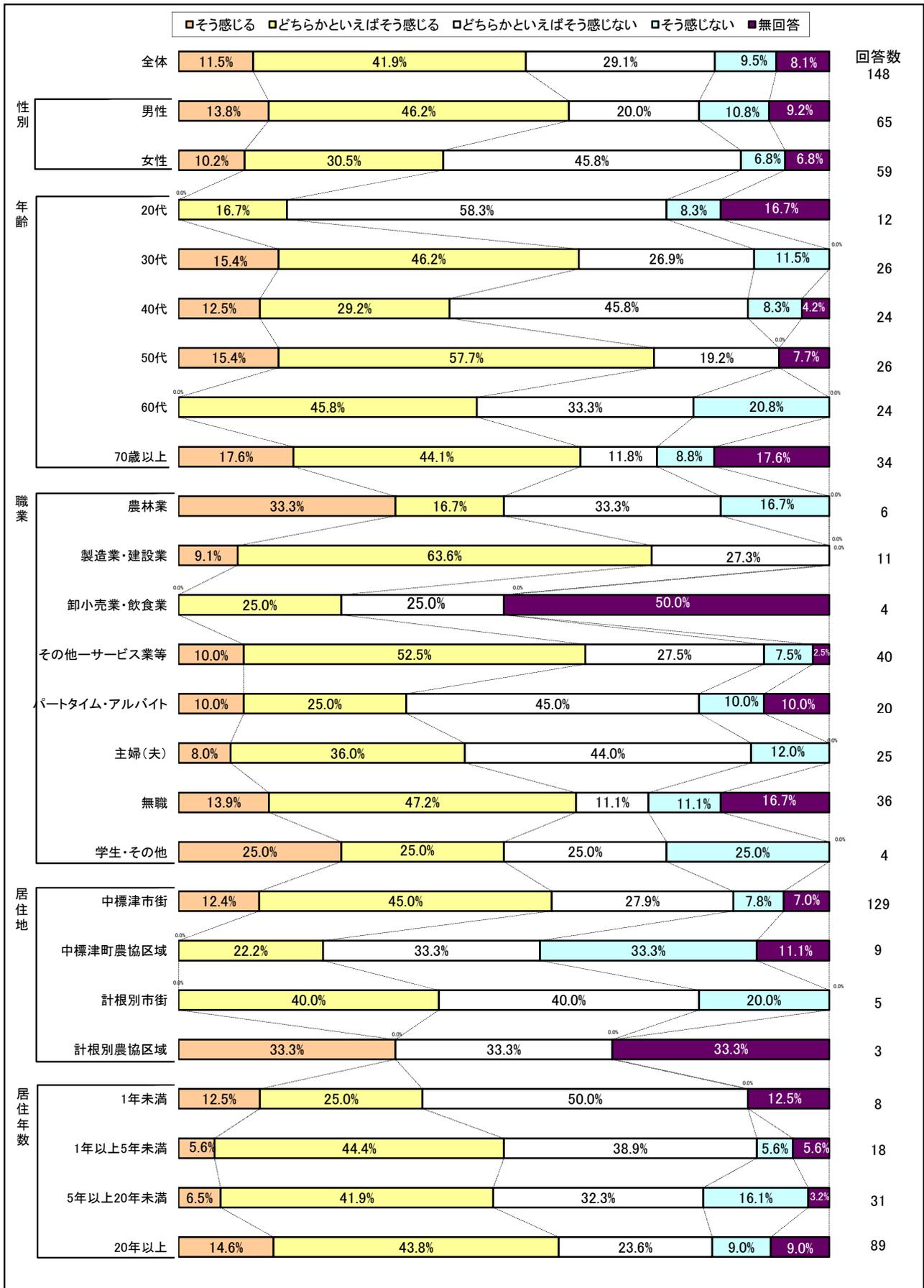


性別で“そう感じる”人をみると、男性（60.0%）が女性（40.7%）を19.3ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は50代の年齢層が73.1%と一番高く、20代では16.7%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では製造業・建設業（72.7%）、居住地では中標津市街（57.4%）、居住年数では20年以上（58.4%）などとなっています。【図表84参照】

図表84 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は98ページに掲載しています。

(2) 役場の窓口について

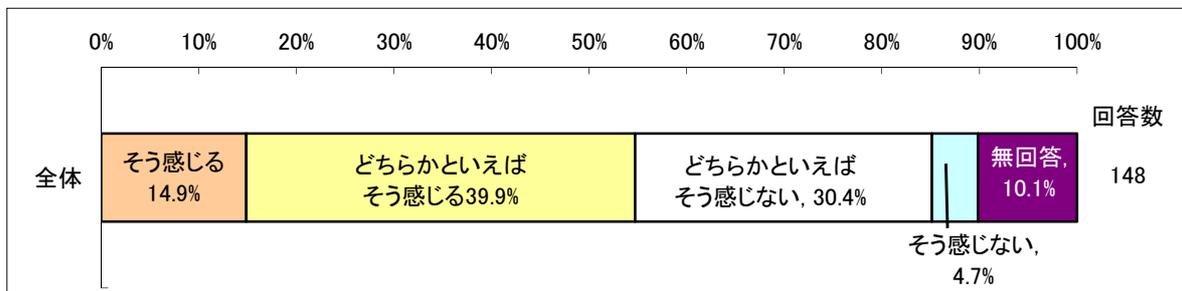
問61 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

● “そう感じる” が54.8%、“そう感じない” が35.1%。

役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じるかたすねたところ、「そう感じる」(14.9%)これに「どちらかといえばそう感じる」(39.9%)をあわせた“そう感じる”人は54.8%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(30.4%)及び「そう感じない」(4.7%)の合計）は35.1%となっています。[図表85参照]

図表85 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体）



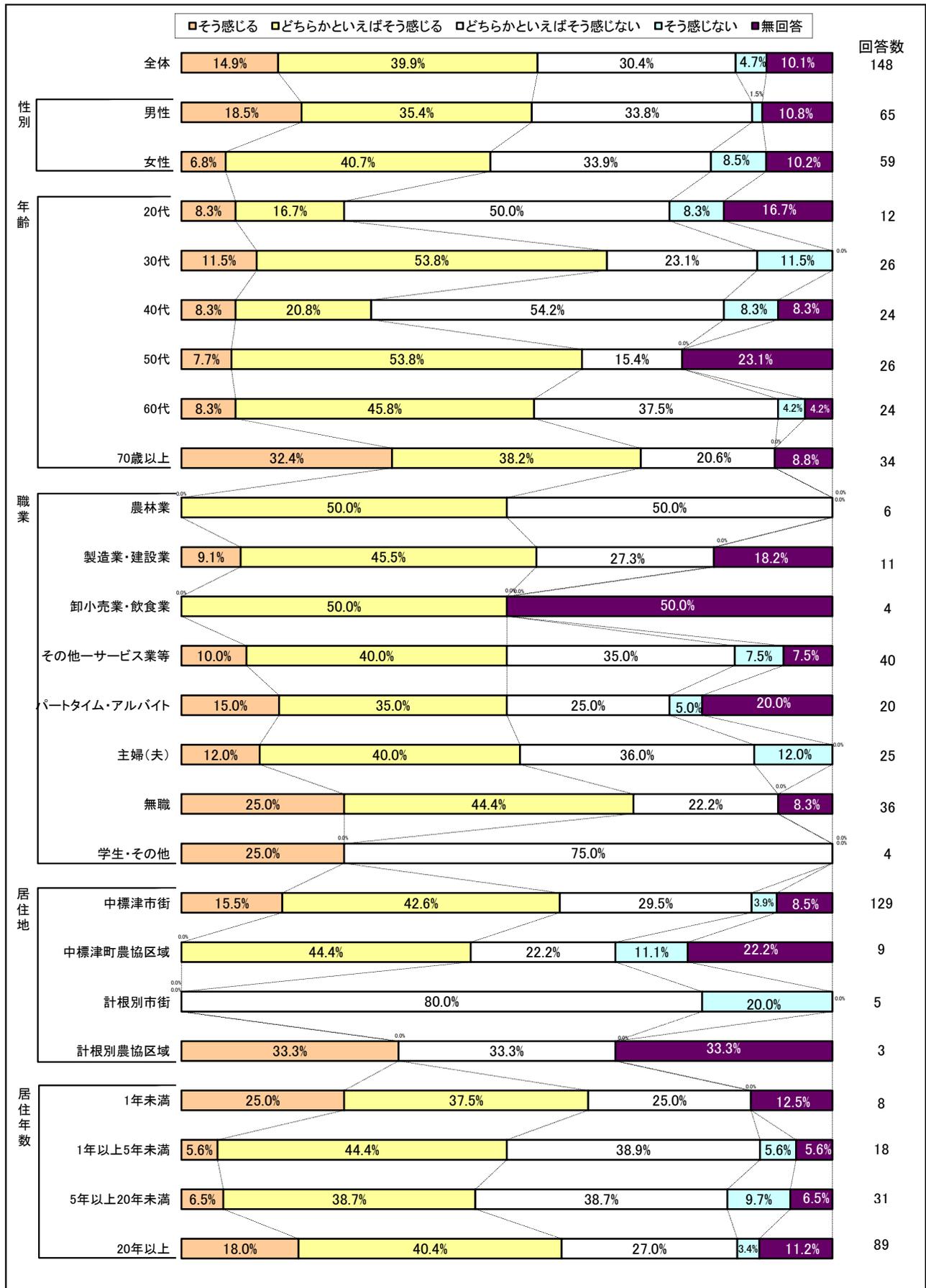
性別で“そう感じる”人をみると、男性（53.9%）が女性（47.5%）を6.4ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は70歳以上の年齢層が70.6%と一番高く、20代では25.0%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では無職（69.4%）居住地では中標津市街（58.1%）、居住年数では1年未満（62.5%）などとなっています。

[図表86参照]

図表86 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は98ページに掲載しています。

6 将来人口目標について

(1) 目標の達成に必要なこと

問62 第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成28年4月26日現在23,922人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●回答者66人、記入率44.6%、意見158件（記述式での回答）

目標達成に必要な取り組みについて、意見等を記入した人は66人で、回答者（148人）に対する記入率は44.6%でした。これらの記述された意見等を集約すると記入された意見は158件となっています。[図表87参照]

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表88～89参照]

図表87 目標達成に必要な取り組みについての記入状況（全体、年齢別）

	全体	年齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答者数	148	12	26	24	26	24	34	2
意見記入者数	66	5	14	14	15	10	8	0
記入率（%）	44.6%	41.7%	53.8%	58.3%	57.7%	41.7%	23.5%	0.0%
意見件数	158	10	41	32	42	23	10	0

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表88 目標達成に必要な取り組みについての分野別意見（全体、年齢別）

	全 体	年 齢							
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳	
全体	158	10	41	32	42	23	10	0	
	100%	6.3%	25.9%	20.3%	26.6%	14.6%	6.3%	0.0%	
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	33	3	7	10	4	7	2	0
		20.9%	30.0%	17.1%	31.3%	9.5%	30.4%	20.0%	
	健康・福祉・ 医療分野	50	2	12	11	18	5	2	0
		31.6%	20.0%	29.3%	34.4%	42.9%	21.7%	20.0%	
	経済・ 産業分野	50	2	13	8	14	8	5	0
		31.6%	20.0%	31.7%	25.0%	33.3%	34.8%	50.0%	
	生活基盤分野	20	3	7	2	6	1	1	0
		12.7%	30.0%	17.1%	6.3%	14.3%	4.3%	10.0%	
生活環境分野	3	0	2	1	0	0	0	0	
	1.9%	0.0%	4.9%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
教育・ 文化分野	2	0	0	0	0	2	0	0	
	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%		

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	行財政	住みたくなるような魅力的なまちづくり（飲食・アウトドア・地域振興）	9
		若者が定住しやすい町づくり（大学・専門学校卒業後に帰ってきやすい）	4
		臭気対策	3
		安心して生活できる町づくり	3
		良いところだという宣伝が不足している。	2
		現在の環境に甘えず、もっと危機感をもって取組むべきです。（不利な条件の町を取組を参考として）	2
		中標津町ならではの魅力が必要 道東の拠点都市というイメージ作り	1
		何故25,000人が必要なのですか？今のままでいいのではないですか？	1
		人口、3万をめざすべき	1
		酪農・商業を中心にした町づくりが基盤にあることは、自然環境を活かした最高のモデルであり今後も継続充実させて行く。	1
		4町の連携。	1
		ふるさと納税の推進	1
		国民健康保険税の軽減	1
		余っている土地の有効活用。	1
		男女の出会いにも力を入れ、結婚し定着させる。	1
人が増えれば税金が安くなるのですか？	1		
健康・福祉・ 医療分野	医療の充実	医療機関の充実	12
	高齢者施策	高齢者の住みやすい環境・まちづくり	2
		高齢者施設の充実	1
	子育て支援	子育て環境の充実	10
		子育て支援の充実（延長保育等）	6
		保育園の整備・充実	5
		医療費・保育料や高校の学費等の引下げや無償化	5
		保育士の給料を上げる	1
		女性が働きやすい環境の整備	2
		子育てにやさしいサービス（ベビーベッドやチャイルドシートのレンタル事業など）	1
地域福祉	各種福祉サービスの充実（介護施設等整備）	3	
	介護士の給料を上げる	1	
	障がい者が暮らしやすい町づくり	1	
経済・ 産業分野	農林業	農業後継者育成	3
	商工業	商業施設の充実	1
	観光	体験観光（牛乳にまつわる工場見学等）	1
		祭り・イベントの増加・充実	2
		観光施設（道の駅等）の充実	4
		町の魅力の積極的なアピール（ゆるキャラ作成や特産品）	2
	企業誘致	企業誘致（大学・専門学校・工場・飲食店・映画館・大型店など）	13
		エネルギー産業の創出	1
	雇用促進	働く場所の充実	13
		若者が働ける職場の確保	6
雇用の創出（食品製造工場や農業・商業以外の仕事）		4	

生活基盤分野	都市形成	若い人達が遊べる場所が必要	1
		映画館や専門店の充実	1
		若者が出店等に参入しやすい環境づくり	1
	移住対策	移住促進（補助・支援・短期移住体験）	6
	住宅	住環境整備（住宅整備等）	1
		転勤者向けの住宅の確保	1
		高すぎる家賃の費用負担軽減対策	4
	公共交通	都市部へのアクセスの整備	1
		バス路線の充実	1
	空港利用	飛行機の本数を増やす	1
情報化	町外からの転入者に対する情報提供	1	
	インターネットの活用促進	1	
生活環境分野	生活環境	緑にかこまれた都会を目指す。	1
		環境汚染をなくす。	1
	防犯対策	防犯灯の整備	1
教育・文化分野	教育の充実	教育の支援にもっと力を入れる	1
		農業高校の授業料と交通費の無料化	1

7 行政との関わりについて

(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの

問63 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

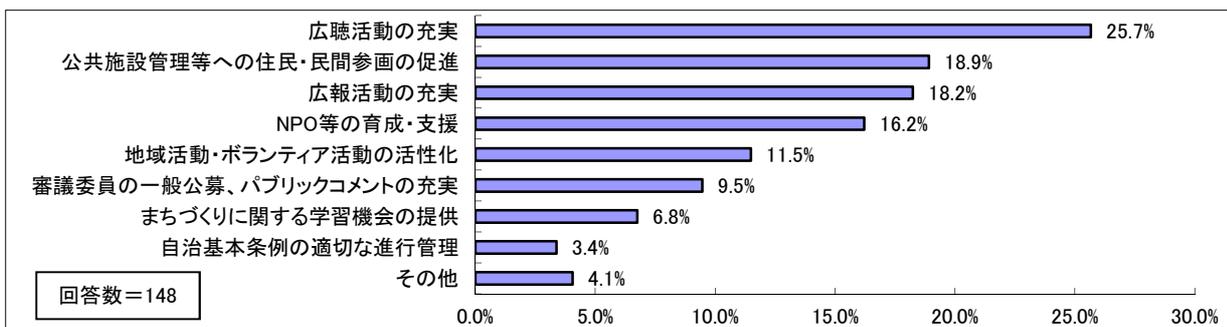


●「広聴活動の充実」が第1位。次いで「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」、「広報活動の充実」の順。

協働の推進について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「広聴活動の充実」(25.7%)が第1位に挙げられ、次いで「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」(18.9%)、「広報活動の充実」(18.2%)、「NPO等の育成・支援」(16.2%)、「地域活動・ボランティア活動の活性化」(11.5%)、などの順となっています。

年齢別では、20代は「広報活動の充実」が、他の年齢層では「広聴活動の充実」が第1位となっています。[図表90~91参照]

図表90 協働の推進に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表91 協働の推進に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
年 齢	20代	広報活動の充実	33.3	広聴活動の充実	16.7	まちづくりに関する学習機会の提供 (同率2位) 16.7				
	30代	広聴活動の充実	30.8	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	26.9	NPO等の育成・支援	19.2			
	40代	広聴活動の充実	25.0	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	16.7	同率複数のため省略				
	50代	広聴活動の充実	26.9	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	23.1	NPO等の育成・支援 (同率2位) 23.1				
	60代	広聴活動の充実	29.2	広報活動の充実	25	NPO等の育成・支援 (同率2位) 25.0				
	70歳以上	広聴活動の充実	23.5	広報活動の充実	20.6	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率2位) 20.6				
	居 住 地	中標津市街	広聴活動の充実	26.4	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	20.2	広報活動の充実	17.8		
中標津町農協区域		NPO等の育成・支援	33.3	広聴活動の充実	22.2	同率複数のため省略				
計根別市街		広聴活動の充実	40.0	同率複数のため省略		同率複数のため省略				
計根別農協区域		広報活動の充実	66.7	審議委員の一般公募、パブリックコメントの充実	33.3	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率2位) 33.3				

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

今回のようなアンケートも大変良いです。感謝しています。
このようなアンケート方式で住民の意見を聞く。
わかりやすさ（パブリックコメント等の表現を使わない）
世代別の会議、意見等の収集。
幼少期からの教育
町民参画、協働のまちづくりをする為に必要な事を行政がよく理解して実践すること。

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見

(1) 自由意見の記入状況

自由意見欄に意見等を記入した人は、47人で、回答者（148人）に対する記入率は、31.8%でありました。これらの自由記述された意見は69件となっています。

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表92～94参照]

図表92 自由意見の記入状況（全体、年齢別）

	全 体	年 齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答数	148	12	26	24	26	24	34	2
意見記入者	47	3	11	8	6	6	13	0
記入率（%）	31.8%	25.0%	42.3%	33.3%	23.1%	25.0%	38.2%	0.0%
意見件数	69	4	16	12	11	12	14	0

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表93 自由意見の分野別意見数（全体、年齢別）

	全 体	年 齢							
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳	
全体	69	4	16	12	11	12	14	0	
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—	
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	34	2	9	7	3	3	10	0
		49.3%	50.0%	56.3%	58.3%	27.3%	25.0%	71.4%	—
	健康・福祉・ 医療分野	18	1	2	1	5	6	3	0
		26.1%	25.0%	12.5%	8.3%	45.5%	50.0%	21.4%	—
	経済・ 産業分野	7	0	2	0	3	2	0	0
		10.1%	0.0%	12.5%	0.0%	27.3%	16.7%	0.0%	—
	生活基盤分野	6	1	0	3	0	1	1	0
		8.7%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	7.1%	—
生活環境分野	2	0	2	0	0	0	0	0	
	2.9%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	
教育・ 文化分野	2	0	1	1	0	0	0	0	
	2.9%	0.0%	6.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	

図表94 自由意見一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	情報提供・公開	防災を具体的に教えてほしい。台風の時、どうしたら良いのかわからず怖かった。メールなどで随時情報がくる仕組みがあれば安心。	1
		ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの活用が出来ていません。観光でも移住でも今はまずｲﾝﾀｰﾈｯﾄでその町を調べます。若い人目線で町HPを作って下さい	1
		転勤などでこちらにきた人達があつまれるような会やイベント等（サークル等）知り合う機会があればとも思います	1
		中標津町内の良いところをもっと町外にアピールすることが必要。町外の人は中標津町って？と思っている方も多い。	1
	行財政	町づくりの構想は20年・30年というスパンで練る必要があると思います。	1
		これから先も中標津町のさらなる発展に期待しております。	1
		中標津に来て8年。適度に栄えていて不便性もなくいい町だと思います。	1
		近隣の市町村はどんな取組をしているのが参考にしてどんどん良いものは真似て取り入れてください。	1
		近所の町有林が荒れており、もっとボランティアの力を借りて手入れをしてほしいです。	1
		若い人の力を信じて役場はもっと若い職員に色々アイデアや仕事をまかせてあげることが必要だと思います。	1
		町職員の意識改革	1
		土・日休みと言う習慣がなくなること（土・日になると除雪が遅い！町は土・日休みの人だけで足りたっているわけではない）	1
		今のまま安心して暮らすことが出来る町であってほしい	1
		権利要望の主張には必ず義務が生ずる事を知らせて欲しい（町民に）	1
		アンケート調査で分かった、やって欲しい取組や意見等を実際に行なっているか意見が反映されているかを明確にし、町民に伝わるようにして欲しい。	1
		良い街作りをお願いします。	1
		安心住みやすい環境の町にしてほしい。若い世代等の意見など、これからを担う人達を大切にしていける事も大事だと思う。	1
		良き中標津町に成る事を願います。	1
		地元で買い物意識していますかの問がありますが役場の方はハウスメーカーで家を建てていたり、行政に携わる方がまず意識した方が良い	1
		このアンケートの結果が、どういふされるのかわからない。	1
		南側一帯には役場支所も消防も御座いません。もし大きな地震により標津川の橋が落ちた時を考えて各支所を考えてはどうかと思っています。	1
		アンケートもだいたいマルはつけたものの、訳が分からないものが多い。やる必要があるのか？内容のわかるものをお願いしたい。	1
		中標津町は住み良いすばらしい町と感謝しております。農業、酪農、商工業が益々盛んな町でありますようお祈りしております。	1
		ふるさと納税	1
		中標津といえばコレ！と言える、誇れるものが欲しい。	1
		水道料金引き下げの努力をお願いします。	1
		今は不便はあまり感じないが町全体の印象はあまり無い。という中標津なのでもっと特色を出して欲しい。	1
		今でも住みやすいので町を活性化するには環境の良さと買物のしやすさ、病院、学校、あとは楽しい行事が多くある町が発展する。	1
	森林公園の使用、パークゴルフ、シーズン券が高すぎるので安くならないのかをお願いする。70才、80才	1	
	町民参画・協働	中標津の良さをいかせるよう、もっと人と人との結びつき。大きすぎず小さすぎない町なのだからそれを活かせる様な。	1
		内容についてピンとこないものが多かったです。自分の関心のなさを改善して中標津に役に立っていかうと再認識しました。	1
		町職員の方の町内会活動、ボランティア活動、少年団活動等減っているのではないのでしょうか。	1
		高齢者の有効活用～知識、技術等。	1
町内会に入会する人が減少しています。行政に携わる人達にも、特に若い世代60代以下に入会してもらいたいです。		1	
健康・福祉・ 医療分野	医療の充実	医療機関・スタッフ等体制の充実	5
		町立病院スタッフの意識改革（待遇など）	3
		町立病院の赤字経営と患者の減少はなぜ？町民が悪いのでしょうか！別海・標津町は午後からもやっていますので、やってもらいたいです。	1

分野	項目	意見集約	件数
健康・福祉・医療分野	高齢者施策	高齢者に優しいまちづくり（移動手段・除雪）	1
		高齢低所得者の対策	1
		後期高齢者の見守り等	1
		高齢者で運転免許返上したらとても不便になると思う。その策を考えて欲しい（例）タクシー回数券やバス利便性向上。	1
	子育て支援	地元の施設、病院で短期間でもみてもらえなく、面会も月3回しかいけない。お金がかかっても近くでみてもらいたい。	1
		子育てに関しては標準町は手厚くうらやましいと思っています。インフルエンザ予防接種の援助、おむつの提供等。	1
	障がい者施策	子育て支援の充実	1
	障がい者施策	小・中学校の養護学校が必要だと思います。	1
地域福祉	子供、妊婦、高齢者に福祉牛乳を配布してほしい。	1	
経済・産業分野	観光	開陽台までの道路沿いの桜の整備。開陽台を芝桜でうめつくし、シーズンに多くの観光客を呼べるようにする。	1
	企業誘致	町内の娯楽を増やして欲しい（ボウリング場やアミューズメントパーク等、映画）	1
	地域間交流	川崎市との交流の促進	1
		ロシアの地方都市との交流やアメリカ・中国・韓国との国際交流の推進	1
	空港利用	空港を活用した企業誘致及び雇用の促進	1
		もっと飛行機を多く利用したい。道外（大阪、九州）や道南（函館）。	1
生活基盤分野	道路	空港もあるのに冬には開陽台でスキー、ソリなどできるように。	1
		道路・歩道の補修等維持管理	1
		国道272号線を整備して明るく都会的な感じにしたらもっと人に立ち寄ってもらえるのではないか	1
		住宅街の道路の歩道整備	1
生活環境分野	冬期間の道路除雪等の管理	3	
	環境保全	犬のフンを持ち帰らない人がいました。カンバンなど対策をお願いします。	1
教育・文化分野	交通安全	東19条南6丁目の横断歩道は通学中の子どもが横断する時に、車が止まらず危ないです。手押し信号があったら嬉しいです。	1
	教育の充実	別海町で行なわれたスケート教室（3才〜）等小さいうちからスポーツ教室があれば良いなあと思います。	1
		進学した子供達が安心して学び続けられる給付型奨学金の充実を望みます。	1

IV 設問別記述

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

満足している理由
幼・保・小学校・中学校・高校の施設が整っている。
町民アンケートなど広く町民の声を聞く姿勢があること。
これからもっと充実していくと思う。
道路整備されている。空港がある。
都会はきれいですが不便はきれい。ちょう度よい。
近年では商業施設も増え、4か町村でも一番活気ある町に思える。
買い物が便利
住民参加のイベントが多い
自然を大切にしている感じがする
大きすぎず小さすぎず、ちょうど動きやすい町だと思います。
商業施設や町立病院もあり、安心して暮らせる。
住みやすい。利便性がいい。
自然が良い。自然が多いから。
生活に不足なし
教育環境も良いし福祉などにも力を入れているから
騒がしくなくて静か
医療費、教育費等、他町と比べるように頑張って欲しい
「まちづくり」のイメージがわからない
要望もある程度充実している。
体育館が新しくできた
コンパクトな街
道路がすいている。空港が近い。
人口等に見合った十分な施設があり、全体的に清潔なイメージがある。
一人暮らししているが周りの人は皆親切で感謝している。冬期などは自前の除雪機で家の前まで飛ばしてくれて頭が下がります。
自分の趣味の会で沢山のひと知り合えた。
町民の意見が反映されている町づくりを行なっているから
医療・買物・公共など車で10分前後で行ける。
子どもを育てやすい。買物しやすい(大抵のものは揃うので)
自然と調和している。地の利を活かしている。
空港もあるので中標津町は住みやすいと思います。
自分の家があるから
町民との絆作り
生活する環境は問題なく、日常の買物も便利で人口も増加している為、活気が感じられる為。
安心した生活が出来る。
50年も住んでいますので町内会、近所の人達に恵まれています。
今の所、不満は感じられない。
とても活気があるし、生活するうえで不便を感じないので。
酪農、畑作、商工業、安心の町
町が美しい環境だ。
活気があり住み易い
みらいるやゆめの森公園など子供が利用する施設が充実している。
生活基盤が整備されてきているので。
住みやすいということは住民の意見が取り入れてられている証明となる。その為満足している。
私は生まれは開陽であり、開陽の小学校・中学校を卒業したので、83年間中標津町の町民であり満足しております。
農業・商業が盛んで町の活気がある。
特に大きな不満がない

満足していない理由
公共交通機関の整備
町内バスが長崎屋より向こう側は運行していないし、金融機関が少ない
もっと町外にPRをしたほうが良いのでは。
近隣に比べて日常生活の環境に恵まれているせいか移住促進にも熱意が感じられず今後の中標津町が心配です。
無駄が多い
子育て、介護支援の分野 学力低下、子供の学ぶ環境づくり 介護支援施設の質、対応の不足
あらゆる年代に向けた取り組みとはいえない
医療、福祉が不足している 借家の金額が高い
除雪がなっていない
東武しか行く所がない
公園が少ない。大きいのが少なく小さいのがもっと細かくないと人が集まらないと思う。あと街灯が少ないと思うことが多い。
保育料がある。子どももまともに病院代がかかる
医療不足 JRがない 遊ぶ場所が無い スラリー臭い
道路を舗装してほしい。道路整備
ある程度満足していますが、まだ町外れに住む私共にとっては1番に道路を良くして頂きたい。
町立病院医療体制
情報量が少ない。
健康で安心して暮らせる町づくりをして欲しいと思います。
根室管内の中心的中標津町で有るべき町づくりに活発的な人材が見られない・・・行政。町民の皆さんの中から勢い必要。

別海町とかと比較するとめずらしい施設やイベント等が無い。
公園等の整備をもっと充実してほしい。
何をやっているかわからない。
教育・福祉が充実していない。他の町よりサービスが少ない。
新しい事にチャレンジしない、保守的。
ハコ物の数のたてかえが多すぎる。今あるものを大事に使ってほしい。
施設等の許可するのに現場を見ずに意見を言う。・野外イベント等が行える場所がほしい。
何をやっていてどんな効果があるのか肌で感じられないから。
役場、消防、色々な施設が川をはさんで片寄り、災害時にもし、橋が壊れたら町の方は施設がないため、連絡が？取れないと思う。
観光が少ない
まちづくりとして何をしているかわからない。
中標津の特徴が外部の人にアピールできていないところ。

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

そう感じる理由	
中標津の町で生まれ育った人々が町内での仕事についたり、商店の経営ができる「人の育成」が大切と思う。	
第6期中標津町総合発展計画に積極的な姿勢があること。	
町内会等と行政の連携	
町民の意見を取り入れる	
中標津町の人口が増加するような行政運営をお願いしたい	
割とこの様な計画立案があると思います。	
商工会と連携したイベントなどがある。	
町民の意見が取り入れられていると感じるから。	
説明会や懇談会など町民と行政が話し合える機会が多いから。	
行政は積極的に行動していると思うがあとはわからない。	
回覧板を通して何かと分かるような気がします。	
町としては全国・全道から注目されている町になっているから。	
広報で町の様子がよくわかる	
団体等の意見が優先されすぎている。・この様な意見交換の仕様が有れば。	
町内会や自治会がしっかりしているし、行政に問題があるようにも思えない。	
私達の選んだ町長や町議会の人達が一生懸命働いているので関心を持っている。	
自分のまちのことだから	

そう感じない理由	
現実に進んでいるのですか	
あまり行政が関わっていると知る機会がないため	
行政が主体（町民の意見があまり取り込まれていない気がする）	
町民と行政の意見交換の場が少ない。	
近隣の町に比べて将来に対する町づくりが出来ていないように思う。もっと行政主導で老人の力を使い子供に優しい町作りをしてほしい。	
町の委員会などの理解 認知度が低い	
行政の積極性の不足	
町民の関心があまり感じられない	
行事が土日に集中しているが必ずしも土日に休みが取れる人がいるわけではない	
行政だけが走っている	
たとえば「 」を協力していますよというじれいがあれば、答えられるが、今聞かれても分からない	
町民の意見が反映された話は聞いたことが無い	
公園などが汚い	
町民が参加していない様な気がする。	
自分自身が行政と協力した事が無い。	
勝手にやっているように思う。一部の人物が。	
興味が無いから	
年齢的な事で感じないのかもしれない。	
まちづくりの話し合いのチラシや回覧板が回ってくるが参加したくても時間がない。	
行政主導で決めている気がする。	
非常に難しい、もっと突込みで考える人材と実行力が・・・中標津町民がおとなしすぎ。	
行政が率先している風には時に感じない。	
具体例がうかばない	
除雪作業等	
具体的に今までに協力して成り立ったものを自分は見たことがない。	
何をやっているかわからない。	
将来構想の提案議論が乏しいを感じる。	
こうしてアンケートを書いています、この言葉がきちんと受け入れられているか疑問に思うから。	
関心をもつ時間がない。	
もう少し町全体に情報が欲しい。	
町内会等若い人達ほとんどいない。	
強制できない事だから仕方ないけれど、一部の人が自分たちだけで盛り上がっているのを大半の人間が冷静に見ているような距離感を感じているから。	
自分が協力しているという実感が無いため。	
町民が思っても予算がないとか、税金が上がるとかいったなにも。	
計画等が分かりにくいので。	

病院について不満。医師、看護師不足。
町議の人々のやりたい事が良く分からない。
何も見えない
具体的に活動などがわからないところ。

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由
大型店が多いのはよいが地域の商店が少ない。
生活に必要な施設がそろっているから。
そもそも中心市街地とは現在のどの辺りなのか？バイパス通りは便利だと思いますが。
空港が近くにある
新しい施設、商店がどんどん建っているから
どこに行くにもちょうど良い
病院や商業施設も集中していて便利。
車で用事が得るので。
根室管内では比較的買物できる場所も多く、JRはないが札幌までのバスもあり空港もあるから。
量販店がありスーパー、コンビニもある
生活に不足なし
必要だと思うものは買うことができるし、生活に不便さを感じないから
1点に買い物、病院、銀行、役場等が集まっている
バスがあるから
日々必要な用事が車で30分もあれば回れる範囲にあるから
減多に不自由することがありません。特に不便さを感じない。
商業施設が充実している。
必要なものは町内でそろう
交通の面で不便はないから（駐車場も）
元農家だったためか親しみがあり食品、灯油、資材その他農協にあるものは全部利用している。電化製品は別。
銀行やお店が充実しているから。
道路がよく整備されているから
車を利用しているので不便はない
大型店である程度、品物が一か所で買う事が出来る。
病院・店・公共施設など身近にある。
日常生活上整っていいと感じますが、シャッター街気になります。
大きなお店もあって、どんどん発展している感じ。
ある程度集中していて複数の選択肢があるから
生活環境が便利
マイカーがあるため移動しやすい。
ゆとりのある町並み
公共施設及び店舗に駐車場が大きいので便利である。
商店等集中しており良好な環境と思う。
文化会館、学校などコンパクトに配置されていて便利。
そう感じない理由
年々何かしら市街地がさびしい気がする。
公共施設、その他店舗が散在している。
別に便利と感じたことがないから
東地区に金融機関が無いので不便です
バイパス沿いに店舗が増えている分市街地が閑散とした
大型店舗が中心地外にあるので、中心市街地にはあまり行きません。
利用する価値の物が無い。
空地が多くなってきた
冬場は除雪が行き届いていないので片側分しか空いていなく車の行き来が出来ないところがかかりある
買い物や文化施設など近くにあるが医療機関が遠い
大型店が遠い
商店などの利用は車がないととても不便
郊外に商店が移行しているから
車がないとなにもできない
ドーナツ化現象
車で行かないと店と店の距離がある
利用する機会がない
交通の便が悪すぎる。バスの本数コースが少なすぎる。ゴミ収集してくれない。
特に何もないので
やはり中心地にだけ持っていかず、郊外にも持ってきてほしいと思います。
車等で移動しないと中心市街地には 商業集積された店舗 みたいにか所で用事がすまないから。
大型店など市街地と分かれている。
店がバラバラ
主に利用する建物等が無い。
公園を小さくても
便利な所が見当たらない。

年齢と共に運転がだめに成り、バスが本数が少なくて大変です。
 商店街が中心市街からはなれた。
 交通機関が少ない。店まで車で行かないといけない。
 というか、中心市街地がどこを指すのかもよく分かりません。
 昔に比べて中心市街地がズレた様な気がします。
 大型店を利用してます。便利ではない。
 買い物するところがバスに乗らないと行けないところ（公共交通の少なさ）
 大型郊外店が多く、車がないと不便 機能が分散している

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

そう感じる理由

家周りが維持管理されているから。
 今のままで良い。
 町内全体を見て綺麗だと感じる。
 学校や職場、町内会でのゴミ拾いのボランティアを行なっているから。
 草刈りなどを行っている
 桜を見に行った際、キレイでそう感じた
 道路沿いのお花や桜がきれいだから。草取りの作業をされている所を年に何度か見た事があるから。
 道路は補修されている。一部悪い部分もあるが、草刈りはまあまあ。側溝清掃も比較的良い。
 花や木の植えかえ草刈りを時期となると見かけるから
 町内の道路は除雪も早く、町内会活動のおかげもあり道路側の草刈りもされている。
 皆さんが一所懸命やっている花や草取りをしてくださって、ごくろさまと思っています。
 普段汚いと感じることがない
 夏場は管理されているが、冬場は除雪が行き届かないときがある
 きれいに整備されていると思う
 道路の草刈りは年1回なので2回くらいは行って欲しい
 イルミネーションや花などプランターで置いてあったり花壇を整備したりしてきれいです
 道路の清掃・草刈り・水まきが適正にはされていると思います。
 あまり見てなかったですが気にならないということはきれいです。
 標津川河川敷が整備されている。
 穴もない
 しているところを見かけるので。
 清掃員をよく見かけるから
 白樺の墓地公園とかは草もかられてきれい。標津川あたりはあまり・・・
 町内会で広く皆さんやってくれます。学生も！
 自分が利用する道路は整備されている
 車で移動ばかりなので、あまり気にして見ていませんがお花などキレイだと思います。
 冬期間の除雪。夏の草刈り、良い状況だと思います。
 町の道路が清掃されてきれいだと思います
 シルバーセンター等が定期的を実施している。
 きたないと感じた事はあまりないので。
 街路樹や四季の花すばらしい。
 河川の遊歩道の草刈りなど遅い時期もあるが、比較的良いと思う。
 他の市町村と比較しても良く管理されていると思う。
 中標津町の広い町ですけども、よく管理されていると思います。
 道路管理がしっかりしている。
 特に市街地の川沿いが最近きれいになった

そう感じない理由

場所によっては良い所もあるし悪い所もある。街の街路樹で一時停止箇所の見通しが悪い所がある。草・木等で信号が見えづらい
 車道・徒歩道路の整備がなされていない。大きい地震の対策が積み重ね整備されていない。
 アスファルトに穴が多い
 冬の除雪について特に感じる 細い道（特に住宅地）の除雪は殆どなされていない
 道路わきの雑草が車の見通しを危険にしている。
 清掃や草刈りなどもう少し回数をふやしていいのでは？
 枝道に入るとどこぼこやアスファルトがはがれていたりしている 除雪体制があまり良くない
 近隣の舗装化が遅すぎる
 遊歩道など整備されていない（痛んだままである）
 道路にゴミが多い
 側溝から草が生えている 道路の小道がいつまで立っても舗装されずガタガタのまま
 側溝は結構危ない 歩道のアスファルトがガタガタだし
 清掃不十分
 住民が協力的でない
 郊外は全然してない。
 まだ危険箇所があるから。
 道路に落し物があるから。
 町の中はそれなりに整備されていると思うが、町外になると整備されていない。
 まだまだ町中でも草刈りなど充実していない、清掃も町内歩いて中標津町内きれいとは言えない。
 歩道が歩きづらいところがある（ベビーカーなどでこぼこが目立つ）

側溝にゴミ等捨ててある
丸山公園あたりの散歩できる道が子供に歩きづらいしベビーカーで押しづらい。
まだまだ住宅街の道路状況が良くない。
川周辺
現実的に側溝清掃など追いついていない。
市街地以外の町道の草刈りが夏1回くらいしかされない。
動物(犬)のウンチが多い。
老舗が多い。活気がない。街中でのイベントが殆ど無い。
道路はこまめに修理されていると感じるが、川はキレイにしてある所とポーポーになっているところに差がありすぎるため。
町営プールからの道路へ出る時、見通しが悪い。
郊外の歩道の草刈がなかなかされず雑草が目立つ。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

満足している理由	
歩いて10分以内に公園、図書館などがあること。	
今のままで良い。	
公園だけでなく学校等にも緑が多い。	
緑は多く感じられる	
木があるから	
町内会などの協力を得ている	
森林公園やゆめの森公園を散歩していて緑が多いと感じる。ゆめの森は花壇もキレイ	
公園など、自然を考えていると思う	
家からはいつも緑を見る事ができます。	
市街地にも適度に緑がある。	
きれいにされている。	
おおむね満足しているが旧線路あとの利用が残念。ウォーキングコースとしてももう少し手入れやいいこの場所として活用してほしい。	
大小の公園、ゆめの森や森林公園があるから。	
街路樹や公園、家周辺で花や木を見る機会が多いと感じるため	
ゆめの森やパークゴルフが良い	
白樺より緑がもう少しあってもよいと思います。町のシンボルだからいいですね。	
桜が綺麗に咲いているので	
管理されていると思います。	
広々とした台地を見る事ができるから	
自然豊かであると感じるから	
きれいにきていると思う。たまに樹木で見づらい所もある。	
町の中に自然が多く見られるから	
道路の縁石の草が気になります。お店によっては自分の目の草は自分経ちで処理している。	
シルバー人材センターの皆さんがんばってやってくれてるのをよくみかけます。	
四季の木々がキレイだ。もっと実のなる樹木等も植えてほしい。	
自然公園など整備されていると思うが空地、空家など周辺など雑草などがある。	
緑の多い街だと感じます。ポイ捨てゴミが気になる事あります。	
歩いて見て樹木の多い事に気付きました。	
町内会等で花を植えている。	
建物が多くなってきているので、こんなもんかと思う。	
必要以上に撤去していないところ。	
現状で特に不満(不快感)は感じません。	
季節と共に家の周辺、公園掃除されているようです。	
緑が沢山あって良い。	
鳥や虫の音が良く聞こえます。今のままで良いです。	
広い自然が美しい。	
道路脇の草花の手入れはいきとどいていると思う。	
さくら他花々が咲き満足しております	
歩道に植物を植えるのは良いと思う。運転の邪魔になるほど丈を伸ばさない様管理してほしい。	
自然が充分にある。緑は充分ある。	
町内会等でも整備しているように思う。	
公園などはきれいに整備されておりとても良いと思うし、家周辺もきれいである。	
広い町の中ですから、よく管理されていると思います。	
道路に桜の木やツツジがあるので道路はきれいです。	
近所の人々が自分の家の周囲をきれいにしているから。	
公園近くに住んでいるので緑には満足している。	
家の近くの公園は整備されていると思います。	
満足していない理由	
トイレ等がきたない。	
緑の町づくりをもっと活発にするべきだ。	
公園が遠い	
自分の家の周辺に緑の関係のものが無い	
河川周辺をもっと整備すればと思う 外の地域は緑がきれい	
緑があるからいいわけではなく整備されていなければ意味が無い	

自然はあるが病院のそば（駐車場）のわき、バイパス病院通は雑草だらけ
公園少ないし自然はもう少し（町の中心のは）手入れすべきと思う
ドクターヘリが来ると枯れ葉が家の前につもるので掃除が大変です。
緑が維持されていない。
緑というより森林が少ない。
公園が少ない
やっぱり木が少ないと思う。
公住の公園の管理
土地所有者への指導や要請が少ない。
雪どけ後ものすごくゴミが目立つ。
街路樹に経費を無駄な使い方をしている。冬期エンカルのまいているため樹木がかれる。
あまり緑がない。
樹木の管理が悪い。植えれば植えっぱなし。
自然保護のための策が講じられていない

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができますか。

そう感じる理由	
近くにバスセンターがあり、必要が満たされている。	
年をとると利用が増えると思う。	
札幌に行くのが便利 釧路間の本数がもう少しあると良い	
唯一の公共交通機関なので	
老後は必要	
いい時間の感覚だと思います。学生の頃よく利用しました。	
便利	
今のところ自分の車があるから	
清掃が行き届いている	
今は車で移動しているが近間にバス停がある。	
利用しないのでわかりませんが、小・中学校の通学の際の丁度良い時間帯のバスがなくなったと聞いて不便だという声は聞きました。	
車をはなしたら、バスを利用する。定期便があるので良いと思う。	
バス運行など良い。	
大型店や病院だとか便利な場所にバスが停まる。	
現在は利用してないが、将来は必要を感じているので、今まで以上の充実を望む。	
高校生も利用して助かります。	
子供が通学でバスを利用するよになり助かっています。	
私は自分の車で走っておりますが、車の運転ができない人は、便利に感じております。	
安い料金で自分の好きな所に行けるから。	
近間にある	
バスを利用した事ないが周りの人が便利と言っている。	
そう感じない理由	
バスの運行状況がよく解らない。路線等かわかりにくい	
近所に町内循環線が通っていない。	
便が少ない。路線が少ない。バス停遠い。停留所の数が少ない。いけるところが少ない	
乗ったことがない。人が乗っていないことが多いと思う。バスをやめてタクシー代に補助金出してはどうですか。？	
町内バスが長崎屋より東側に走っていないので不便です	
バス代が高い。	
釧路行きバスは利用者が少ないためか本数が少ない。特に土日は（年に何回かしか乗らないが）	
市街地外の生活で車の免許がなくなった時の足として心配している。	
近くの停留所が廃止された	
1度も利用したことがない時間に1本しか走っていないのに便利とはいえない	
車の運転ができないと生活していけない 公共交通が不足している	
人口が少ないのでバスがあまり来ない	
バスは全然使えない。便数少ないし停留所が分かりにくい。使ってみたいけど怖くて使えない	
川西のほうのバスが少ない	
公共交通の時間や範囲がせますぎる	
まこと団地に住むものにとって、やはりバスは大きな交通便だと思います。まこと団地へもう一歩踏み込んでバス路線を延ばしてほしい。	
利用している人の話では不便（時間と路線）	
バスの停留所に建物や町内に殆ど無い。寒い冬期間設備が無い。町内を回っているバスが以前より時間帯が不便になった。	
バス利用している人は少ない。	
バスが少なすぎ。といってもこれはどうすることもできない。	
一部のみバス交通	
商業地経由を増やしてほしい。	
1日3便しかないし、時間もものすごい早朝とか夕方以降はないとか利用するのも難しい。	
もっと増やしてほしい。	
便利かと言えば、やはり本数が少ないので、とても便利だとは言えないのでは？	
釧路に行く本数も増やしてほしい。	
バスよりJRを利用する事が多い（札幌等行く場合）	
運転免許返上したとき不安を感じております（バスの便がないところなので）	
他町からだと公共交通は不便だと思う。（便数など）	

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

満足している理由
東京便1つと札幌便3つは本当に役に立つ。小さい規模でもいいから食堂の設置は必要。午前中にいけるよう羽田便をもう1本増やして欲しい
こんな小さな町なのにありがたい。
更に増便して欲しい
市街地から近く千歳行3便、羽田行1便があり便利。時々利用している。
札幌便も多いし東京便も便利です。時々見る臨時便も楽しいです。
とても良いと思う
それなりに便利である
のりやすいです。
地方空港としては駐車場も無料で良いと思う。
東京便が有る限り良いと思います。FDAも良い。
自分の町に空港があるから
便数、行先(たまに海外など)満足しています。
人口に応じた飛行場だと思う。ある事によって便利で安心できる。
札幌に行ったり出来るし両親の出身地が本州なので里帰りするのに便利だから。
東京直行便もありますし千歳に出れば全国・海外どこでも行けます。空港が街から近い。
丘珠行きも何便かあると良い。
すいてて良い。
言う事なし、利便性は高い。
車で15分で着くのはすごい
利便性は満足していますがもっと空港の建物の活用を考えて活かしたらよいと思います
札幌丘珠空港便の復活が出来れば。羽田便の夜便があればうれしい。
連絡バスがある
町に空港があるだけで、とても便利である。
札幌、東京で直行便があり便利。但し料金が高い。
1度しか利用したことがないけれど便利だと感じます。
時間的に良い

満足していない理由
羽田、札幌だけでなく、関西、大阪方面への空路をぜひ検討していただきたい。
空港自体が郊外にあり、利用する機会がない。
よその空港との直行便を増やしてほしい。
近いのは良いと思うが空港内の施設が充実していない(レストラン・待合所)
もう少し利便性を考える。東京行きの便数が少ない。早い便が欲しい。料金が高すぎ。
発着時刻が中途半端で外の空港を利用してしまふから
便数や会社が少ない。飛行機が狭い。午前中の便がない
緊急時の対応
東京までの便が少ないので、旅行するにあたって1日丸々移動になってしまう。(時間帯が良くない。)
札幌の丘珠空港行きがあったらいいと思う。便利
あまり利用する事がないのでわからない。LCCがあれば利用する。
高すぎる。

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

そう感じる理由
水質が清潔でよい。
特に不便さは感じていない。
今のままで良い。
普通に飲むことが出来るから
水の心配がない
困ったことはない。でも水道水の水質や成分は知りたい。
道内色々転動してきましたが、中標津の水はおいしいです。
中標津町の生水は安心して飲める。
飲料、料理は味が気になるので浄水器を使っている
常に綺麗な水が出ているから。
不足したこともない 上水道は充実していると思う
困った事はないし水美味しく飲める
何不自由なく暮らしています。
自分のところは井戸水を使っている
特に問題なく利用できている為。
特に不便さは感じていない。
特に水洗トイレ
特別に事故もなく水を使わせてもらっている。
大地震以外止まった事がない。
町外・道外からの人達が中標津の水が美味しいと言う。
中標津町内の水道の水が冷たく、味も満足出来ます。他の町村の水よりおいしいので自慢出来る。
断水などがない
年中快適に利用させてもらってます。

他市町からこられる方は皆さん中標津の水はおいしいと言われます。
常時水道水が使用できる。
ちゃんと供給されている。
水不足の経験もなく飲み水として不安はありません。
水がカルキの味がしないのが良いです。
水は使っていて変な味などしないところ。
そう感じない理由
凍結が心配
町の中にあるのは、どうかと思う。
下水道料金高額。

問15 墓地の施設に満足していますか。

満足している理由
墓地の施設が静かなところにあるから。
今のままで良い。
空き墓地が多い
近くにあるため
いつもきれいに草など刈っていて満足している。
市街地にある
トイレなどきれいにしてある
不便なし
問題ないと思うから
特に第2墓地は近くに住宅もなく、新しくきれい。
お墓の花を下げてくださいたり環境整備もきれいにされてて。
街から近い所にある。キレイ。
お盆には草刈りなど、きれいにやっていただいています。
草刈りもなされている。水道の設備もある。
できれば両親の近くに造りたいと思いますが、第一は一杯です（分家）今後共同墓地、合同墓地など検討していただきたい。
常時管理されている。
早くに作ったので安心致してます。
利用した事が無いが、遠目に見る限り整った外観を維持していると思うので。
第2墓地の施設で今のところ満足しているが、土地は買っておいたほうがよいと思います。
墓地の数がわりと多い
満足していない理由
整地・除草が手入れ不足。
駐車場と通路が狭い。
市街地の中になってきている。
これから先のことが心配（何十年後）
墓地内の道路を整備してほしいです。（道幅を広げたり、車が走行しやすくしてほしいです。）
市街地にあるお墓の周囲に並木があると良いと思う。
最近では住宅街が広がり、住宅街の中に墓地が見えるようになっている。
もう少し墓と墓の区分けをしっかりとしてほしい。
町内に墓地が有るので都合が良いが墓地の並びや墓の向きがみんな揃っていない。関心しない。
樹木葬など増やしてほしい
道路が悪い。駐車場が無い。
もう少し整備してほしい。
永大供養の墓か施設をたててほしい。

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

そう感じる理由
市街地の中心部は密度が少ないのがよい。
生活に必要な施設がそろっているから。
持家が多いので
夜静かで明るい
同世代の子育て世帯が多いから
静かで良いが、舗装されていないので道路がすぐに穴があいたりガタガタになる
住むことに関しては不自由は今の立場からみて無い
廃屋も比較的少ない。空き家が少ない
家の周りに緑が多く散歩していても気持ちが良いしスーパーも充実していて暮らしやすい。
しずかなので安心して暮らせるので。
今のままで満足しているから
自然が多い
それなりに整っている
静かで落ち着いている。でも子どももけっこう住んでいたり、いろいろな世代の家庭が混ざってよい
近所の人達がいい人
交通量が多いので安心感がある
必要なものがそろっている
不便さを感じないから

長く住んでいるので
大型店が近くにある。病院が近くにある。
冬の除雪が早い。
安全・安心に住んでいます。
騒音が少ない。
夜は少し暗すぎるが、うるさくないから。
住宅街で近くにショッピングセンター等、病院もある。
不快に感じたことがない。
ゴミステーションが今まであみだったので、中標津はカラスにつつかれない工夫が完璧です。
危険を感じる事は特にないので。しいて言えば、少しだけある砂利道を簡易舗装してほしいのと、1部暗い場所があるので街灯がほしいです。
よくわからないが、桜の風景がキレイなため。
家と家の間隔が離れていて良好
断水も停電も騒音も減多にない上緑が多いから。
道路や施設も比較的整備されていると思う。
空港、医療、買物、周辺の自然環境がよい。
役場、学校、プールなど近くで便利。三叉路からの並木が美しい。
住んでさわがしいことがあまりないので、おちついてと思います。
計根別市街はコンパクトで学校も近い

そう感じない理由

民家が少なく、郊外。
空き家ばかりで景観が悪い
家の前の道路が舗装されていない為、ほこりがすく、外に洗濯物が干せない。
町道の舗装が整っていない。
土地、家賃が高い
車が多くて押しボタンも無く渡れない
近所の子どもが交通ルールを守っていない
舗装道路（歩道）がいたんだままで整備されていない
町に行かなければ揃わない物等があるから。
少し古いところがあり整備は途中までなので
夏は良いのですが、冬の除雪が悪いと思います。排雪もされないのです。
各家が道路相違でない。やはり道路揃っている方が町並みきれいで良い。
場所により凹が有り、各家により高さがことなる。
家の前の町道が砂利道で天気が悪いと道路がポコポコになり車がこわれやすい。除雪も昔より来てくれるようになりましたが不便です。
西泉は、西10条から西14条まで歩道をつけてほしい。冬子供達学校へ行くのに、車と接近して苦労している。

問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由

知りたい情報が得られているから。
不便を感じないので。
広報などで知ることが出来ている。
損をしている感じはしないが、自分が夫の扶養に入り手続後、1ヶ月遅れで年金変更の手続案内が来て混乱した
広報など知りたいことがわかりやすい。
町の情報誌等に記載しているから。
ハガキが送られてくるので。
聞けば丁寧に教えて下さいます。
今のところ通知や問合わせで間に合ってる。
健康保険の更新時に必ず案内が有ります。年金も老齢基礎年金を戴いております。
詳しい金額等知りたい。
健康保険、年金でこまった事がないので。
医療事務の情報など、聞けば親切に教えてくれる。
情報は発信されているのだとは思いますが、内容が難しく理解しづらい。
病院にお世話になった時。
窓口があるから。
「年金相談」の日がある。健保は役場窓口で教えてもらえる。
情報は得られている。

そう感じない理由

問い合わせ先が分からない。
自分が関心がなく、とくに知りたいと思ってないから。
聞かなきゃ教えてもらえないし何を聞くべきかわからない。
制度が複雑で解りにくい。
町のHPがとても貧弱である。他市町村と比べて情報も非常に少なくとても不便に感じています。
必要だと感じることはない。
役場の人に威圧感を感じるのであまり行きたくない。
情報が不足している。
信用できない。
わかってないので自分から調べます。
判りにくい。
必要な情報は自分で調べている。

封書が届きますが、わかりづらいので意味がない。
インターネットで探しても、きちんと欲しい情報が出てこない。
知りたい情報はネットを利用して自分で調べているから。
制度自体まだよくわからないため。
自分自身が年金制度等に関してまだ興味がないのでわからないが、情報提供等があれば知りたい。
文字の羅列は読む気をなくす。簡易案内を全戸配布してほしいとたまに思ってしまう。
わからない情報は役場で聞くと良いのですか。
知りたい情報が分かり難い。
現段階で知りたい情報は無い為。そもそも情報を得る必要が今はない為。
情報が分からない。
新聞etcで知ることが多い。

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

そう感じる理由
お店で身近な農畜産物が手に入るから。
キノコの町とイメージ。しいたけとかよく買うから。
農家に手伝いに行っているから。
スーパーに並んだ野菜や牛乳をたまに購入する。
食べているから。
買物に行った時に中標津産と明記されている物が多くある。
飲食店でうたわれている ラジオやSNSなどでの情報がある。
農協の野菜 花の苗造りをお手伝いし収穫に協力している。
農業の町なので。
なるべく地元のものを買うようにしているから。
スーパーで見かけたり飲食店で使用されている。
酪農、畑作があるので。
祭りなどでもあるしパンフレットも置いている。
地産地消を意識するようになってから〇〇産は特に気にするようになった。
見かけたり、メディア目や耳にする機会がある。
JAの工場があるから。
地場産の野菜がうまい。
自身が酪農しており加工場も使っているから。
なるべく地産地消を心がけています。
牛乳よくみます。卵も、肉は給食でシカ出ました。
何時でも入手できる。
いろいろな店で見かける。
夫がその関連の仕事をしているため。
ソフトクリームやハム・ベーコン・ソーセージ・ミートローフがあるから。
何といても基幹産業の畜産が大事と考える。
道外に送ることが多いので。
牛乳・しいたけ・野菜他が中標津産がある。
中標津の牛乳、ジャガ芋、我が国で最も優れています。大いに宣伝力を生かして売り込んでください。
感じるし美味しいので、買いたいが高いので難しい。
欲しい時は自由に購入できています。
スーパーなどでもポップ等でよく見かけるから。
購入、消費している。
品物に記入されている。
農民であり、自分で作り、それを食しているため。
牛乳が美味しすぎて安く入る。
昔より感じられなくなった。特に乳製品。
地元の農畜産物を食べるようにしている。安心して食べられるから。
地元産の生乳を使ったチーズ、ヨーグルト、アイスクリーム、牛乳などの加工品が最近増えてきた。
店に行けばまあまあ品物がおいである。
なるべく地産地消に心掛けています。
中標津産のチーズ、野菜を頻回に食べている。
中標津にきて、しいたけなどの特産品があるのを初めて知ったため普段も購入している。
農高製品が売られていたり、まるごと給食の話子どもから聞いたりする
そう感じない理由
(例) ほたて味チーズ札幌では手に入るのに中標津では手に入らない。
店で売っていても別の安い方を買ってしまう。
特産物がない 生産者がわからない
道の駅もなく地元の製品を売っているお店が少なすぎる。
出回っていない
もっとブランド化したほうが良いと思う 「これ！」という特産品がない お土産に困る
値段が高いため購入しない。
他と比べればまだまだ少ないと思うから。
あまり見かけないから
種類・量が少ない。値段が高い。

乳製品以外目玉となる物が少ないように感じる。
乳製品など地元産の購入が単価などのせいで買づらい。
中標津産の農畜産物を食べていない。
野菜以外は値段が高い。
あまり牛乳が好きでないため。
即座に出てくるものがゴータチーズくらいしかない。
余り地元の農畜産物がない。

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

満足している理由
しるべつとを中心にイベントが増えたと思う。
不満がないので
小さな町にはイベントが多くて満足
開陽台、養老牛温泉、空港があるが、その他に酪農関連の観光資源があると良いと思う。体験型牧場とか。
今の場所は子供たちも自由に遊びまわることが出来て良いと思う。
娯楽が少ないのでイベントがたくさんあるとうれしい
イベントに参加させてもらい楽しいです。
祭りも楽しいです。
現状で特に悪いと感じないから。
自分の好きな食べ物の食堂がある。
何かとしるべつとにて行事が行なわれているので。
最近チーズフェスタ等地元産を意識したイベントが開催されている。
よくとりくんでいると思う。
地域的に人の集まりがしやすい。
おいしいものが多いと思う。
温泉等が有り満足。
景観は美しいと思います。
町民のほとんどが参加していて、とっても楽しかったです。
開陽台
更に食のイベントなどがあると良いと思う。
町内会の皆様が集まって顔をあわせることに満足している。
温泉が近くにある事。
興味をひくイベントがある
満足していない理由
町の中心部に住んでるが牛舎のにおいがする。
更に中標津空港の利便性を柱にした戦略的なビジョンと具現化が必要。
観光のいい場所がない
中標津って何が有名なのですか？って聞かれたらなんて応えていいかわからない。何が美味しいですか？ってきかれても答えようがない
イベントについては力を入れて欲しいと思う
目玉商品、イベントが無い
中標津町のゆるかわマスコットを作してほしいです。
とにかく道の駅など地元の製品をアピールする場所が必要と思う。白糠のカミパラなどを参考にすべき。
意外と無い
どれも中途半端
資源が無い
祭りもマンネリ化しているのでは ちょうちんと出店というパターン
意外と手土産がない ナマモノとかが多い
年々お祭りなどの出店が少なくなっている
お祭りしょぼい 焼肉多すぎ 中標津の売りって何か分からない
イベントが毎年同じでマンネリでつまらない。工夫がない
まちの特色に合ったイベントをもう少し盛大にやっていたいと思う
隣の別海町に負けている感じがする。もっとアピールできるのでは。
定着してしまっているのでは？
観光地の施設や整備が充実していない。（開陽台など）
食にインパクトがたりない。
外部から人を呼べるイベントが少ない。
行きたいと思うイベントが少ない。
もっと力を入れていいのではと思う。
名産品なし
中標津町に遊びに来た方を連れて行く居酒屋等で魚・野菜・乳製品を一度に食べられる所がない。
買物に行きたいと思う所がないため。
他の市町村を参考にしてみたい。
地元の人達が観光地へ足を運ばない。地元の人達が観光地へ行く理由が無い。色々なイベントが行なえば良い。
観光資源？ゆめの森公園でしょうか。
食事をする所、観光する見所が足りない。
イベントも変化してきているので工夫して欲しい。
格子状防風林など開陽台の景観のアピール不足。・フットバスと格子状防風林の下などのホーストレッキングコースの設定のような体験型観光の打ち出し。
観光資源が少ない。

中標津町の特産品、核となるものの開発とアピールが少し足りないように思います。(外部の方は知らない方も多い)

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

満足している理由
働く若者を増やしてほしい。
不満を感じていないだけ、今の仕事が無くなったらどうなるかわからない。
失業者等が少ない
中標津町の雇用は充分あると思うから。
年間を通して広報されていると思います。
ハローワークに行っても求人は沢山ある。
障害者のための一般の仕事場が出来た事。
仕事が充実しているから
売り手市場になっている。近年高校の就職率が高い。
近くに大きな工場があるなど、雇用環境はよさそうだと思うから。
酪農ヘルパー、人材センター
通年雇用を各企業が努力しているように感じる。
パートとして勤めている。
満足していない理由
公務員が一番安定しているでは困ります。安定した雇用の場を。
中学・高校生の都市就職。
人口減時代にあって雇用促進、企業誘致が必要。
直接的な雇用対策が感じられない。
資格がないとダメ、経験者でないとダメがほとんど。
チェーン店などが出店してきているが人口があまり増えていない（成長していない）
転職が出来ない。
温泉を利用した地熱発電で野菜果物の温室栽培するとか、福祉施設や介護施設など併設した雇用対策できないか。冬季の雇用対策など。
若い人が継続して安定的な収入を得られる仕事が少ない。
子育てしながら働く環境づくりの不足。
職場が少ない。企業が少ない。
どのようにしているのかわからないため。
時給が少なすぎ。給料安い・老後不安。
若い人の雇用が少ないのでは。
他と比べまだ体制が整っていないと思うから。
町自体が障がい者をもっと雇用すべきなのは？
保障や賃金。
健康な高齢者も働ける所。
高齢者に対する雇用の充実。
年齢で雇用左右される。高齢になると仕事が無い。
雇用PRを
働く場所がない。
人材が居ない。
求人は増えたが専門職が多い。
希望する雇用（求人）がなかなかないところ（事務系）

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

満足している理由
良いと思うから。
医療は充実。高齢者向け予防医療の促進あるともっと良いと高齢者のボランティア活動何かあると良い。
地方としては努力されている。
町立病院で神経の薬を貰う手続きをする事が出来るようになった。
身近にある。
広報活動など。
ある程度の体制はできているが、もっと良くなればとさらに思う。
救急の場合、対応が早い。
医師・看護師の確保が難しい中で、充実を求めてもしかたないし、金銭面でも都会のようにならないので、そこまで求めてないから、満足していると答えました。
急患の診察、救急車。
町立病院もあり、良好と思う。また、ドクターヘリも対応していると思う。
救急な患者がでた時釧路や札幌の大きな病院へ、ヘリコプターで輸送できるようになったので、どちらかといえば満足している。
程々に医療・福祉施設があるから。
だいたい町立病院で診てもらえる
満足していない理由
患者の希望より病院の都合が優先する。
高齢者医療に対して特に釧路まで行かずに中標津町立病院で対処できるように整備が必要だから。
お医者さん定住してほしい
全体的に町内の医師が不足しているように感じる。
町立病院ではやっていない科などもあり、釧路など遠方に行かないとダメだから
最近町立病院は出張医ばかりで安定していない。近隣の町と医者を集約していけないのだろうか？
医師、看護師の不足。医療、介護連携の充実。

地域医療体制は不十分であると思われるため。災害時医療体制がどのようになっていのか知らないため。
診てもらいにくい科（眼科とか）が多い。
子どもも大人と同じ医療費、標準などはタダなのに。
病気が重いとこの町では対処できない時があるのでは。
病院は無い科が多すぎ。
診療時間が短い休日に診てもらえる病院がない。
高齢者の一人として歩くことが大事と散歩を心がけているが杖をたよりに。どこかベンチがないかと。
高齢化に医療が追いついていないのでは？
専門医が常勤でないこと。
受診する科がなくなったりした。
一番たよりになる町立病院にも科目の医師が居なくなって不自由を感じているところです。是非町民安心して病院にかかれるよう願います。
心療科医師不足。
診察時間が掛かりすぎる。←→医師不足
平日しか眼科がやっておらず、コンタクトレンズが買えなかった。（結局釧路まで買いに行く事になった。）
土日診てもらえるところが少ない。
ひ尿科がない。
しっかりやってほしい。
診療時間の延長。土曜日診療。
町立病院の医者（内科）は急を要する患者から診るべき。
病院の診療科の安定する為に医師と看護師の確保。
町立病院の医療スタッフの整備・充実が必要。
地域がらいたしかたないかもしれませんが、町立病院のみとなっているため、診療科がないものなどある。（心臓科など）

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

そう感じる理由
自然が豊かで必要な施設がそろっているから。
大きな問題の話は聞かない
元気な子供をたくさんみる。
子育ての環境は良いのではないかと思う。
朝夕の登下校時にボランティアの老人をもっと活用すべき
それなりにやっていると思う
いろいろな人に気にかけてもらえている
元気に問題なく育っているから。
中標津町は酪農の町として栄えているから。
子どもによく挨拶をされるから
町内会や児童館が活躍して子供達の為にイベントをやっている。
子供中心に考えて子育てしているように感じる。
ゆめ森があるだけで、とても子育てがしやすいです。
治安はいいと思う。今後も安心できる町であってほしい。
子供の事故が少ない。
公園が多い。保健センターの人がとても親身になってくれる。
家庭では安心して育てられている。
無料で寺子屋はとっても嬉しいです。
施設が充実している。
治安は比較的良いと思う。一方飲酒運転等も発生しているのでしっかり取り締まる必要もある。
子供を見ているとノビノビしている感じが良い。
保育所、幼稚園、児童館いっぱいあるから。
私は子供はおりませんが、こちらに住んでみて小学生からあいさつされたことが（すれちがい時）とても感じが良く思いました。そのように教育されているのかと感心しました。
地域の皆が子どもに声かけする
そう感じない理由
学力向上の具体的方策が学校現場と教育委員会の連携がさらに密にするべき。
公園が少ない。
昔に比べると、他人の子供に無関心になっている。
外で子どもが遊ぶ公園などが汚い。
不審者がいる。
通学路の整備がされていない。
外で遊ぶ子供の姿をあまりみかけない。
冬期交通事故。
学校も遠く、送迎が大変だし、教育にお金もすごくかかるので、将来不安です。
家庭のしつけの悪さが目立つ。言葉づかい、マナー。
共稼ぎの家庭が多く、子供がケガしても親がいないので不安定。他人との付き合いが出来ない。
共働きで会話の時間が少ないから。

問39 高齢者が生きがいをもち、安心して暮らしていると感じますか。

そう感じる理由
住んでいる町内会では老人クラブ活動が良いから。
デイサービスなどをよく耳にするので。
超元気 ラジオ体操やパークゴルフやっている。

ずっと住みたいと思えるので。
 子どもより高齢者に厚く支援しているように感じる。
 元気だと思うから。
 しるべつとで高齢者が多く見られます。
 老人クラブ。
 しるべつとで楽しく趣味をして生きがいを持ち安心して暮らしている。

そう感じない理由

高齢者の活動の場が極めて少ない。
 老人ホームが少ない。
 高齢者に対する支援。見守り等がまだ足りないと思う。
 高齢者の遊ぶ場所が少ないような気がする。自由に集まり活動できる場所が少なく思う。
 独居老人の方が多く、近い将来を皆心配して暮らしています。
 高齢者が昼中過ごせるスポーツ施設が少ないし、もっと高齢者が参加できるイベントやボランティア活動など行ってほしい。
 要介護者支援の不足 介護従事者の不足。
 ティなどにも行かないで家にいたがるから、もう少し楽しめるティがあれば。
 生きがいを感じるものが無い。生きがいを見つけるには門がせまい。生きがいを持ちづらいとおもいます。
 高齢者が積極的に社会に貢献しているという場が少ないかも。
 団地などの高齢者は子供達の外遊びの声などが気になるらしい。
 交通の便が悪いので施設へ行けない。
 移動方法が少ない。買物サービス等が高齢者まで伝わっていない。病院の設備が少ない。
 収入の面で。
 民間の施設はあっても自治体の施設が少ない。
 医療関係の結び付いた住宅を是非多く建設を願います。
 高齢者が全員外に出て社会的に動いているようには見えないし、実際そうではないため。
 他町のような老人の割引など（パークのような）無い。
 年金等では生活が苦しい。
 老人ホームやグループホーム等が人口の割りにすごく少ないと思います。
 分からない、人口より環境やおかれている状況にもよる。
 高齢者のサービスをもっと積極的にする。
 今までの経験を活かせる場、新しい事を始めたい時にその場がないと感じる。
 働く場所より住む所（公住）が少ない。
 地域の老人クラブ参加者が減ってきている。若い人が入ってこない。
 働きたくても働けない。

問4-1 障がい者サービスが整っていると感じますか。

そう感じる理由

障がい者の人々が卒業後も活動しているのを中標津町で見かける。
 必要な施設があるから。グループホームや作業所が最近増えてきている。
 小さい町なのに学校がある。
 作業所の販売活動など多々見かける。
 NPOの人達は頑張っている。
 高等養護学校等がある等。
 あくせす根室と言う身近な相談所があるから。
 少しづつ道路も障害者の為に改良が進められている。
 障がい者の雇用もあり、良いと思います。
 身近な所に障がい者と関われる所があるため。
 ティサービス。
 就労支援事業の店での環境が良い。
 障がい者支援の会社や施設は多くあると思う。

そう感じない理由

どこにあるのか分からない。
 思い当たるものがない。
 施設があっても支援者がいない。
 身近にサービスを利用している人がいないのでよくわかりません。
 サービスがあるのを知らない。
 駐車場のスペースにはいつも健常者の車が止まっているから。
 あまり見かけない。
 施設が足りない。
 障がい者の方がまだまだサービスをうけているとは思わない。
 雇用問題。
 家族の負担が多いように感じる。
 障がい者の交通手だて等。
 障がい者全体が把握できてない。
 教育設備。
 どんなサービスがあるか情報があまり入ってきません。
 障がい者の収入 親がなくなっても自立できるように。
 役所が暗く目の悪い自分には特にトイレetcを1人で利用できない

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

そう感じる理由
町役場で必要な情報が得られるから。
必要な時に助けていただきました。
役場に行けば相談してもらえる。
町の福祉制度。
役場の福祉課に相談するといいでしょ。
福祉協議会 役場で相談でき支えてもらえる。
相談したことはないが、そういうものも整備されているはずである。
不明な点は何でも福祉課（役場）で教えてもらえる。
そう感じない理由
障がい者の指導していた先生方も町内多数おられるのにあまり手をさしのべていないのでは？
もう少し役場の人にかんばってほしい。
制度や活動にふれる機会が無い。
今必要としてないから。
自分はインターネットで何でも探せるが町の広報誌だけでは必要な情報を得るのは難しいと思う。
どんなところがあってどの様な活動をしているか分からない。活動が少ない。
身近なところとは具体的にどこ？
どこにどのようなものがあるのか分かり易くないため。
相談施設が少ない。
5・6歳児検診をやると入学前に早期発見、対応できる。
相談することがわからない人がいます。もっと積極的に知らせる必要があると思います。
イメージわきません。
自分が利用した事がないため
相談機関はあるのかもしれないが、あまり知られてないと思う。
判りにくい
聞いたことがないから
自分がそういう立場でないので、よく分からない。
町内に沢山の障がい者が居るのに障がい者の交流などの参加が少ないのに驚いています。是非力を入れて下さい。
具体的な場面に遭遇してないけど、そういう活動の場面も聞いてない。
あまり感じたことがない。
どこでそう言うことをやっているのかわからない。私は札幌から帰ってきました。（再び）
情報があまり広がっていない。
身近なところ、いざ相談となると、どこに相談するんだろうと思う。
相談は出来るかもしれませんが、その相談が実を結ぶ結果にはつながらない気がするから。
それぞれの制度が分からない。
役場以外思い浮かばない。
全く見聞きした事がない。
障がいのある子を預けられる所が少ない。
自分が高齢者になった時に心配です。
役場に行かなければ分からないので身近な所にあるとは思えないから。
こちらに住んでから状況がわからず、どのようなところがあるのかも不明のため

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

そう感じる理由
身近に必要な施設があるから。
校外学習の場面を見かける事が多い。様々な体験ができて良いと思う。
TT（チームティーチング）の先生の導入
TTがあり目がいきとどいている様に感じます。
東小は良くなったが中標津小学校は建物が古く汚い。凝ったデザインにしたせいだと思う。せめて外壁の修理をするべき。
不便さを感じないから。
学校の先生は、どの学校でも頑張ってくれている。
子どもが楽しそうに学校へ毎日行くからスポーツなども毎週楽しそうに行っている。
充実した学校生活でした。
充実していると思うから。
今はタブレットを使った授業が学校で行なわれているから。
学校が建て替えられていっている。見守り隊の地道な活動がある。
不適切という話は聞かない。
自分の時代から見ると充実していると思う。
あまり古い学校が無い。
先生と家庭が緊密。
恵まれていると思っています。
スポーツ施設、図書館、文化会館、児童館等がある。
素直な子供が多い。
昔とちがうから。
施設、設備が良くなっていると思う。
少年団などがあるし、体育館も新しくなる。

1年生の孫が楽しそうに学校に行っている。
計根別学園の充実。
そう感じない理由
受持ちの児童・生徒数が少なくなっているので指導する先生方の質と熱意に期待する。
学力が低下しているから。学級崩壊のうわさを聞く。
授業は受けているけれども、それが学力にきちんと結びついているのか疑問に感じるから。

問53 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

そう感じる理由
学校や教育現場では女性の方々の活躍が目立っています。さらにその傾向を強くすべきだと思います。
必要な情報が得られるから。
平等だと思う。就労面でまだ偏りを感じる事はある。
職場に女性増えた。
不満が特に無いので。
不自由感じません。
自立した方が増えていると思います。
平等だと思うから。
夫婦円満な家庭を希望する。
女性の立場がよくなってきているから。
昔と比べたら。
保育所など少しずつ充実して来てると思う。
男女での差は感じない。
賃金の格差等ほぼなくなり良好な傾向。
男性の育休。
法律は整備されてきているので今後は少しずつ良くなるかと・・・
特に差別を受けているとは感じないから。
女性の勤労者が少ないと感じたことがない。
広報などにも掲載されているから。
女性の社会進出が見てとれる。

そう感じない理由
女性のほうが正規社員が圧倒的にすくない。
賃金格差
女性は不利？
田舎なせいか育児や介護は女性の仕事という意識が強い。町議も女性が少ない。
家事育児の負担は女性に偏っている。
まだまだ平等ではない。
仕事しても男性女性では別れると思う。
やっぱり男性社会。
現実例が見えない。
男が強い。
男女が平等ですか？
まだ、男性有利に感じるため。
女性は子育て、介護などが男性より多いと思う。保育など働きやすい環境の整備が必要と思う。現在は足りないと思う。

問57 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

そう感じる理由
北方領土に近い町中標津も各行事にもっと参加すべきだ。
町役場の最上階に展示されている資料は大変参考になる。
署名運動を見て他人事ではないと思う。
祖父が元島民なので。私も一度北方領土に行ったことがあるから
日本の領土だから。
資源（魚介類）に限られる。
親が北方領土出身。
近いと感じる。
目の前に北方四島が見えるから。
ニュース等で耳にするから。
小学生の頃も詳しくならったから。
領土が近いから。
耳にする機会が多いから。
学校でよくききましたし、町に看板もみえます。
近くに元島民がいるから。
1市4町にとっては重要な課題であるため。
身近に関係者がいる。
四島は日本国の島だと思っている。
ビザなしに行っていたしみを感じた。
四島の返還無理なのかなあと感じる。
身内に引揚者がいるから。
歴史的に日本の領土である。

奥根室地域として。
 本州出身なので子供の時は、あまり学習したと思っていませんが、子供達は学校で学び、家でいろいろと教えてくれるので、昔より身近に感じています。
 71年前は日本の領土。
 早く戻ってほしいと思います（皆高齢なので）
 いつも見える。近くに見えるから。
 近くて遠い国、元島民も墓参にも行けないから。
 近い位置に国後島があるので特にそう思う。日本人が住んでいた国際的に見ても固有の領土であり、返還を願う。
 根室振興局の一部であり不当占拠され続けている。

そう感じない理由

イベントで署名活動を見る程度なので。
 深く考えた事がありません。
 ひと昔前まではもっと啓蒙活動が活発だったように思う。
 近くに感じない。
 国が動いていないから何十年も今のままなのは。
 あまり直接的に関わりが無い為。
 情報がありません。
 普通の生活に特に関わりがないので。
 北方領土に思い入れがないから。
 活動は知っているものの出身地が違うため身近ではない。
 行ったことがないため。
 まわりでそのような話などでてこない。私もあまり身近なこととしてとらえていません。
 情報に接する機会が少ない

問60 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由

ホームページ等必要な情報が得られる。
 冊子やホームページが便利だと思う。
 知りたいと思えば調べられる。
 不満がないので。
 町の情報誌など定期配布があるため
 今までに困った事がないから。
 町広報や議会便りでわかる。広報の見やすさ。
 情報の開示はしていると思うから。
 インターネットで確認できる。銀行にも冊子があり、見る事ができるから。
 新聞、町が発行している中標津たよりなどで、ある程度知る事が出来る。
 永年、当役場の福祉課包括センターの情報助言を載いて来て生活に困っていた事に助けていただいた。
 パンフレットですべて分かりました。
 FMはなラジオの中で町の情報がわかる。
 あまり行ったことがないので、ハッキリそうとは言えない。ただ、20年前に受けた対応より、感じの良い説明をしてもらえる様になったと思う。
 老人クラブに入会しているため。

そう感じない理由

インターネットがあたり前の時代に町のHPが貧弱すぎる。
 介護支援の分野。
 とくに興味が無い。
 好意的ではないため。
 インターネット環境が全家庭に整っているわけではないので様々な方法で伝える必要があると思う。
 分かりづらい。
 知らない事が多く、知る機会が少ない。
 役場職員に町の事を聞いても分からない事がある。
 特に知りたい事がないから。
 もう少しこまかな情報がほしい。
 情報を得る手段がわからない。町外からの人がもっともわかりやすくなければいけないと思う。
 新聞を取っていないければ情報が入ってこない。
 インターネットで自分が調べる以外で情報が入ってこない。
 町の情報紙も届くのが遅かったりしてイベントも予定が組めないことがある。（特に月初めのもの）もっと余裕をもって発信してほしい。
 まだあまり利用していないため。
 広報誌を町内の店に置いてほしい。
 わかりやすい言語、説明がなされていないと思います。
 現状どのようなことが発信されているのかわかりづらいです。

問61 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由

笑顔で接しておられるから。
 不便を感じていないので。
 案内板などわかりやすくなっていると思う。
 あまり待つ事がないから。
 困ったことはない。
 わからない時は聞くと案内してくれる。

聞くと親切に教えてくれる。窓口は丁寧。
 わかりやすいと思う。1Fは、わりと。行くとすぐ対応してもらえが、2Fは少しいきづらい。
 職員の人当たりがよい。皆様親切です。
 書類を出す時に聞くことができる。
 通路側に窓口があるのでわかりやすい。
 高齢者の現在、要介護での生活の中で包括センターの職員のみなさん助言相談と大変助かっています。老いた体で出来ない事だらけです。
 利用できています。
 広すぎないため聞けばすぐわかる。
 窓口ごとに表示されている。
 わからなければ、どこの窓口でも聞けば教えてくれるので、不便に感じた事はありません。
 私自身は窓口で不快な思いをした事がないので利用しやすいです。聞けば皆さん親切にわかりやすく説明してくれるので。
 非常に良いと思う。職員の対応も良好である。
 とても親切で感じがいいです。
 職員の対応は良くなった。
 中標津町役場の窓口は、わかりやすいし利用しやすいと感じています。
 不便は今まではない。
 窓口の方の対応がよく、親切です。

そう感じない理由

一か所にまとめてほしい。
 細かく部署が分かれていて、どの窓口に行けばいいのか迷う事がある。
 暗いイメージの気がする。
 わかりづらい ごちゃごちゃしてる。
 窓口の人の態度が悪い。
 役場1階はいつも薄暗く活気が感じられない。1階で働く人が気の毒だし訪れる町民も明るい気持ちになれるようにリフォームしてほしい。
 雰囲気良くないので利用したくない。
 役場には総合案内があってもいいと思う。
 行きにくい気が少しだけ。
 照明が暗い。LEDへの長期的転化。暗いのは困る(電灯?)
 どこに何があるのかよく分からない(あまり行く機会がなからいかもかもしれませんが)
 窓口がよく分からなかったから。
 もっと詳しい説明がほしい。
 暗いふんいきで行きづらい。
 掲示を見やすく。
 窓口対応に笑顔がなさ過ぎる。
 どこにどの部署があるか、一目でわからないので。
 不親切。職員が暗い。
 役場自体の印象が悪い。
 どの課もそうですが、窓口の人達に話しかけづらい。
 職員の対応が悪い。冷たい。雰囲気が悪い。
 トイレが暗く使えないので行きにくい

V 參考資料

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、中標津町では、今後のまちづくりを進めるうえで指針となる第6期中標津町総合発展計画に基づいて各種取組みを計画的に推進しております。

本調査は、町の取組みに対する町民の皆様の声を調査し、今後の町政に反映することを目的として、町内にお住まいの20歳以上の方の中から500名を無作為に抽出してお願いしております。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

まちの将来像「空とみどりの交流拠点・中標津」を目指し、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいという趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成28年5月

中標津町長 小林 実

-
1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
 2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定していますので、おまちがえのないようお願いいたします。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
 3. ご記入いただいたアンケートは5月31日（火）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
 4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。

中標津町 総務部 企画課

電話：0153-73-3111（内線327）

FAX：0153-73-5333

あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印を付けてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性
(2) あなたの年齢	1. 20歳代 4. 50歳代 2. 30歳代 5. 60歳代 3. 40歳代 6. 70歳以上
(3) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業 5. パートタイム・アルバイト 2. 製造業・建設業 6. 主婦(夫) 3. 卸小売業・飲食業 7. 無職 4. その他サービス業等 (公務員を含む) 8. 学生・その他
(4) あなたの通勤・通学先	1. 町内 2. 町外 3. 該当なし・その他
(5) あなたの家族構成	1. 夫婦(子どもはいない) 4. 単身(あなた1人) 2. 親子(2世代) 5. その他 3. 親・子・孫(3世代)
(6) あなたの出身地	1. 中標津町 2. 根室管内 3. 道内 4. 道外 5. 国外
(7) あなたの居住地	1. 中標津市街 2. 中標津町農協区域 3. 計根別市街 4. 計根別農協区域
(8) あなたの居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上20年未満 4. 20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 3. どちらかといえば感じていない |
| 2. どちらかといえば感じている | 4. 感じていない |

問 3 定住意向についてお伺いします。
①あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい | 3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない |
|--------------------------------|--------------------------------|

※①で「1.」または「2.」に○をつけた方は
②にお答えください。

※①で「3.」または「4.」に○をつけた方は
③にお答えください。

②住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

③住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 自然が豊かだから
2. 教育環境がよいから
3. 通勤や通学が便利だから
4. 医療や福祉が充実しているから
5. 日常の買い物が便利だから
6. 生活する環境が便利だから
7. 職場があるから
8. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
9. 友人など人間関係があるから
10. 町の将来に希望がもてるから
11. 特に理由はない
12. その他

(具体的に：)

1. 日常の買い物が不便
2. 道路事情や交通の便が悪い
3. 地域の行事や近所づきあいが面倒
4. 子どもの保育・教育のことが心配
5. 町内に適当な職場が少ない
6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じる
8. スポーツ施設や文化施設が不十分
9. 生活基盤施設の整備が遅れている
10. コミュニティ活動など住民の交流がない
11. 情報通信基盤が整っていない
12. その他

(具体的に：)

※ 質問には、あなたの尺度であなたの感じるままにお答えください。自分が関わっていない部分などでわからない場合は、周囲の状況をもとに考えてお答え下さい。

中標津町全体についてお伺いします。

問 4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
<input type="radio"/> 満足している理由	<input type="radio"/> 満足していない理由

問 5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 関心を持っている | 3. どちらかといえば関心を持っていない |
| 2. どちらかといえば関心を持っている | 4. 関心を持っていない |

問 6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<input type="radio"/> そう感じる理由	<input type="radio"/> そう感じない理由

問 7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康で安心して暮らせるまち | 6. 広域的な拠点都市機能が集積したまち |
| 2. 酪農や商工業など活力ある産業のまち | 7. 教育文化スポーツ等の水準の高いまち |
| 3. 自然と共生する美しいまち | 8. 多くの人を訪れる観光・交流のまち |
| 4. 便利で快適に暮らせるまち | 9. その他 |
| 5. 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち | (具体的に：) |

生活環境についてお伺いします

問 8

中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 9

道路や河川などが適切に維持管理(側溝清掃、草刈りなど)されていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 10

自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 11

公共交通(バス)を利用して、便利に暮らすことができると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 広域幹線道路(国・道道)の整備充実 2. 町内幹線道路の整備充実 3. 地区内の身近な生活道路の整備充実	4. 中標津空港の航路の充実 5. 路線バスの利便性向上 6. その他(具体的に:)
---	---

問 14 安定して水道水が利用できていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 	○そう感じない理由

問 15 墓地の施設に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 道路の改良、舗装 2. 道路側溝の整備 3. ガードレール等交通安全施設 4. 下水道・排水路 5. 駐車場 6. 公園、子どもの遊び場(ひろば)	7. 集会所 8. 高齢者福祉施設 9. 障がい者福祉施設 10. 商店・スーパー 11. 街路灯・防犯灯 12. その他(具体的に:)
---	--

問 17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 環境美化活動の支援

2. ごみ減量化・リサイクル活動の支援

3. 不法投棄など取り締まりの強化

4. 河川の水質浄化対策の推進

5. 省エネルギーや新エネルギーの導入

6. 緑あふれる景観づくりの支援

7. 自然保護運動の支援

8. 自然環境の調査・監視体制の強化

9. 環境保全意識の啓発

10. その他（具体的に： _____）

問 19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 活用している

2. どちらかといえば活用している

3. どちらかといえば活用していない

4. 活用していない

問 20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備

2. 町のホームページの充実

3. 申請・届出など手続の電子化

4. 各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供

5. 学校・生涯学習など情報教育の充実

6. 個人情報保護対策等セキュリティ強化

7. 情報弱者への対応

8. その他

（具体的に： _____）

問 21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. している

2. どちらかといえばしている

3. あまりしていない

4. していない

問 22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している

2. たまに参加している

3. あまり参加していない

4. 参加していない

問 23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いませんか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 消防・救急体制（消防署）の充実 | 7. 防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実 |
| 2. 消防団の体制の充実 | 8. 災害時の情報連絡体制の充実 |
| 3. 防火・防災意識の啓発活動の充実 | 9. 河川など災害発生危険箇所の整備 |
| 4. 消火訓練・避難訓練の充実 | 10. その他 |
| 5. 地域における自主防災組織の育成 | (具体的に：) |
| 6. 防災ボランティアの育成 | |

問 24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる	3. どちらかといえばそう感じない
2. どちらかといえばそう感じる	4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

環境問題への取り組みについてお伺いします

問 26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 意識している | 3. どちらかといえば意識していない |
| 2. どちらかといえば意識している | 4. 意識していない |

問 27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. どちらかといえばしている | 4. していない |

産業振興についてお伺いします

問 28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している

2. どちらかといえば参加している

3. どちらかといえば参加していない

4. 参加していない

問 30 地元で買い物をすることを意識していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 意識している

2. どちらかといえば意識している

3. どちらかといえば意識していない

4. 意識していない

問 31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 商店の専門店化や品揃えの充実

2. 歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備

3. 地元商業者主体の共同店舗等の整備

4. 休業日、営業時間の改善など

5. イベント、売出し等共同事業活発化

6. 駐車場や自転車置き場の整備

7. 後継者（若手経営者）の確保・育成

8. 核となる大型店の誘致

9. その他

（具体的に：

）

問 32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 美しい景観の保全・整備 | 7. 観光ルート設定や観光案内標識整備 |
| 2. 既存観光施設の充実 | 8. 町外への観光PRや情報提供の強化 |
| 3. 地域特色のある観光・体験施設整備 | 9. 地域性のある各種イベントの充実 |
| 4. 観光サービス施設の整備 | 10. 来訪者へのサービスの向上 |
| 5. 地域特色のある料理、土産品の開発 | 11. その他 |
| 6. リゾート施設やテーマパークの整備 | (具体的に：) |

問 34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している	3. どちらかといえば満足していない
2. どちらかといえば満足している	4. 満足していない
○満足している理由	○満足していない理由

保健・医療・福祉についてお伺いします

問 35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している	3. どちらかといえば満足していない
2. どちらかといえば満足している	4. 満足していない
○満足している理由	○満足していない理由

問 36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 医療機関の充実 | 7. 健康づくり活動の充実 |
| 2. 救急・休日・夜間医療の充実 | 8. 健康に関する知識の普及 |
| 3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 9. 保健師などの訪問活動の積極的推進 |
| 4. 各種検診の充実 | 10. 食育や食生活改善運動の推進 |
| 5. 感染症対策の充実 | 11. その他 |
| 6. 健康教育や健康相談の充実 | (具体的に：) |

問 37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる
2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない
4. そう感じない

○そう感じない理由

問 38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 保育所の充実 | 5. 子どもの遊び場など公園の整備 |
| 2. 子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 | 6. 児童館の整備 |
| 3. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 | 7. 児童虐待の予防・解消対策の推進 |
| 4. 学童保育の充実 | 8. その他 |

(具体的に：)

問 39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる
2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない
4. そう感じない

○そう感じない理由

問 40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 生きがいづくりや働く場の充実 | 5. 介護保険サービスや施設の充実 |
| 2. 安心して利用できる道路づくりや施設づくり | 6. 高齢者保健福祉サービスや施設の充実 |
| 3. 高齢者と若い世代の交流機会の充実 | 7. 地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 |
| 4. 学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 | 8. その他 |

(具体的に：)

問 41 障がい者サービスが整っていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思えますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 相談窓口や情報提供の充実	6. 就労に向けた支援や雇用環境の整備
2. 障がいの早期発見と教育・療育の充実	7. 障がいへの理解や交流
3. 在宅支援サービスの充実	8. 社会参加の促進
4. 入所施設やグループホーム等の整備	9. ボランティア活動などの地域福祉活動の促進
5. ユニバーサルデザインなどによるまちづくりの推進	10. その他 (具体的に：)

問 43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 毎年受けている	3. 定期的ではないが受けたことがある
2. 毎年ではないが定期的に受けている	4. 受けたことがない

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問 45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 46 青少年を見守る活動に参加していますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 現在、参加しているし、今後も参加したい

2. 現在、参加してないが、今後は参加したい

3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない

4. 現在、参加してないし、今後も参加するつもりはない

問 47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 家庭のしつけをとおした思いやりの
心の育成

2. 地域ぐるみでの子どもの育成活動

3. ボランティア活動に重点をおいた教育

4. 地域特性や地域の人材を活用した特色
ある教育

5. スポーツに力を入れた教育

6. 音楽や美術に力を入れた教育

7. 情報化に対応できる教育

8. 基礎的な学力の向上を目指す教育

9. 食育に関する教育

10. いじめなどの心の問題への対応

11. 子どもの安全・安心対策の強化

12. その他

(具体的に：

)

問 48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 取り組んでいる

3. あまり取り組んでいない

2. どちらかといえば取り組んでいる

4. 取り組んでない

問 49 生涯学習情報誌「らいふまっぷ」から知りたい情報は得られていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 得られている

3. どちらかといえば得られていない

2. どちらかといえば得られている

4. 得られていない

問 50

生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. 音楽・美術などの鑑賞機会の充実 |
| 2. 指導者や相談体制の充実 | 7. 学習・文化活動等の発表機会の充実 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 8. 学習・文化団体への支援 |
| 4. 文化施設など活動の場の整備充実 | 9. 文化イベントの企画・開催 |
| 5. 史跡・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成 | 10. その他
(具体的に：) |

問 51

運動やスポーツに取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない |
| 2. どちらかといえば取り組んでいる | 4. 取り組んでない |

問 52

スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 指導者や相談体制の充実 | 5. スポーツ団体への支援 |
| 2. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. スポーツイベントの企画・開催 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 7. その他 |
| 4. スポーツ施設など活動の場の整備充実 | (具体的に：) |

人権・男女共同参画についてお伺いします

問 53

男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

<p>1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる</p> <p>○そう感じる理由</p>	<p>3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない</p> <p>○そう感じない理由</p>
--	---

問 54

男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 女性の働く場所の充実 | 6. 男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 |
| 2. 保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 7. 町の審議会や委員会などへの女性の登用 |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | 8. 男女共同参画についての学習の充実 |
| 4. 女性の就労条件など企業に対する啓発 | 9. その他（具体的に：) |
| 5. 女性のための職業訓練の機会の提供 | |

地域間交流についてお伺いします

問 55 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 56 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思えますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 国内外の姉妹・友好都市交流 | 6. 案内板や刊行物等の外国語併記 |
| 2. スポーツ、文化を通じた人的交流 | 7. 地域の歴史等を通じた交流 |
| 3. 文化などを紹介するイベント | 8. その他 |
| 4. 町内や隣接圏域の外国人との交流会 | (具体的に：) |
| 5. 学校教育・生涯学習などでの外国語教育 | |

北方領土問題についてお伺いします

問 57 北方領土問題を身近な問題として感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる	3. どちらかといえばそう感じない
2. どちらかといえばそう感じる	4. そう感じない

○そう感じる理由

○そう感じない理由

取り組みに対する費用負担についてお伺いします

問 58 これまでの設問4から設問57において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 賛成である | 4. どちらかといえば反対である |
| 2. どちらかといえば賛成である | 5. 反対である |
| 3. どちらともいえない | 6. その他 () |

住民活動等についてお伺いします

問 59

地域活動・ボランティア活動についてお伺いします。

① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印を付けて下さい。）

- 1. 現在、参加しているし、今後も参加したい
- 2. 現在、参加していないが、今後は参加したい
- 3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない
- 4. 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない

【①で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。】

② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印を付けて下さい。）

- 1. 町内会や自治会などの活動
- 2. 公園・道路の清掃や花壇の世話
- 3. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
- 4. 農協や商工会などの活動
- 5. 老人クラブや女性団体、子ども会などの活動
- 6. 子育て支援に関する活動
- 7. PTA、青少年の健全育成に関する活動
- 8. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
- 9. 伝統芸能の保存に関する活動
- 10. 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
- 11. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
- 12. 募金や寄付、バザー等に関する活動
- 13. 地域づくりやまちおこしに関する活動
- 14. 自主防災や災害援助に関する活動
- 15. 交通安全に関する活動
- 16. パトロールなど防犯に関する活動
- 17. 国際交流、国際協力に関する活動
- 18. その他（具体的に： _____）

中標津町役場についてお伺いします

問 60

町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由



町民憲章

(昭和40年7月1日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エソリンドウ

発行 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 標津郡中標津町丸山2丁目22番地

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp